

山県市

子ども・子育て支援事業に関する ニーズ調査報告書

平成 31 年 3 月

岐阜県 山県市

目次

第1章 調査実施の概要

1 調査の目的	3
2 調査の設計	3
(1) 調査票の種類と調査の実施方法等	
(2) 調査票の配布・回収状況	
3 グラフ等の見方について	4
(1) 電算処理の注意点	
(2) 設問の注意点	
4 調査対象者の属性・家族状況	5
(1) 就学前児童の属性	
(2) 小学生の属性	
(3) 居住地区の状況	
(4) 調査回答者の状況と配偶者有無	

第2章 子育て家庭を取り巻く環境

1 子育ての環境について	11
(1) 主な保育者と親族等協力者の状況	
(2) 子育てに関する相談者の状況	
2 主な保育者とその就労状況	16
(1) 母親の就労状況	
(2) 父親の就労状況	

第3章 子ども・子育て支援事業の現状と今後のニーズ量

1 子ども・子育て支援事業の利用状況と利用希望	25
(1) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況と利用希望	
(2) 平日の定期的な教育・保育事業利用の日にちと時間の状況と希望	
(3) 定期的な教育・保育事業の利用理由と未利用理由	
2 地域の子ども・子育て支援事業の利用状況と利用希望	30
(1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況と利用希望	
(2) 子ども・子育て支援事業の認知・利用状況と今後の利用意向	
(3) 土曜日、休日、長期休暇中の教育・保育事業の利用意向	
(4) 病児・病後児保育について	
(5) 一時預かり事業の潜在ニーズ	
(6) 放課後の過ごし方について	
3 子育てについて	57

第4章 育児休業制度の利用状況

1 育児休業制度の利用状況	71
---------------	----

第1章

調査実施の概要

第1章 調査実施の概要

1 調査の目的

山口市では、「子ども・子育て支援新制度」（平成27年度から実施）の下で教育・保育・子育て支援の充実を図るため、子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施しております。

本調査は、「第二期山口市子ども・子育て支援事業計画(2020年度～2024年度)」を策定するため、教育、保育、地域の子育て支援の「現在の利用状況」や「今後の利用希望」等を把握するために実施しました。

2 調査の設計

（1）調査票の種類と調査の実施方法等

調査対象者別の調査内容は以下のとおりです。

調査の実施方法

① ニーズ調査票（就学前児童用）	
調査対象者	就学前児童を持つ保護者
標本数	760 件
抽出方法	無作為抽出
調査方法	保育園を通じた配布・回収と、一部郵送による配布・回収
調査時期	平成30年11月26日～平成30年12月7日
② ニーズ調査票（小学生用）	
調査対象者	小学生を持つ保護者
標本数	876 件
抽出方法	無作為抽出
調査方法	小学校を通じた配布・回収
調査時期	平成30年11月26日～平成30年12月7日

（2）調査票の配布・回収状況

調査票の配布・回収状況

調査対象者	配布数	回収数	回収率
就学前児童の保護者	760 件	551 件	72.5%
小学生の保護者	876 件	785 件	89.6%

3 グラフ等の見方について

(1) 電算処理の注意点

調査結果の数値については小数点第2位以下を四捨五入しているため、内訳を合計しても100%に合致しない場合があります。

(2) 設問の注意点

各設問内の（ ）は、小学生の保護者用の設問番号になります。就学前児童の保護者用と設問内容が異なる場合に記載しています。

4 調査対象者の属性・家族状況

(1) 就学前児童の属性

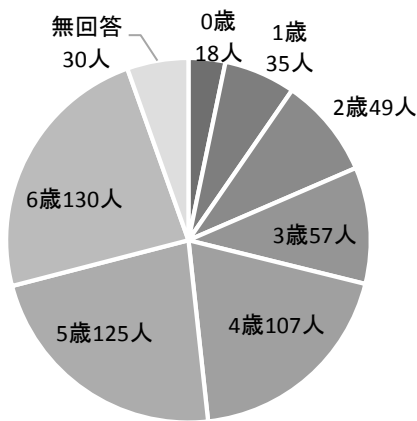
回答された551件の就学前児童の属性は、以下のとおりです。

問2 就学前のお子さんの中で一番年上のお子さんの生年月を教えてください。

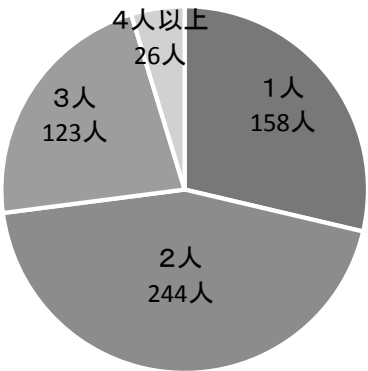
問3 お子さんは何人いらっしゃいますか。
※お子さんが2人以上の場合は、一番年下の生年月をご記入ください。

問4 就学前のお子さんの祖父母とは同居されていますか。(すべてに○)

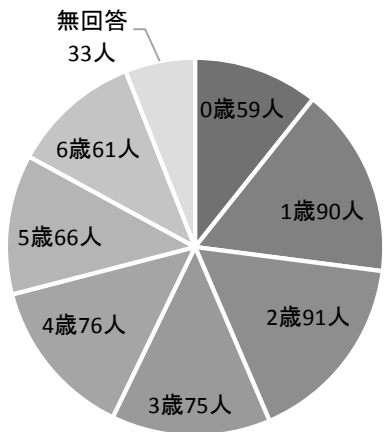
【子どもの年齢】



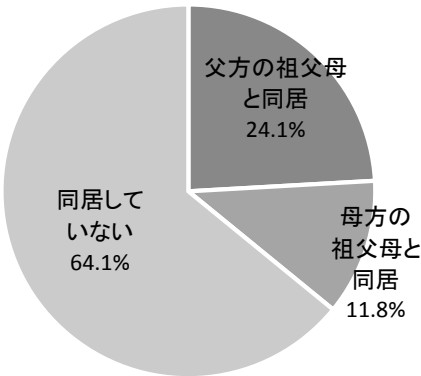
【子どもの人数】



【末子の年齢】



【祖父母との同居】



(2) 小学生の属性

回答された785件の小学生の属性は、以下のとおりです。

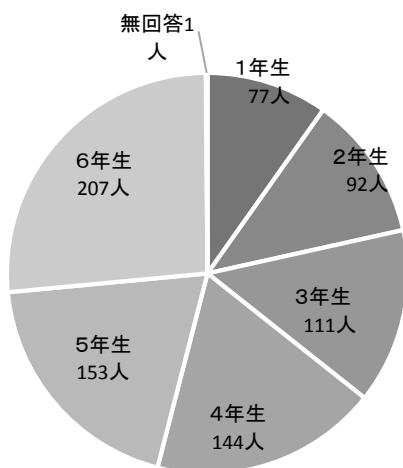
問2) 小学生のお子さんの中で一番年上のお子さんの学年はどれですか。(1つに○)

問3) お子さんは何人いらっしゃいますか。

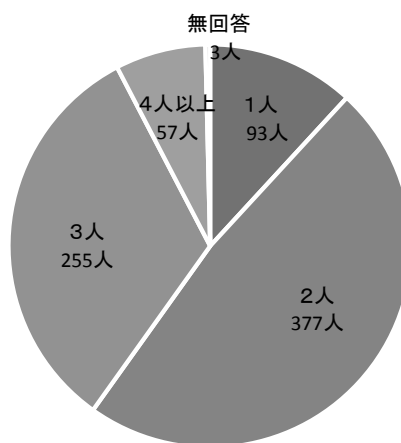
※お子さんが2人以上いらっしゃる場合は一番年下のお子さんの生年月をご記入ください。

問4) 小学生のお子さんの祖父母とは同居されていますか。(すべてに○)

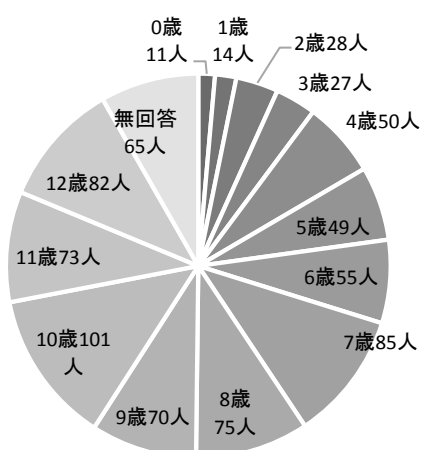
【子どもの学年】



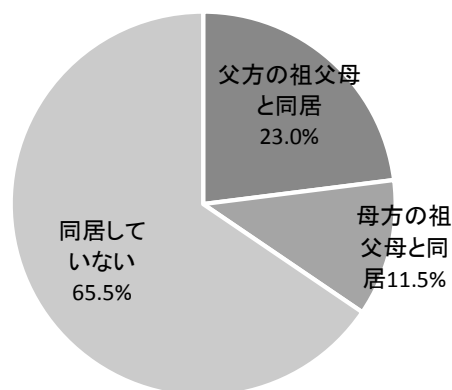
【子どもの人数】



【末子の年齢】

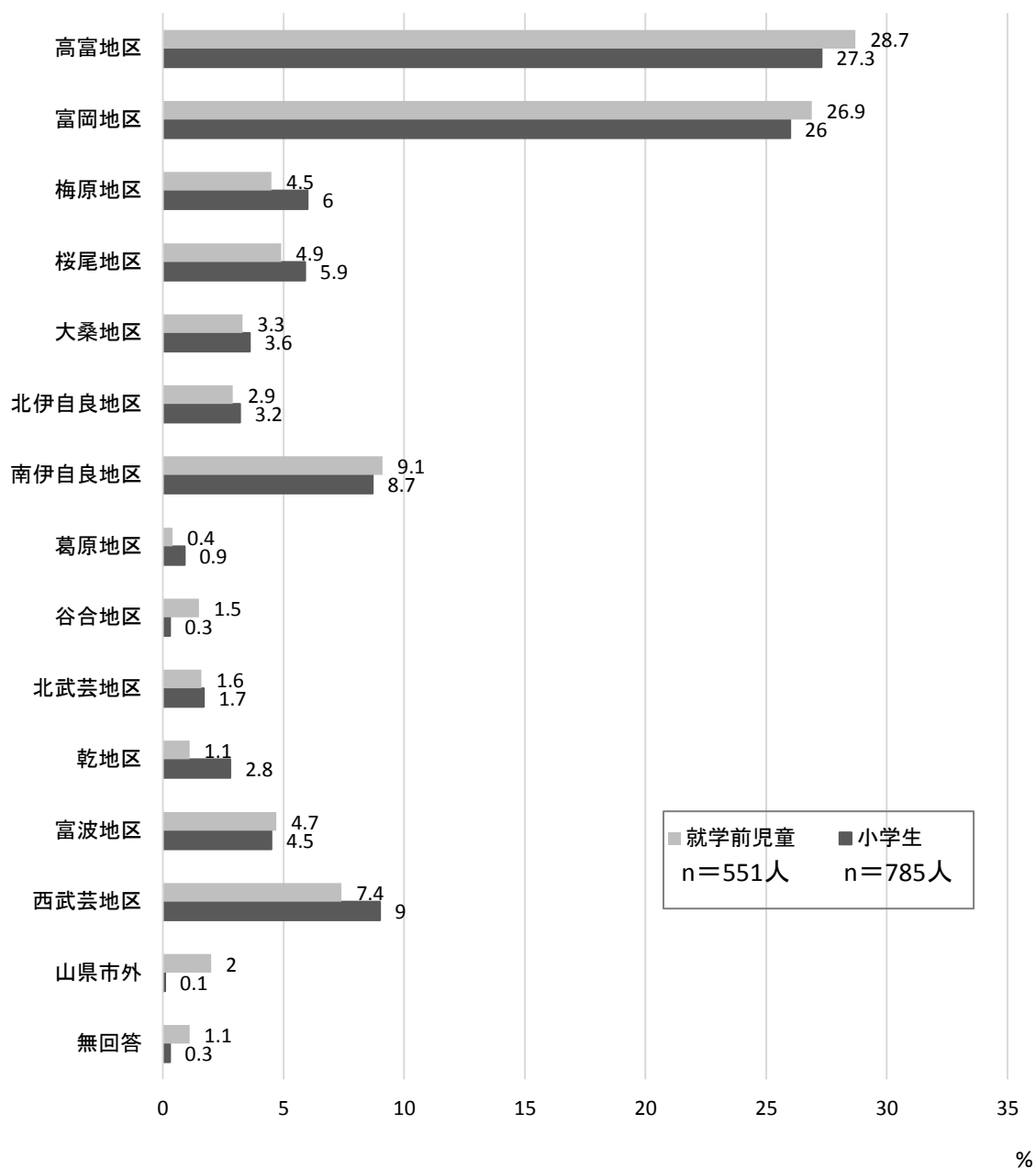


【祖父母との同居】



(3) 居住地区の状況

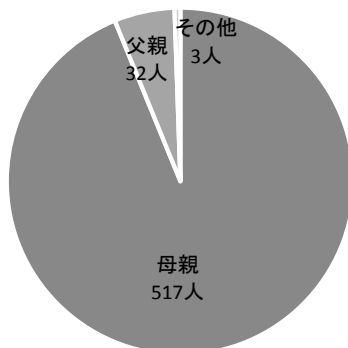
問1(問1) お住まいの地区はどこですか。



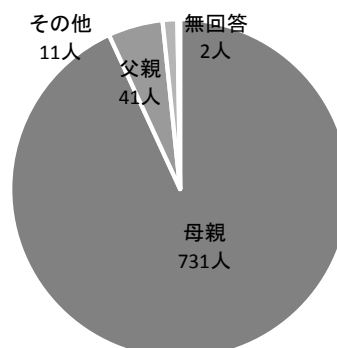
(4) 調査回答者の状況と配偶者有無

問5(問5) この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。
(1つに○)

【調査回答者（就学前児童）】



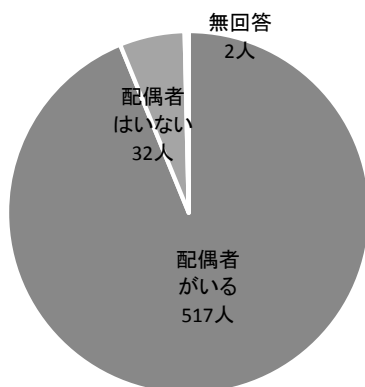
【調査回答者（小学生）】



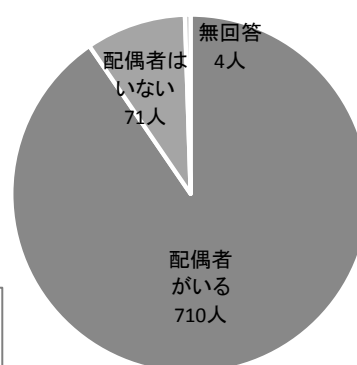
就学前児童 n=551 人
小学生 n=785 人

問6(問6) この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(1つに○)

【調査回答者（就学前児童）】



【調査回答者（小学生）】



就学前児童 n=551 人
小学生 n=785 人

第2章

子育て家庭を取り巻く環境

第2章 子育て家庭を取り巻く環境

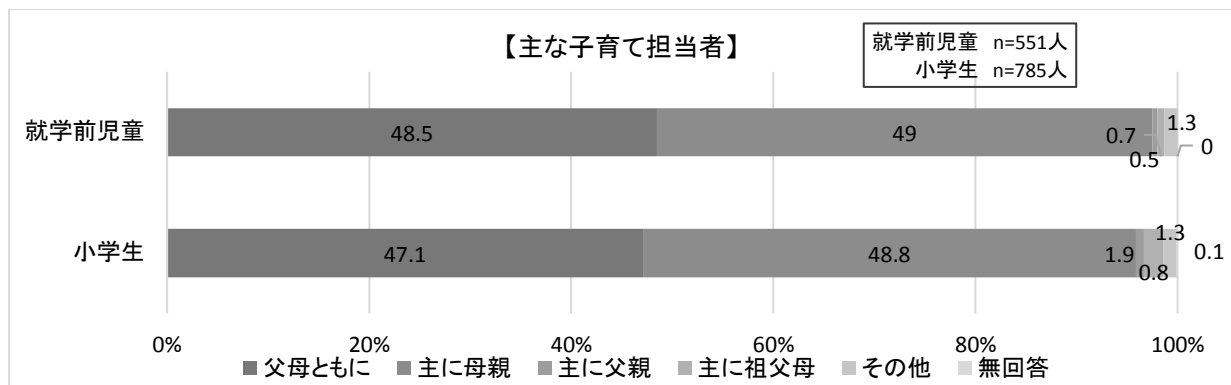
1 子育ての環境について

(1) 主な保育者と親族等協力者の状況

就学前児童、小学生ともに「主に母親」「父母ともに」が二分している。

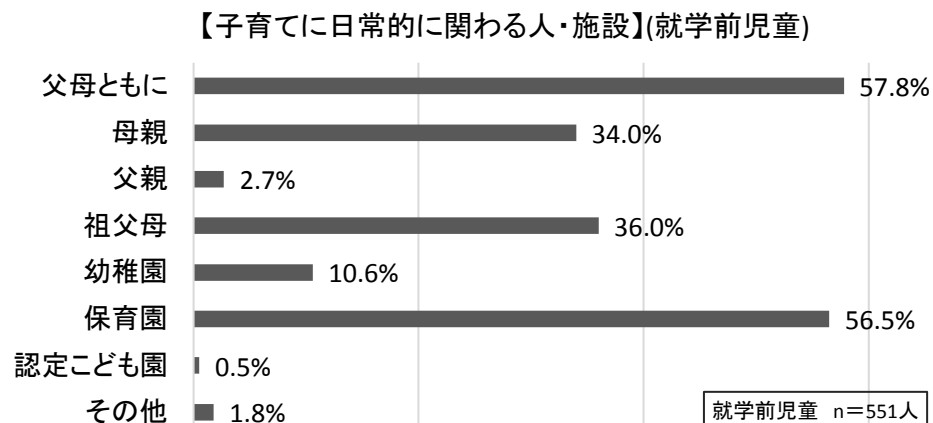
主に子育てを行っているのは、就学前児童では「主に母親」が49%、「父母ともに」が48.5%。小学生では「主に母親」が48.8%、「父母ともに」が47.1%、となっています。

問7(問7) 就学前(小学生)のおさんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。
おさんからみた関係でお答えください。(1つに○)



	就学前児童 (%)	小学生 (%)
父母ともに	48.5	47.1
主に母親	49	48.8
主に父親	0.5	0.8
主に祖父母	0.7	1.9
その他	1.3	1.3
無回答	0	0.1

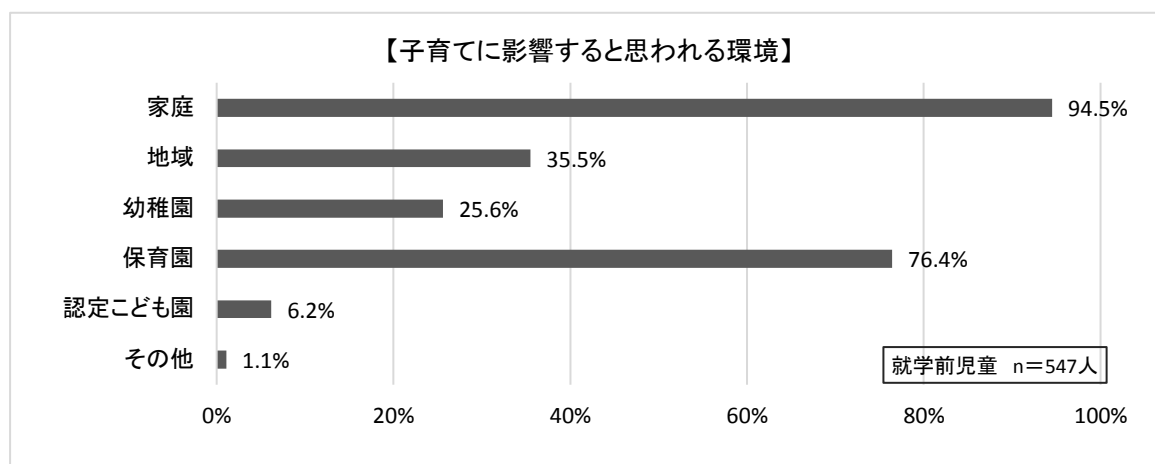
問8 就学前のおさんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっているのはどなた(施設)ですか。
おさんからみた関係でお答えください。(すべてに○)



子育て(教育を含む)に大きな影響を与えると思う環境は【家庭】が9割以上。

子育て(教育を含む)に大きな影響を与えると思う環境は「家庭」が94.5%で最も多く、次に「保育園」76.4%となっています。「地域」は35.5%あります。

問9 就学前のお子さんの子育て(教育を含む)に、影響すると思われる環境は何ですか。(すべてに○)

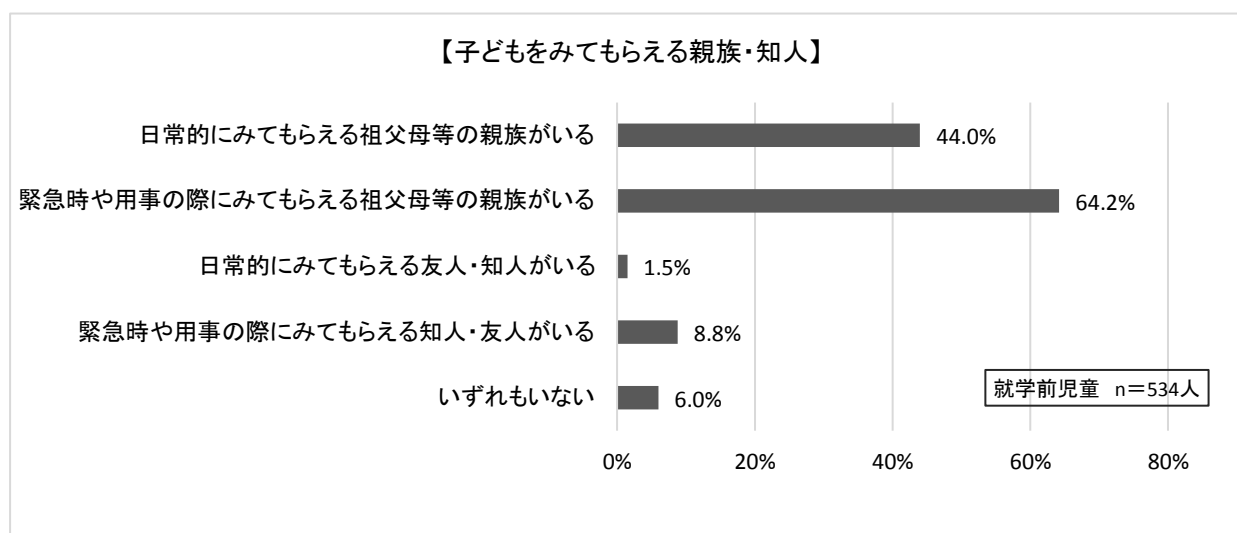


「緊急時や用事の際に祖父母等の親族にみてもらえる」が約6割。

緊急時や用事の際、日常的に祖父母等の親族にみてもらえる人は約4~6割となっています。同様の時に友人・知人では1割未満となっています。また、「いずれもない」6%で、みてもらえる人が誰もいない人がいます。

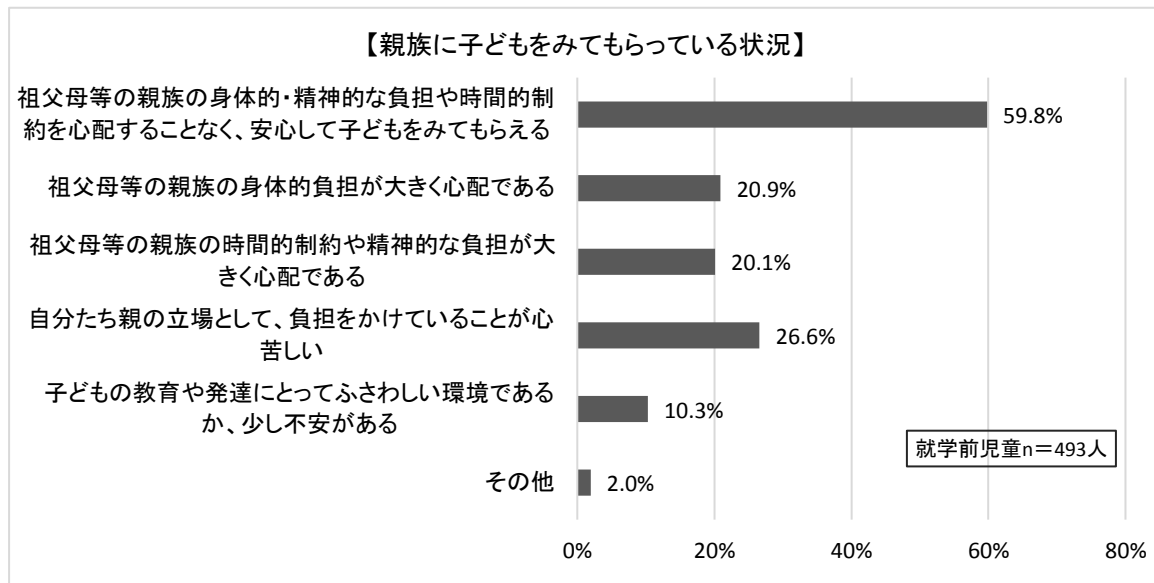
祖父母等の親族に安心してみてもらえる方は59.8%、心苦しいと感じている人は26.6%となっています。

問10 日頃、就学前のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(すべてに○)



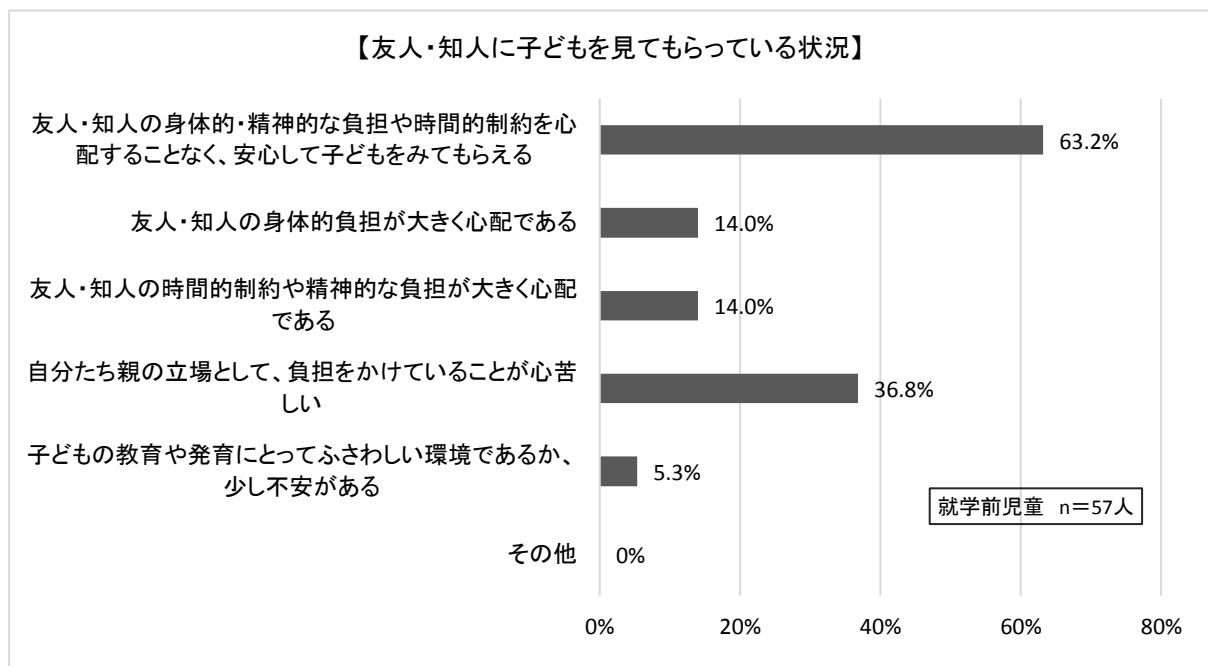
問10で「1. 日常的にみてもらえる祖父母等の親族がいる」または「2. 緊急時や用事の際にみてもらえる祖父母等の親族がいる」に○をつけた方にうかがいます。

問10-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(すべてに○)



問10で「3. 日常的にみてもらえる友人・知人がある」または「4. 緊急時や用事の際にみてもらえる知人・友人がある」に○をつけた方にうかがいます。

問10-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(すべてに○)

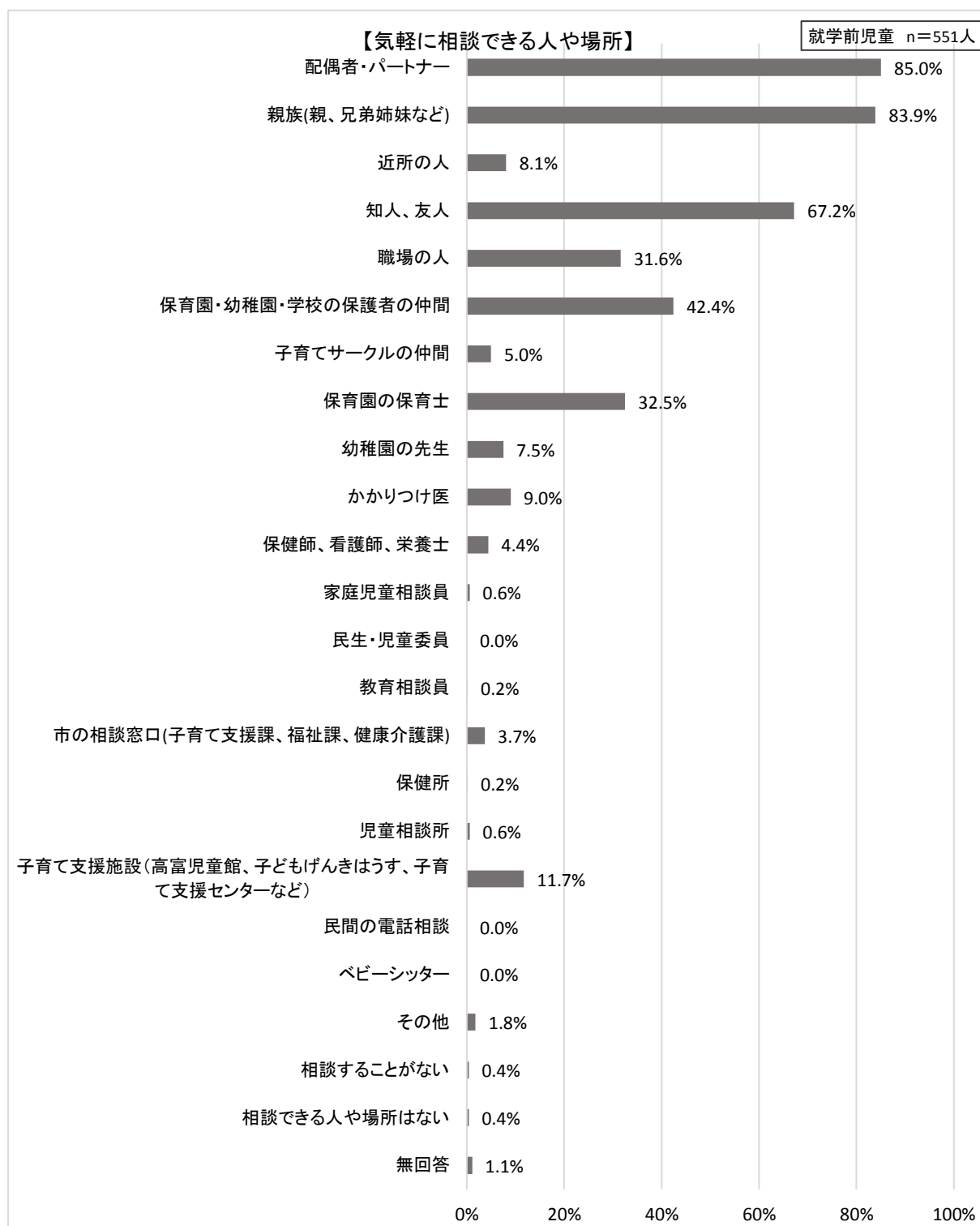


(2) 子育てに関する相談者の状況

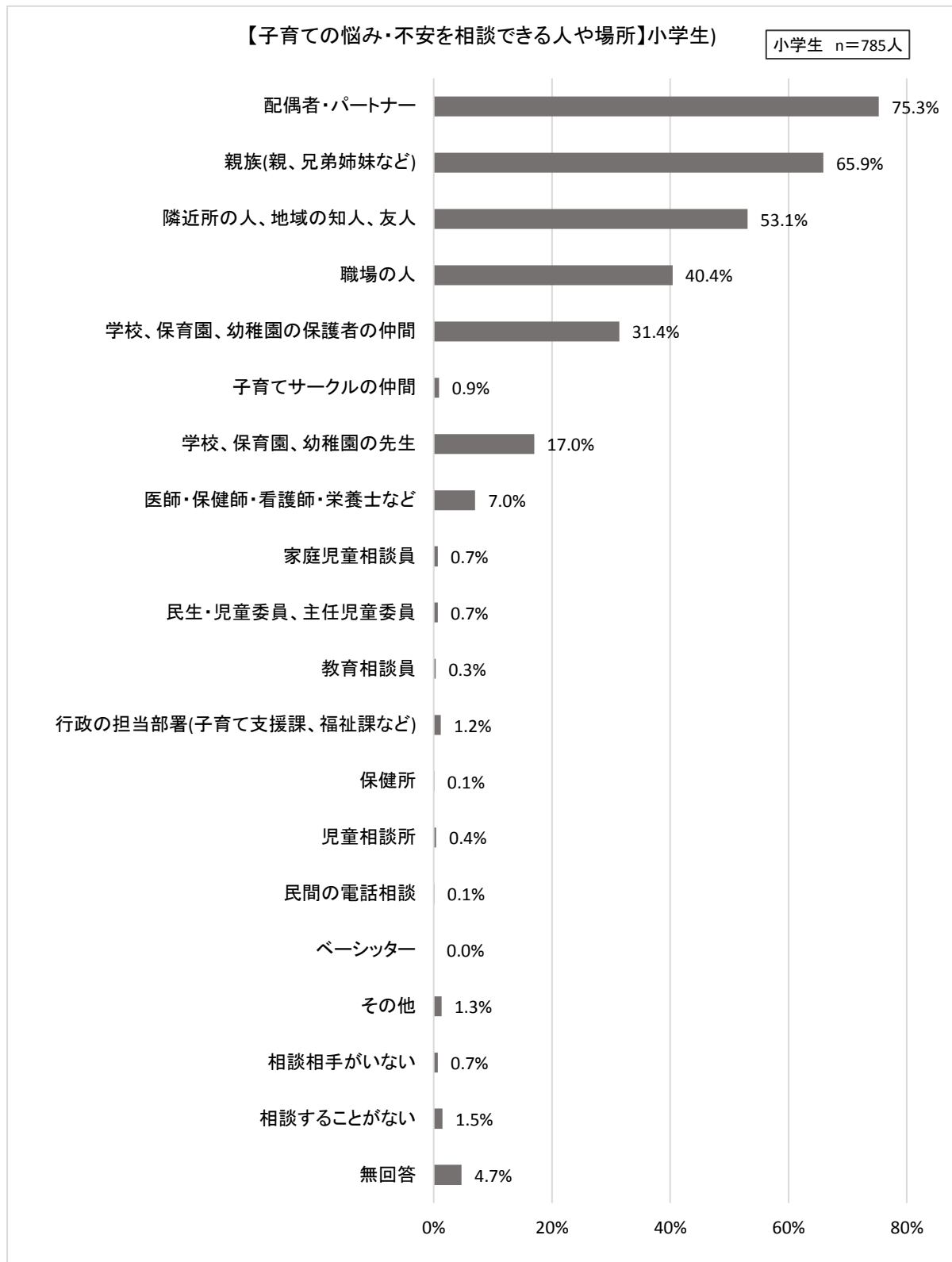
子育てに関して、気軽に相談できる先は「配偶者・パートナー」「親族」が多い。

子育て(教育を含む)について気軽に相談できる相手は「配偶者・パートナー」85%「親族」83.9%と多くなっています。次いで「知人、友人」67.2%となり身近な人が相談相手となっています。

問11 就学前のお子さんの子育て(教育を含む)について、気軽に相談できる人や場所がありますか。
(すべてに○)



(問20) 身近な地域で、子育てに関する悩みや不安を誰に相談していますか。(すべてに○)



2 主な保育者とその就労状況

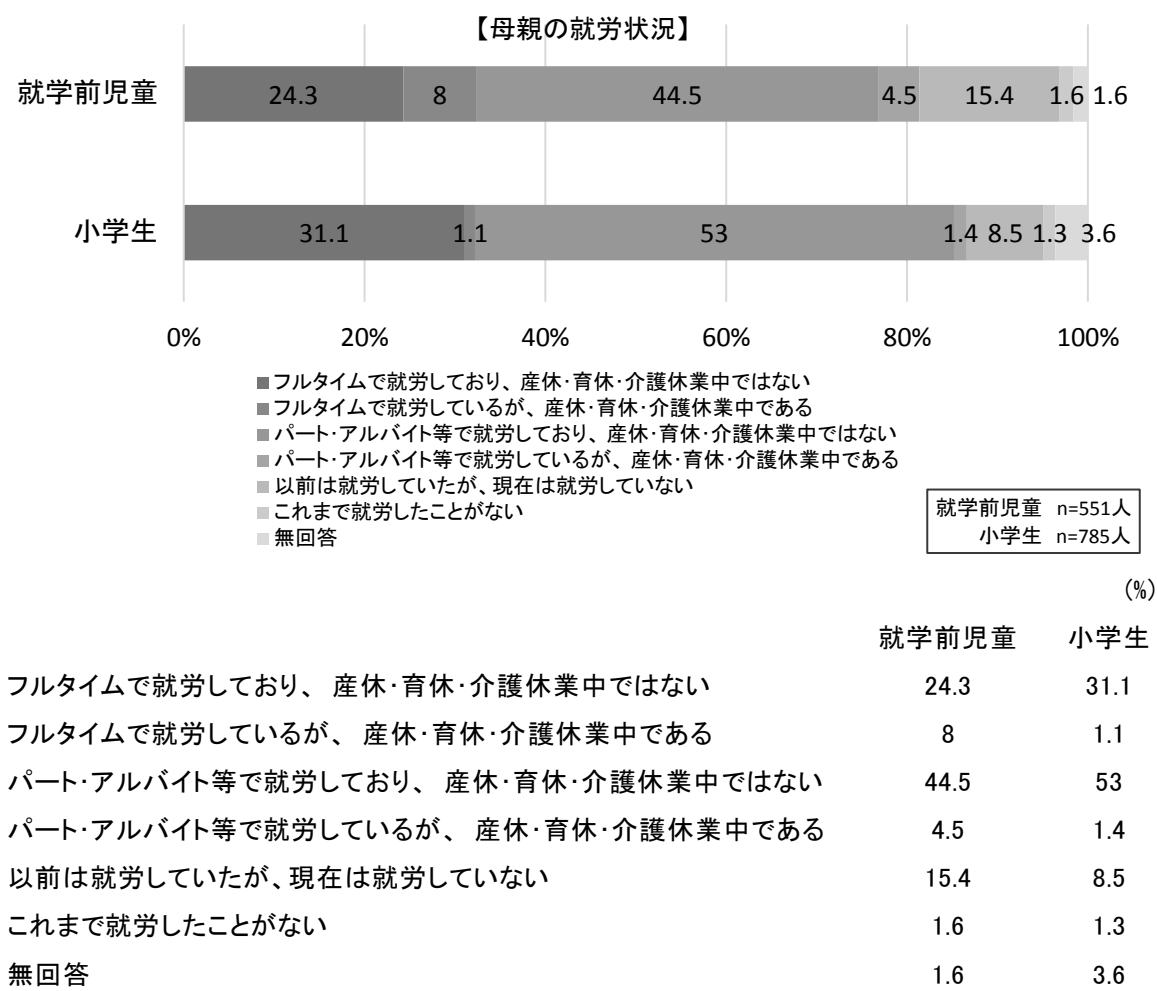
(1) 母親の就労状況

母親の現在の就労状況は、就学前児童、小学生ともに、産休・育休・介護休業中ではなく、パート・アルバイト等で就労しているとの回答が約半数で、最も多い。

母親の就労状況について、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が、就学前児童の母親は 44.5%、小学生の母親は 53% となっています。フルタイムで働く母親は、小学生の方がやや多くなっています。また、前回調査よりも増加しています。

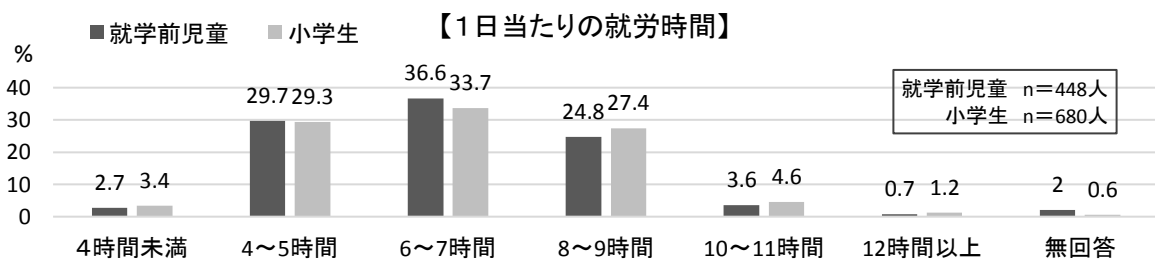
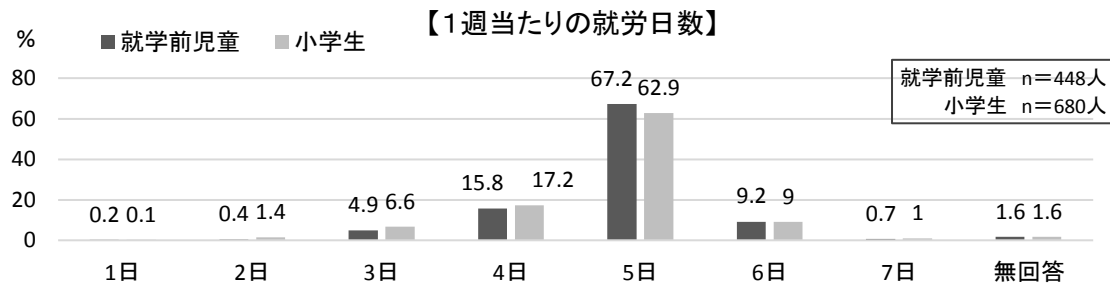
フルタイムへの転換希望については、就学前児童、小学生とも 65%以上が「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」していると回答しています。

問13(問8) 現在の就労状況(自営業、家族従事者を含む)について教えてください。(1つに○)

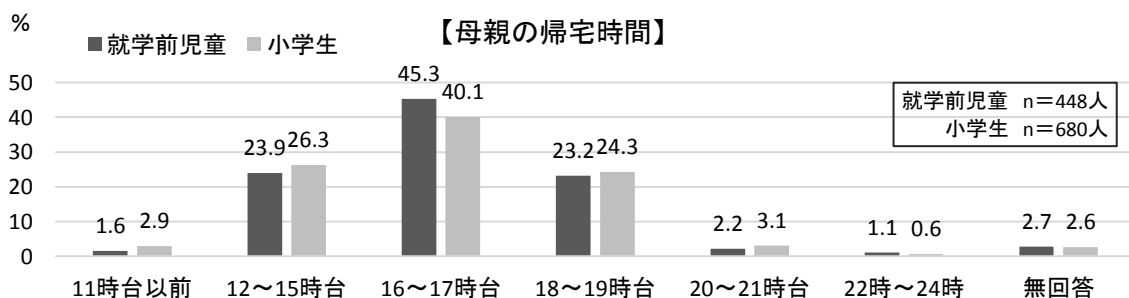
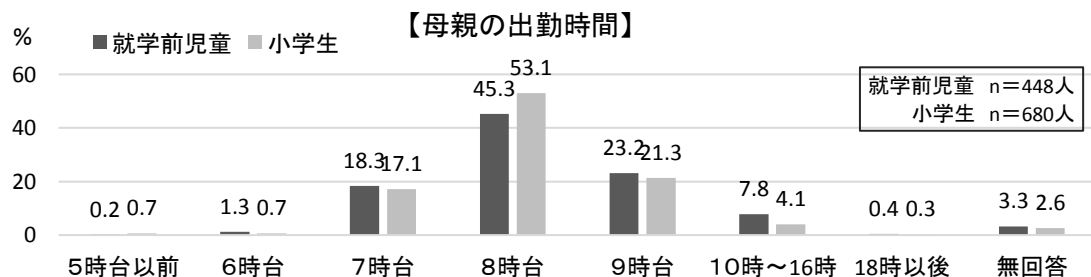


問13-1(問8-1) 問13(問8)で「1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない。2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である。3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない。4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である。」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

問13-1(1)(問8-1(1)) 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」を教えてください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

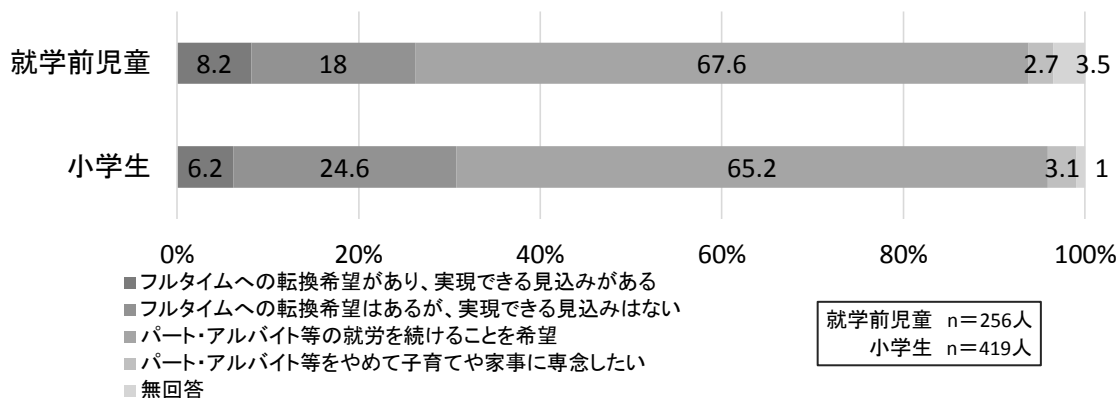


問13-1(2)(問8-1(2)) 家を出る時刻と帰宅時刻を教えてください。時刻が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。



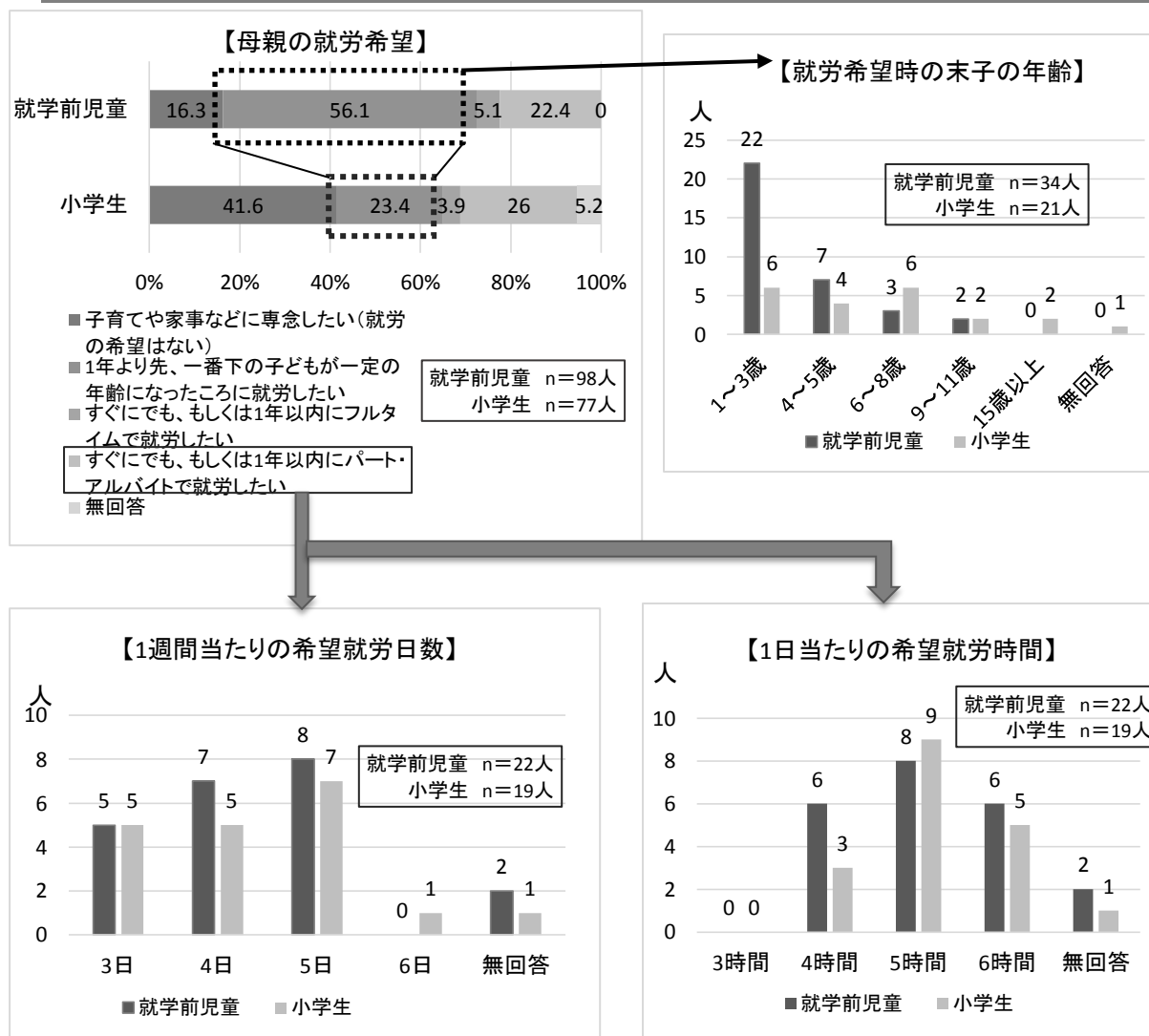
問13-2(問8-2) 問13(問8)で「3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」か「4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」(パート・アルバイト等)に○をつけた方にうかがいます。

問13-2(問8-2) フルタイムへの転換希望はありますか。(1つに○)



問13(問8)で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」か「6. これまで就労したことがない」(現在就労していない)に○をつけた方にうかがいます。

問13-3(問8-3) 就労希望はありますか。(1つに○)

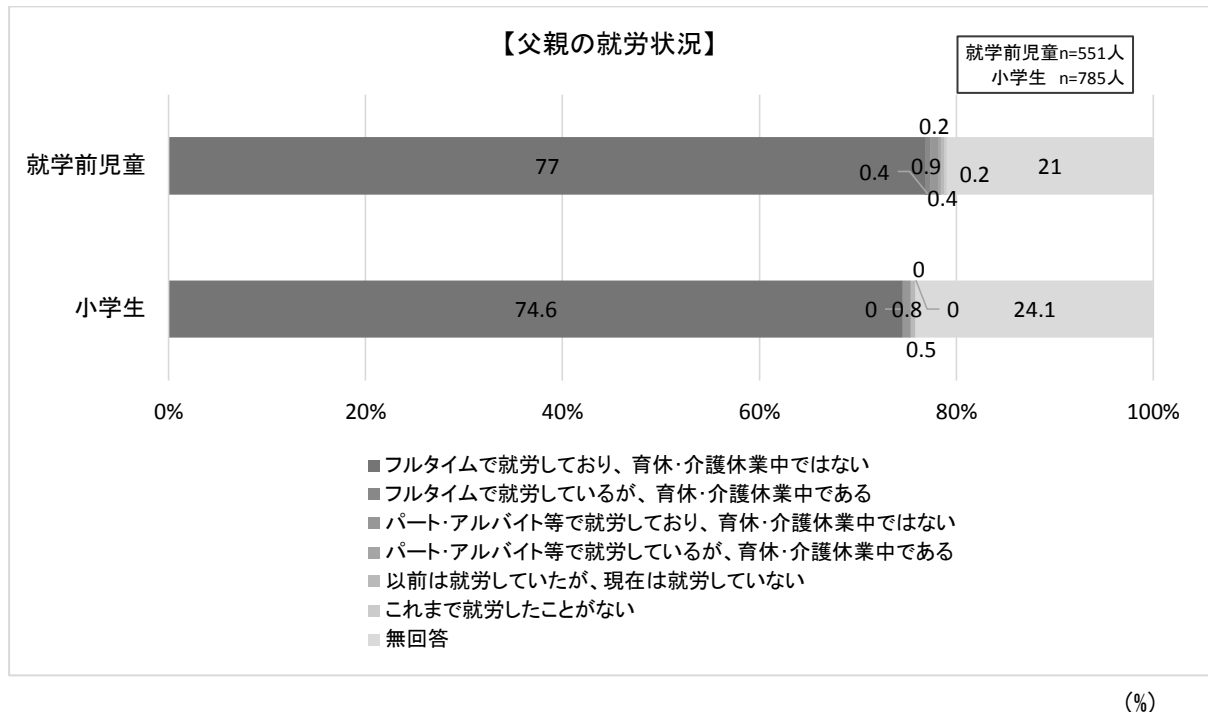


(2) 父親の就労状況

父親の現在の就労状況は、就学前児童、小学生ともに、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」の回答が最も多い。

父親の就労状況について、75%前後が「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」と回答しています。

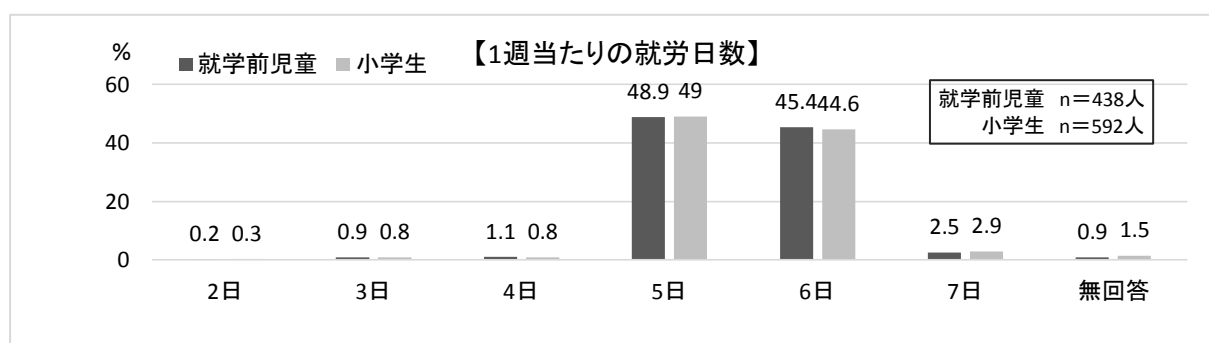
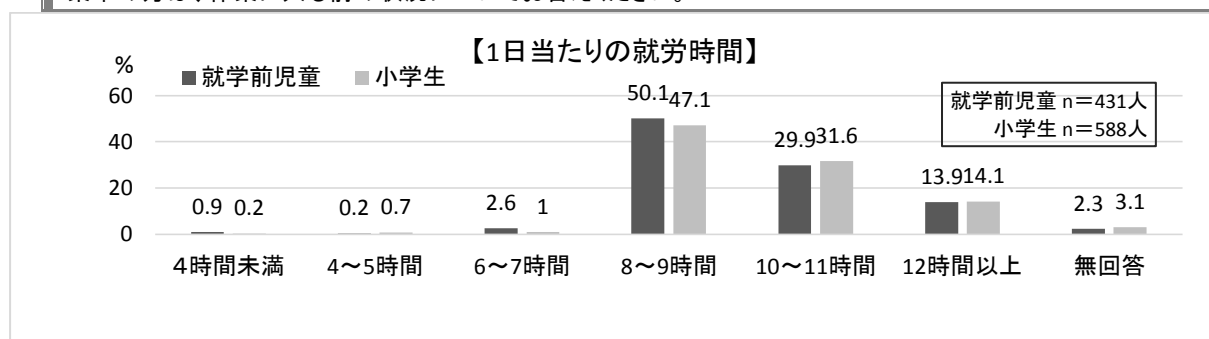
問14(問9) 現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)について教えてください。(1つに○)



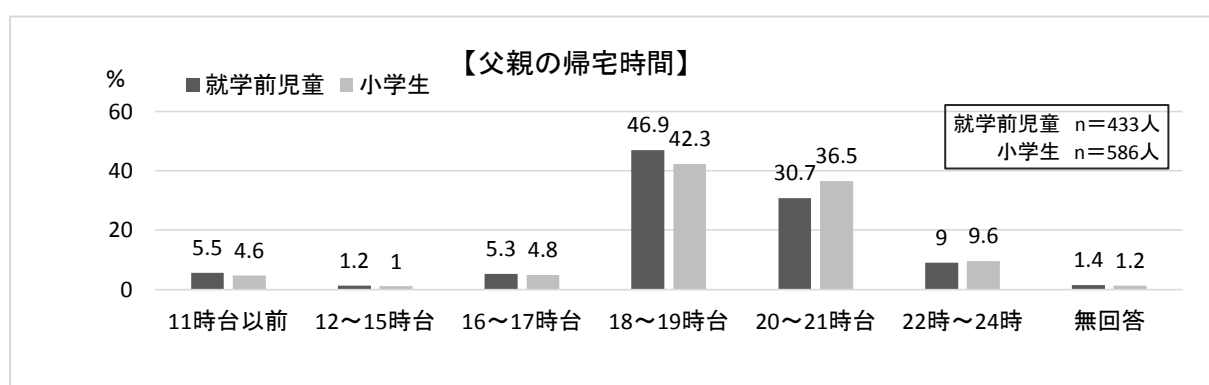
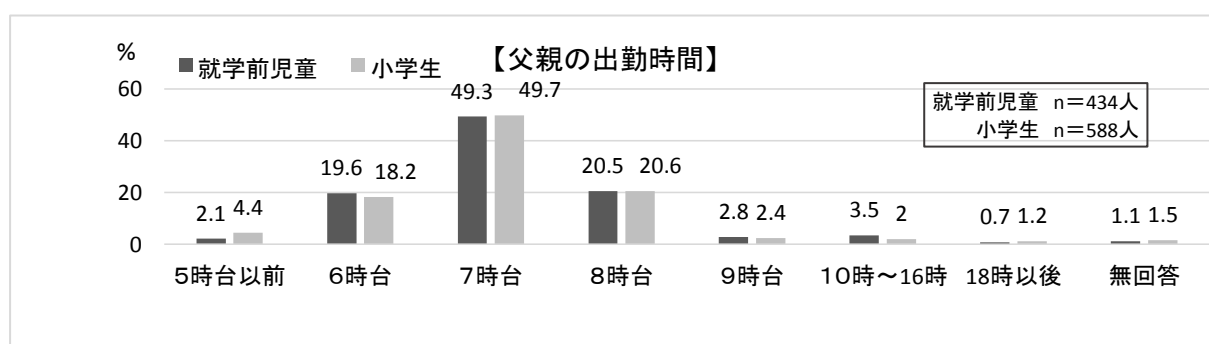
	就学前児童	小学生
フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない	77	74.6
フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である	0.4	0
パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない	0.9	0.8
パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である	0.2	0
以前は就労していたが、現在は就労していない	0.4	0.5
これまで就労したことがない	0.2	0
無回答	21	24.1

問14-1(問9-1) 問14(問9)で「1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない。2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である。3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない。4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である。」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

問14-1(1)(問9-1(1)) 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」を教えてください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

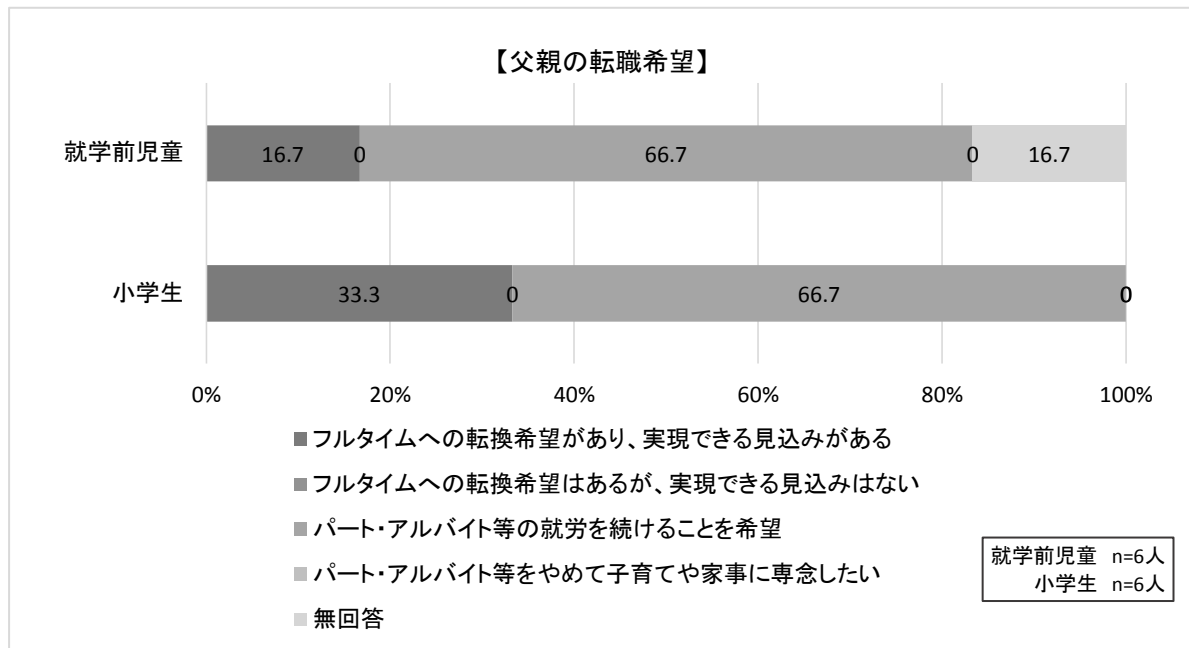


問14-1(2)(問9-1(2)) 家を出る時刻と帰宅時刻を教えてください。時刻が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。



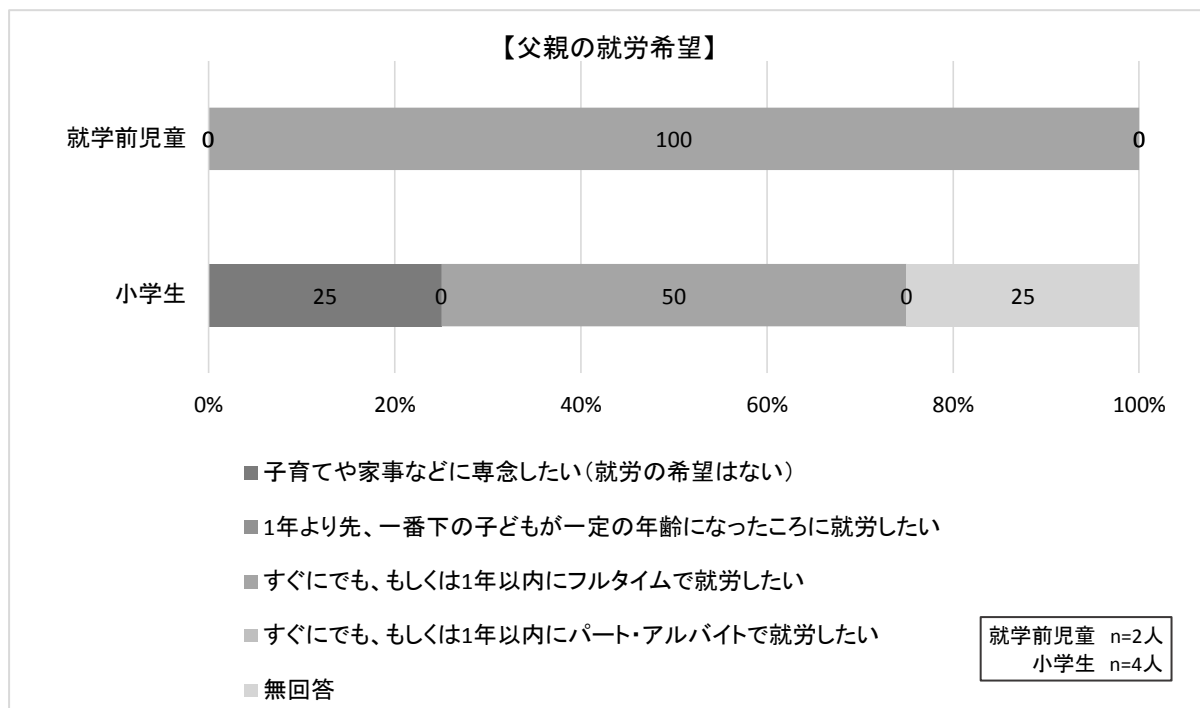
問14-2(問9-2) 問14(問9)で「3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」か「4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」(パート・アルバイト等)に○をつけた方にうかがいます。

問14-2(問9-2) フルタイムへの転換希望はありますか。(1つに○)



問14(問9)で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」か「6. これまで就労したことがない」(現在就労していない)に○をつけた方にうかがいます。

問14-3(問9-3) 就職希望はありますか。(1つに○)



第3章

子ども・子育て支援事業等の現状と 今後のニーズ量

第3章 子ども・子育て支援事業等の現状と今後のニーズ量

1 子ども・子育て支援事業の利用状況と利用希望

(1) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況と利用希望

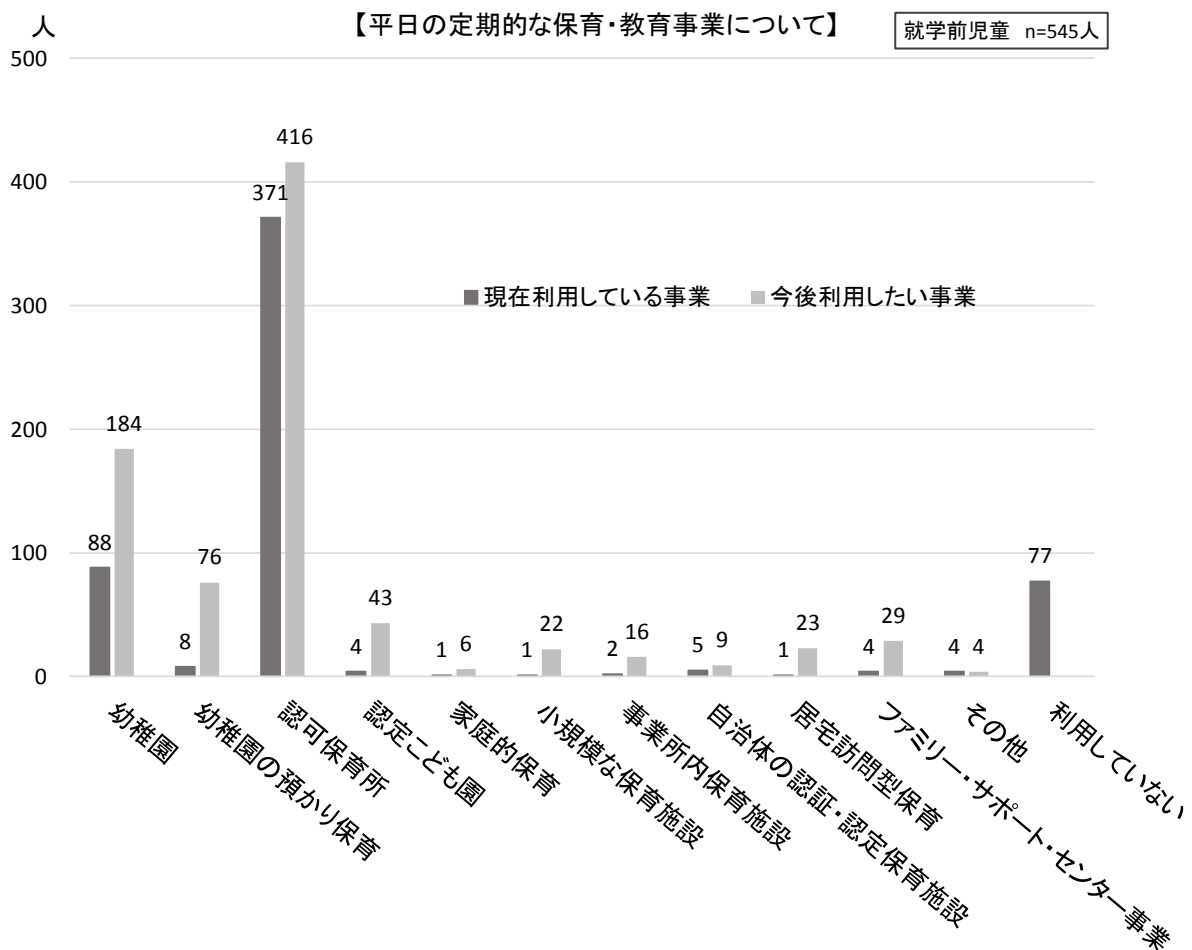
定期的に利用している教育・保育事業について、「保育園」が65%と最も多く、また、利用したいと考えているのも「保育園」(50%)であった。

今後利用したい事業として保育園が45人、幼稚園は96人増加しています。また幼稚園の預かり保育も68人増えています。このように定期的な教育・保育事業に対する増加が見込まれます。

定期的な教育・保育事業について、「利用している場所」は「山県市内」が82%、「利用したい場所」は「山県市内」が92.2%になっています。

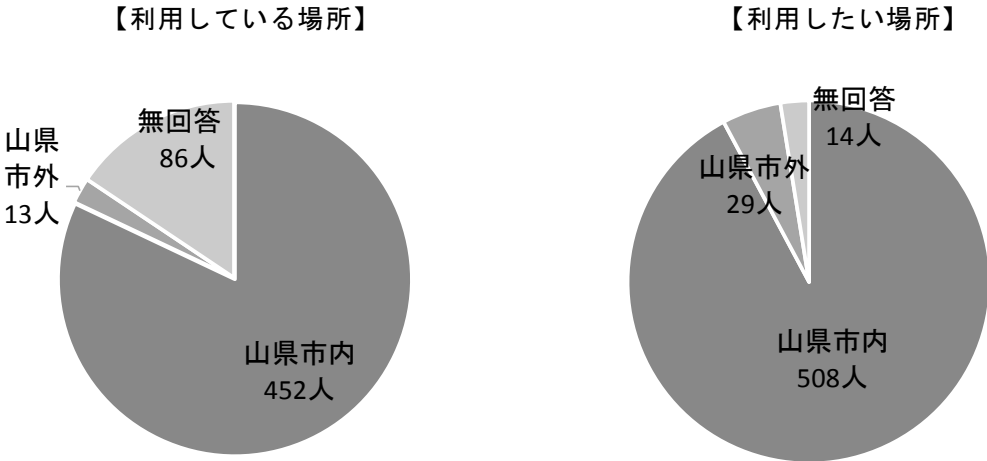
問15 就学前のお子さんは現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育事業」を利用されていますか。
(すべてに○)

問16 現在、利用している、していないにかかわらず、就学前のお子さんの平日の教育・保育事業として「定期的」に利用したいと考える事業はどれですか。(すべてに○)



問15-2 現在、利用している教育・保育事業の施設はどこにありますか。(1つに○)

問16-1 利用したい教育・保育事業の場所はどこですか。(1つに○)



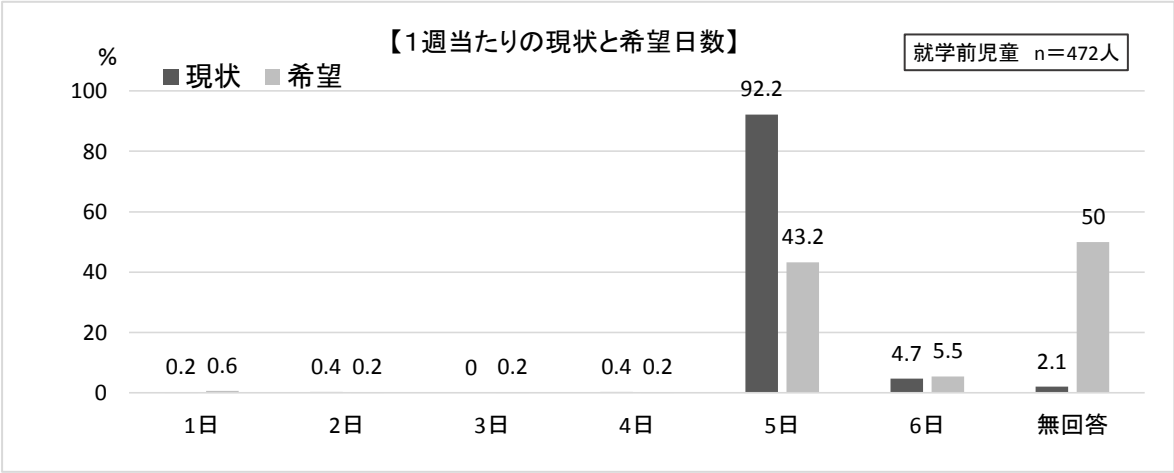
(2) 平日の定期的な教育・保育事業利用の日にちと時間の状況と希望

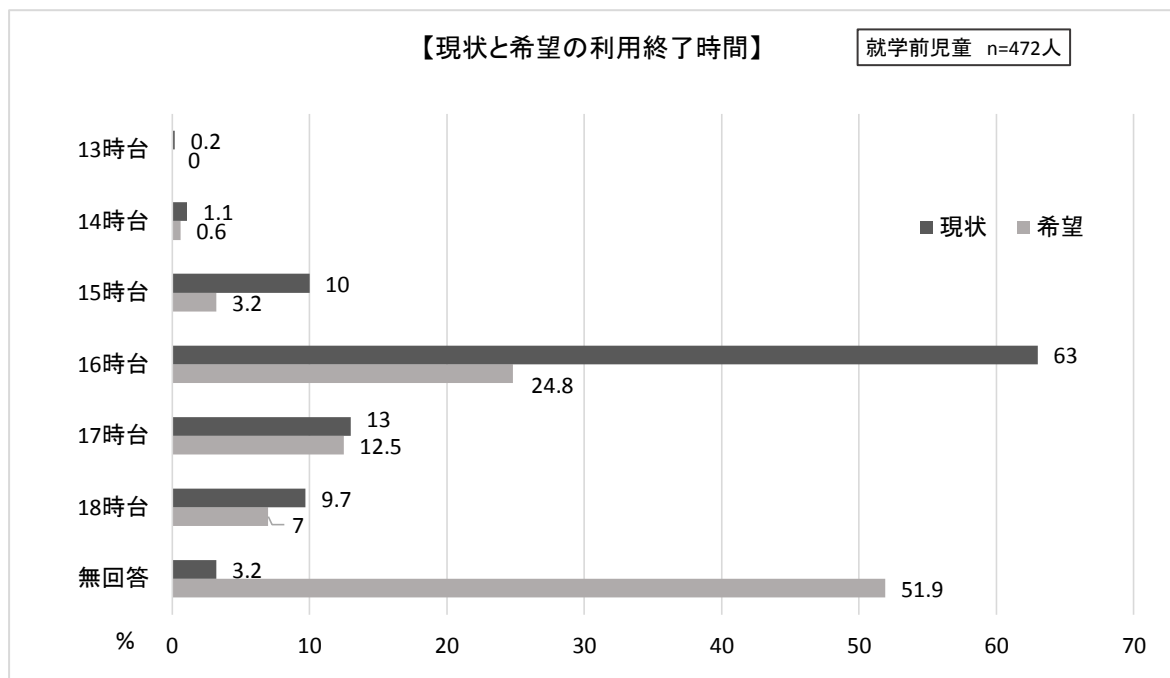
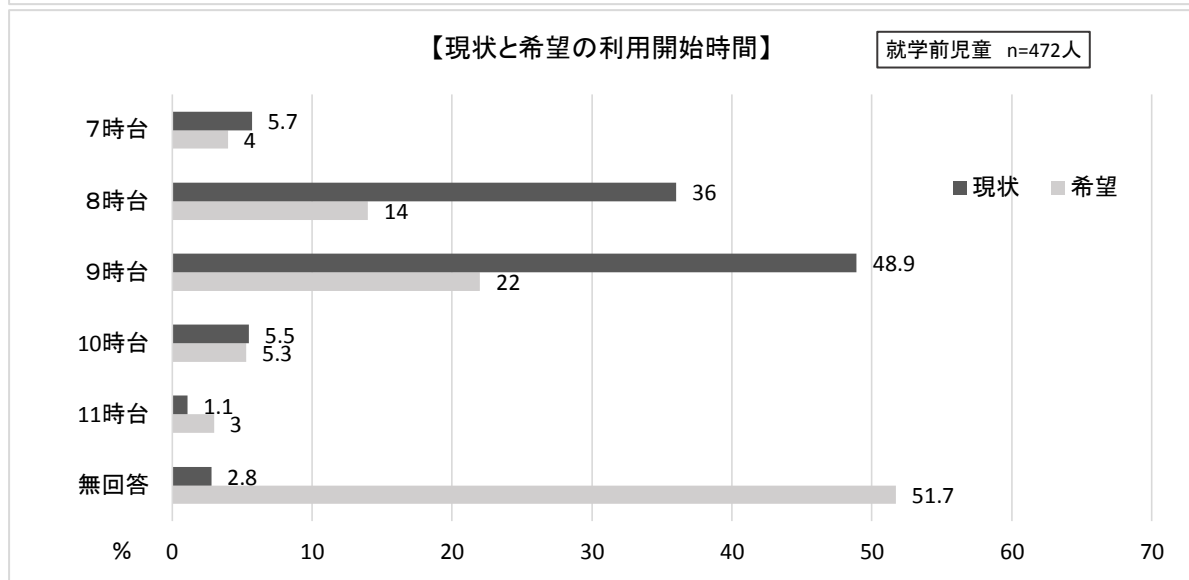
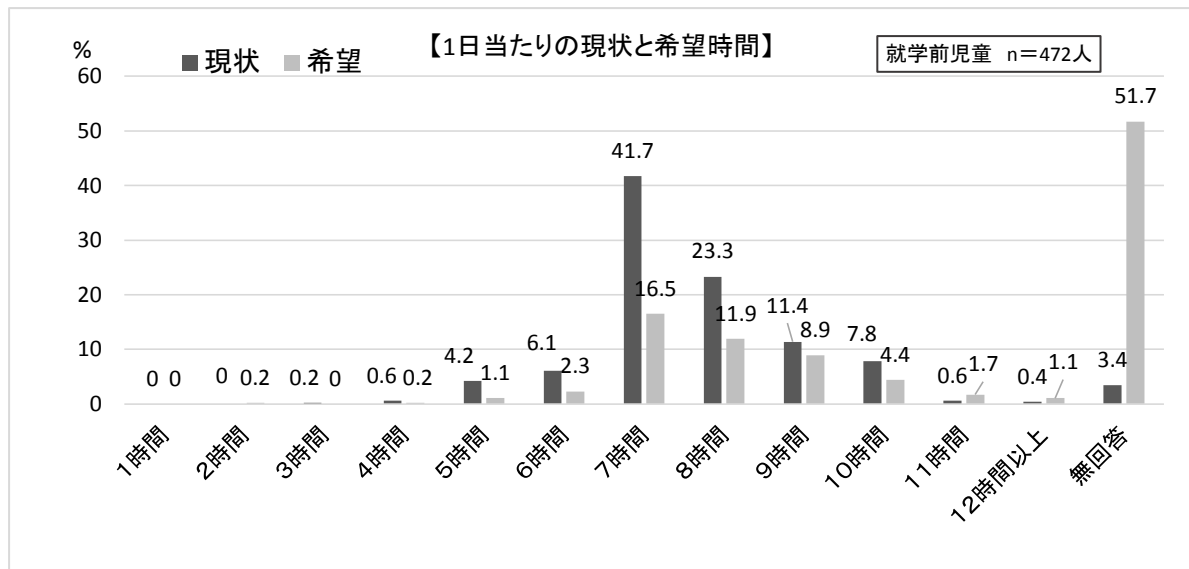
定期的な教育・保育事業について現状は、1週当たり5日、1日7時間が最も多い。

現状は1週当たり「5日」92.2%、1日当たり「7時間」41.7%、開始時間は「9時台」48.9%、終了時間は「16時台」63%が最も多くなっています。

問15-1 問15で利用している教育・保育事業について、①どの程度利用していますか。また、②利用したいと思っていますか。1週当たり日数、1日当たり時間数(何時から何時まで)を()内に具体的な数字でご記入ください。

①②平日に定期的に利用している教育・保育事業の利用状況と希望





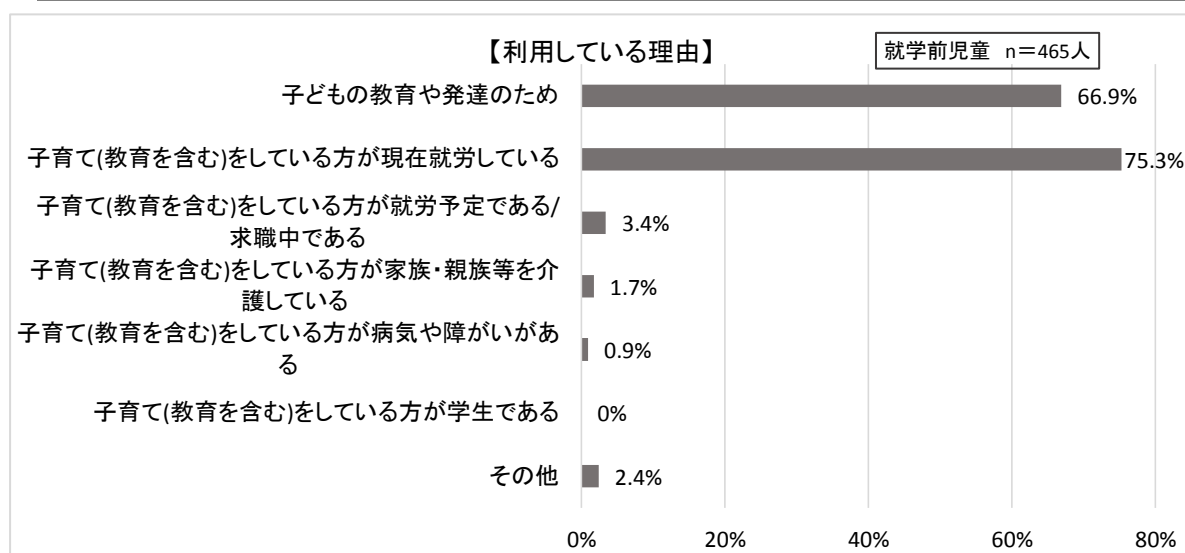
(3) 定期的な教育・保育事業の利用理由と未利用理由

定期的にご利用している理由は「子育てをしている方が現在就労している」「子どもの教育や発達のため」が多い。

利用している理由は「子育てをしている人が現在就労している」75.3%、「子どもの教育や発達のため」66.9%となっています。利用していない理由は、「子どもがまだ小さいため」56.4%、「利用する必要がある」46.2%です。これからの利用が考えられます。

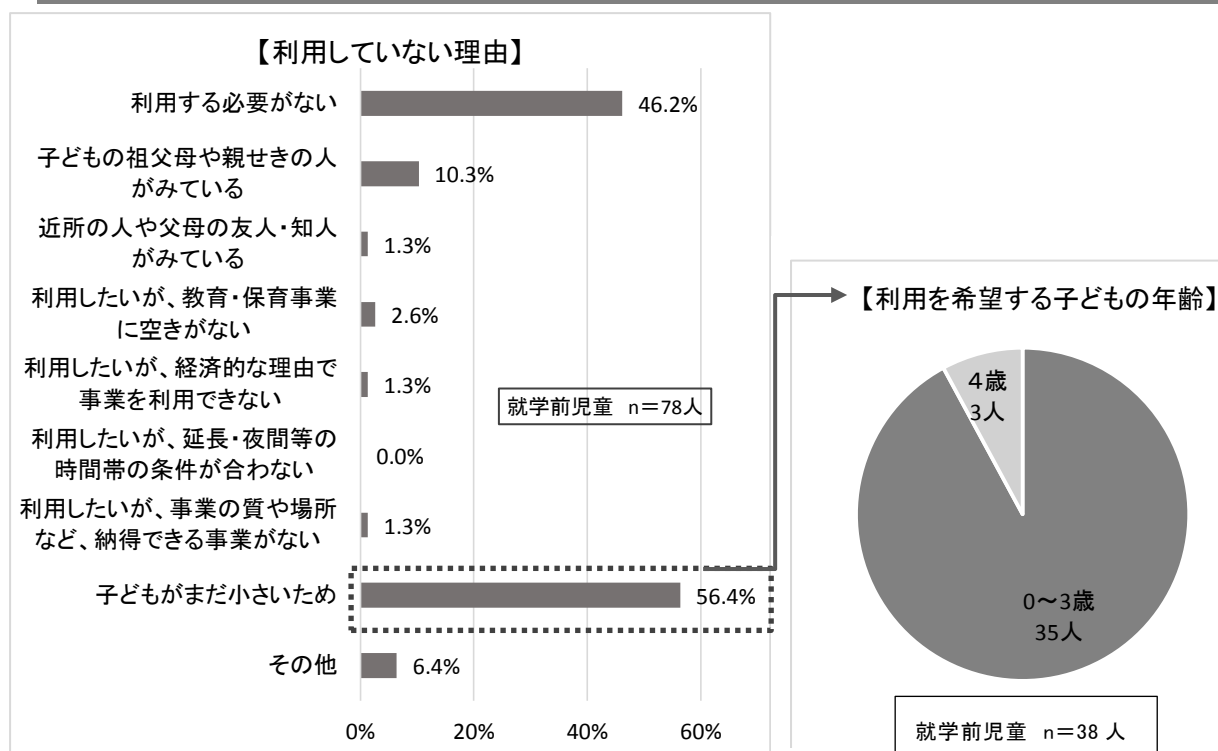
問15で「1.～12.」の利用しているに○をつたけ方にうかがいます。

問15-3 平日の教育・保育事業を利用されている理由は何ですか。(すべてに○)



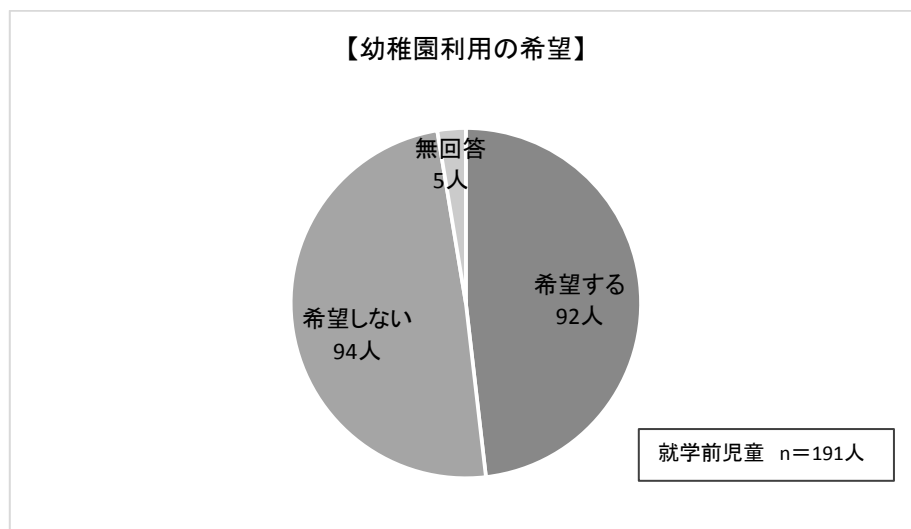
問15で「13.利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

問15-4 利用していない理由は何ですか。(すべてに○)



問16で「1.幼稚園(通常の就園時間の利用)」または、「2.幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)」に○をつけ、かつ「3.~12.」にも○をつけた方にうかがいます。

問16-2 特に幼稚園(幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む)の利用を強く希望しますか。
(1つに○)



2 地域の子ども・子育て支援事業の利用状況と利用希望

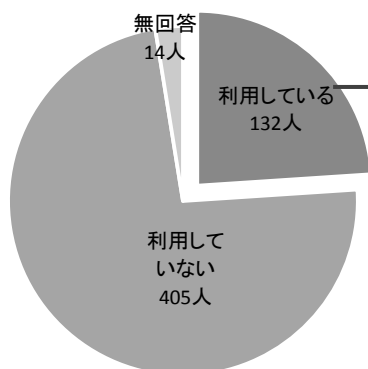
(1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況と利用希望

利用していない方が約7割以上あり、今後利用したい・利用を増やしたい方は4割であった。

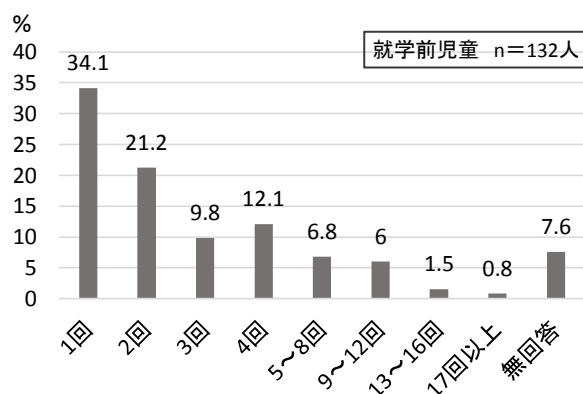
地域子育て支援拠点事業を利用している人が24%、利用していない人が73.5%、となっています。また、今後の利用は57.5%(無回答を除く)が「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」となっています。

問17 就学前のおさんは、現在、地域子育て支援拠点事業(子育て支援センター(高富児童館内))を利用していますか。

【現在の地域子育て支援拠点事業の利用状況】(就学前児童)

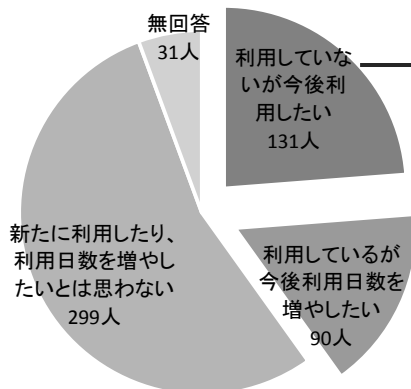


【地域子育て支援拠点事業の1か月当たりの回数】

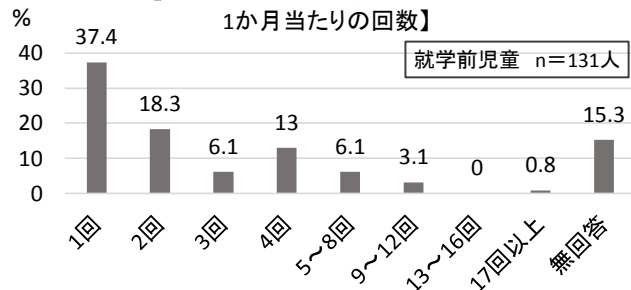


問18 地域子育て支援拠点事業について今後どのようにしたいとお考えですか。(1つに○)

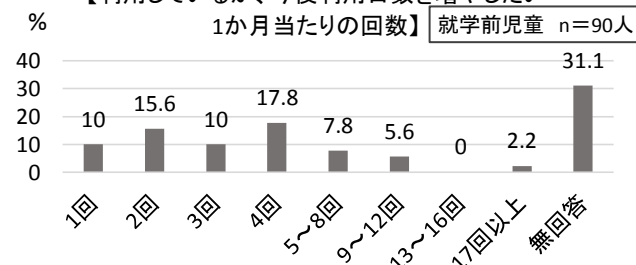
【地域子育て支援拠点事業の今後の利用について】(就学前児童)



【利用していないが今後利用したい1か月当たりの回数】



【利用しているが、今後利用日数を増やしたい1か月当たりの回数】



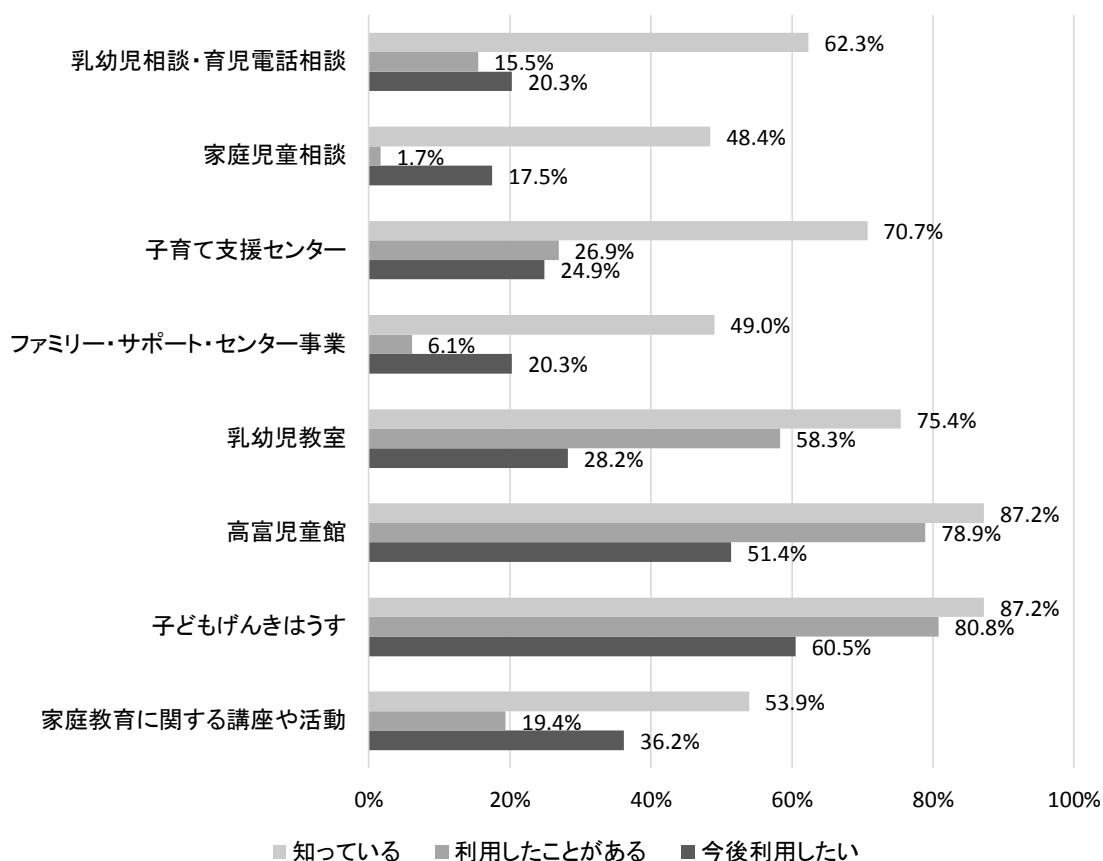
(2) 子ども・子育て支援事業の認知・利用状況と今後の利用意向

「高富児童館」「子どもげんきはうす」は、認知度も利用状況も8割前後と非常に高い。「家庭児童相談」「ファミリーサポートセンター事業」は、ほとんど利用されていないが、今後利用したい人は少なくない。

認知度が50%以下のものは「家庭児童相談」「ファミリーサポートセンター事業」の2つでした。相談に関しては利用経験も少ない状況でした。直接子どもが関われる事業の利用が多くなっています。

問19 下記の事業で知っているものや利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものについて、それぞれ○をつけてください。(すべてに○)

【子育て支援事業について】



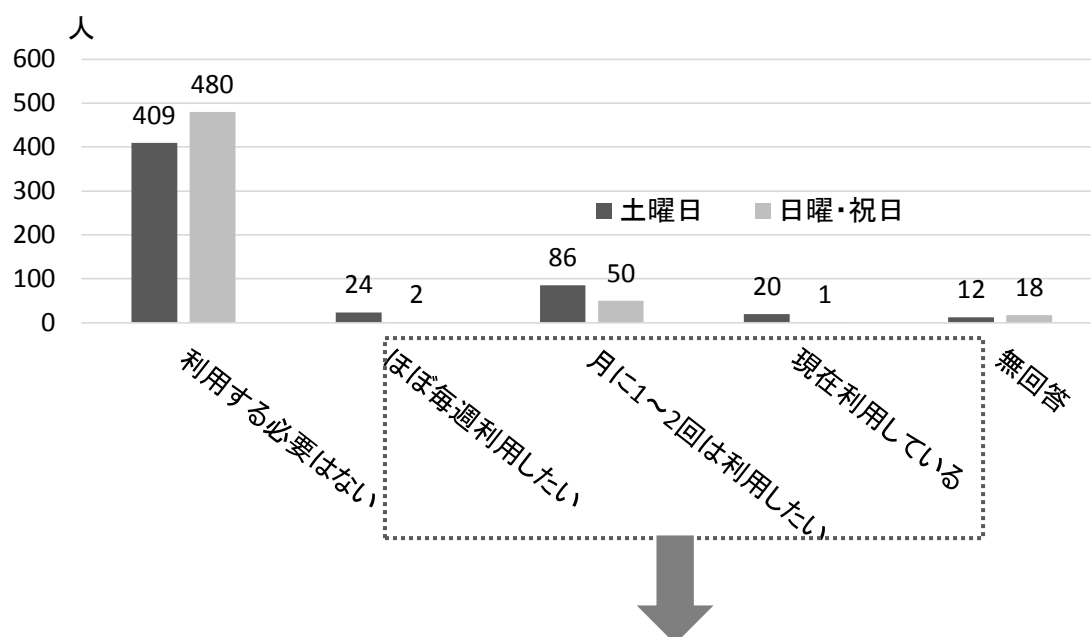
(3) 土曜日・休日、長期休暇中の教育・保育事業の利用意向

「利用する必要はない」が土曜日は約 74.2%、日曜日・祝日は約 87.1%。

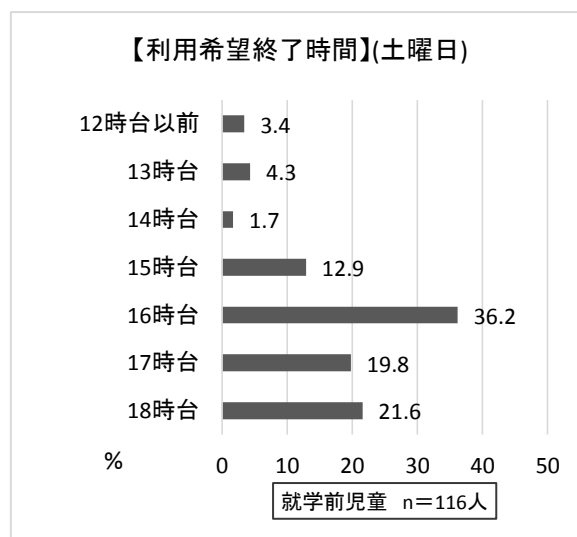
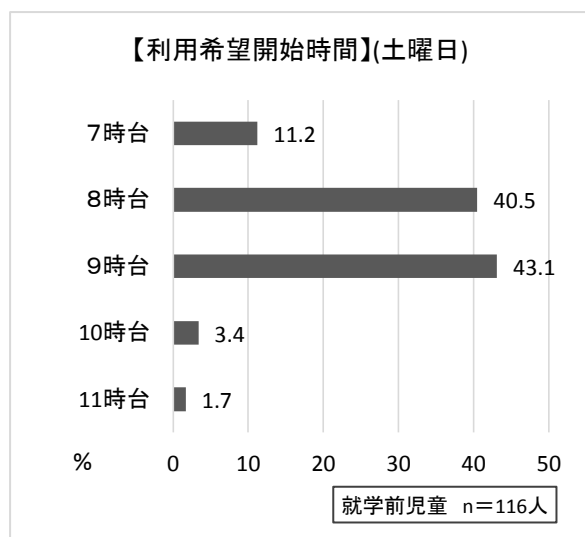
「利用する必要はない」と回答した人は、土曜日は約 7 割、日曜日・祝日では約 9 割近くとなっています。「月に 1～2 回は利用したい」は土曜日 15.6%、日曜日・祝日 9.1% で約 1 割前後となっています。

問20 就学前のお子さんについて、土曜日・休日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか。

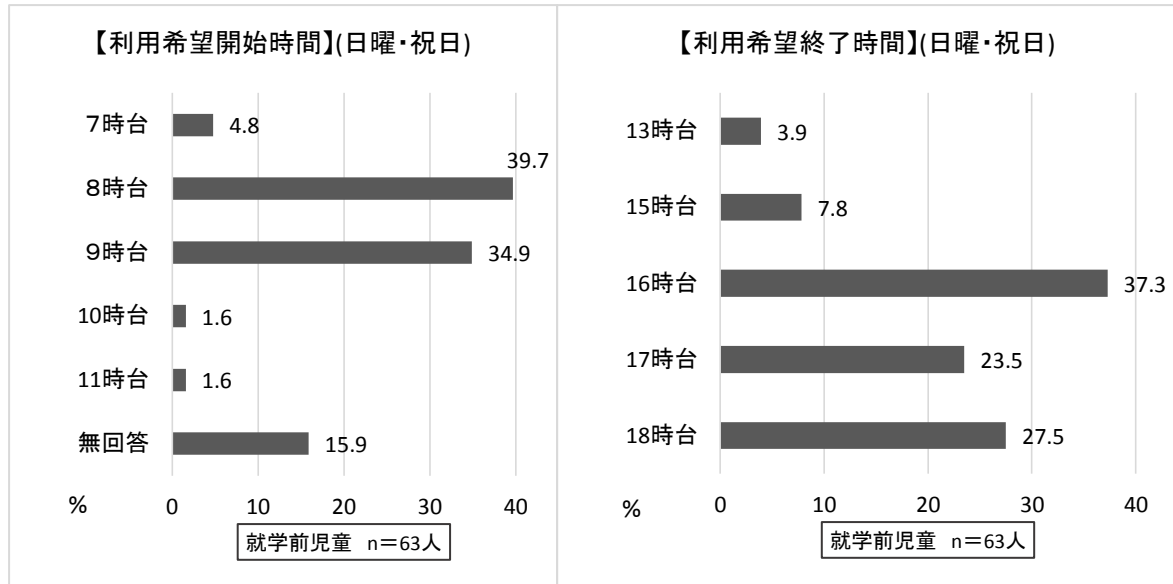
【土曜日と日曜日・祝日の利用希望】



①土曜日で「2.ほぼ毎週利用したい」「3.月に 1～2 回は利用したい」「4.現在利用している」に○をつけた方のみ。

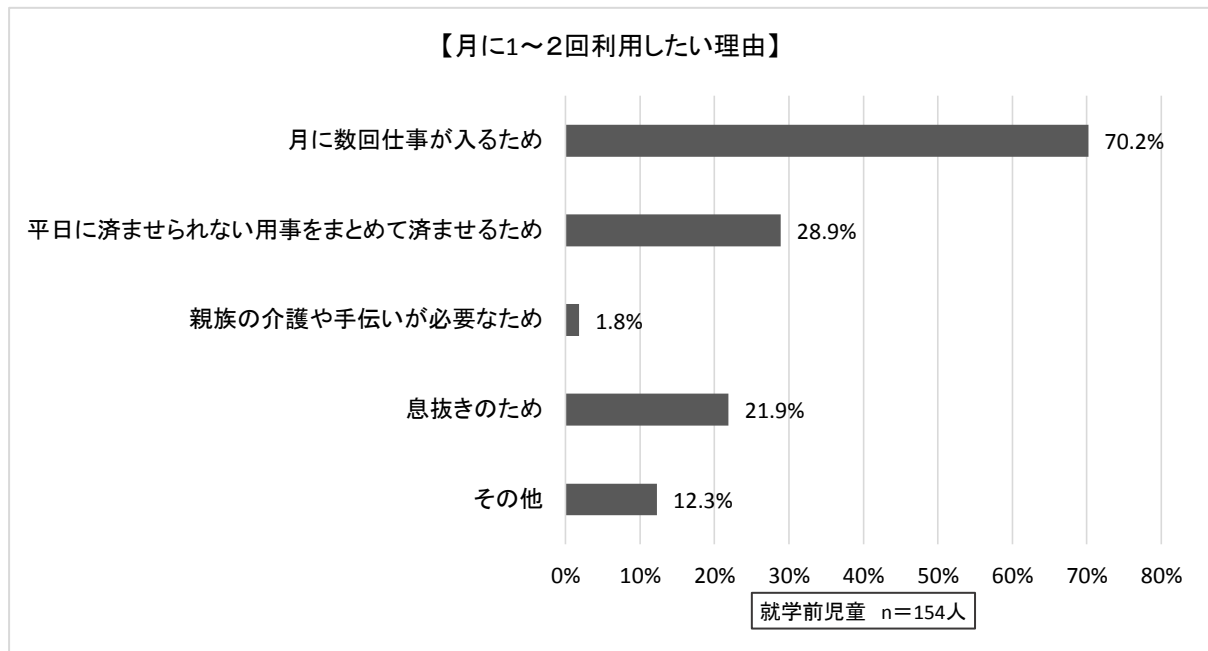


②日曜日・祝日で「2.ほぼ毎週利用したい」「3.月に1～2回は利用したい」「4.現在利用している」に○をつけた方のみ。



問20の①もしくは②で、「3.月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問20-1毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(すべてに○)

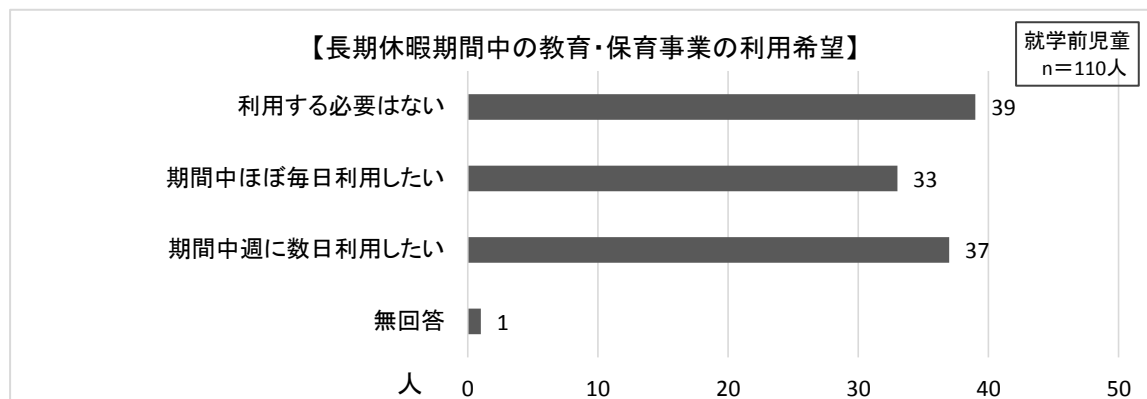


長期間中、ほぼ毎日あるいは週に数日利用したい方は、7割である。

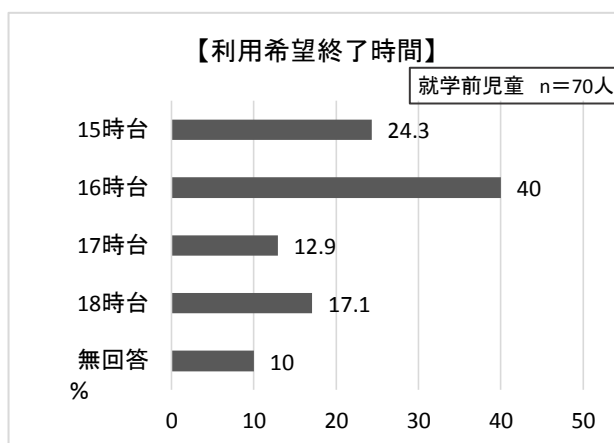
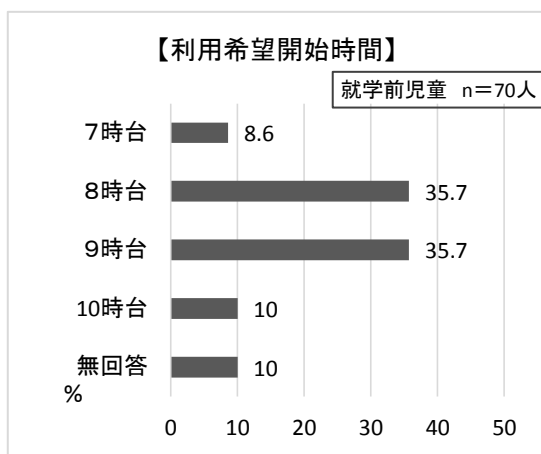
利用希望は7割あり、朝8～9時台から15～16時台まで利用したいと考えている方が7割程度います。利用したい理由は、「週に数回仕事が入るため」67.4%で最も多くなっています。

「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。

問21 就学前のお子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。また、希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。

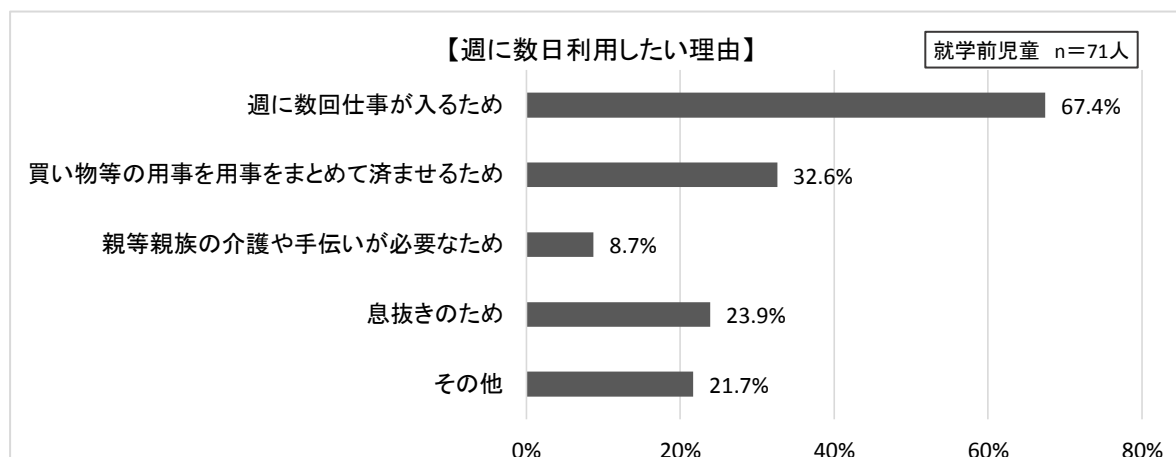


「2.期間中ほぼ毎週利用したい」「3.期間中週に数日利用したい」に○をつけた方のみ。



問21で「3.期間中週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問21-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。(すべてに○)



(4) 病児・病後児保育について

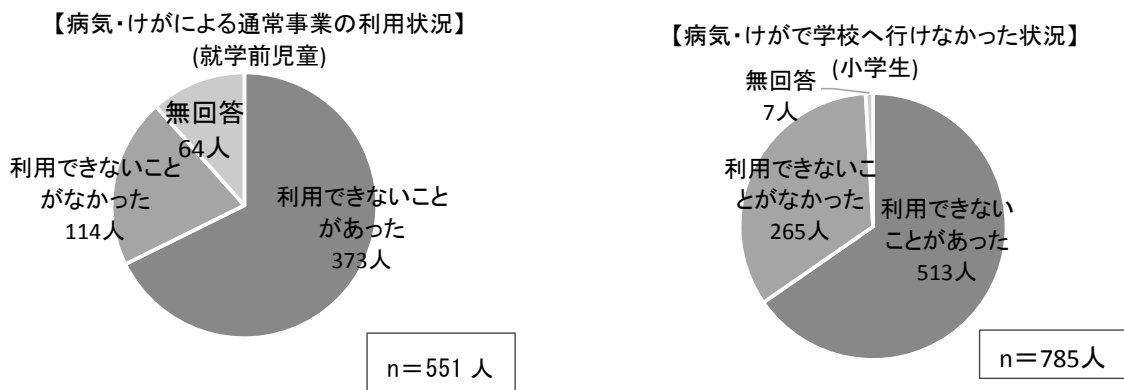
病児・病後児事業を利用したい人は、就学前児童 12%、小学生 6.9%と多くない。

病気やけがによって通常事業を利用できなかった、あるいは学校へ行けなかった人は、就学前児童 67.7%、小学生 65.4%と7割近くとなっています。その時の対応は、どちらも「母親が休んだ」と7割前後が答えています。病児・病後児保育事業を利用したい人は、就学前児童 12%、小学生 6.9%とあまり多くありません。

平日の教育・保育事業を利用している方にのみうかがいます。

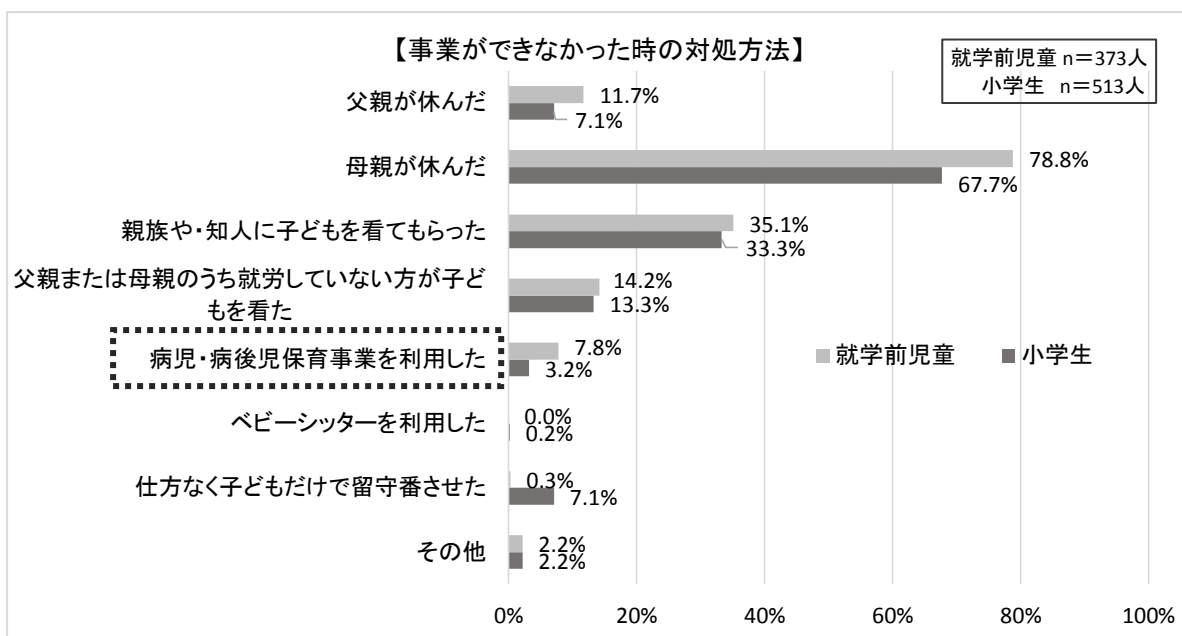
問22 この1年間に、就学前のお子さんが病気やけがで通常の事業(保育園や幼稚園など)が利用できなかったことはありますか。

(問14) この1年間に、小学生のお子さんが病気やけがにより、平日、学校へ行けなかったことはありますか。(1つに○)

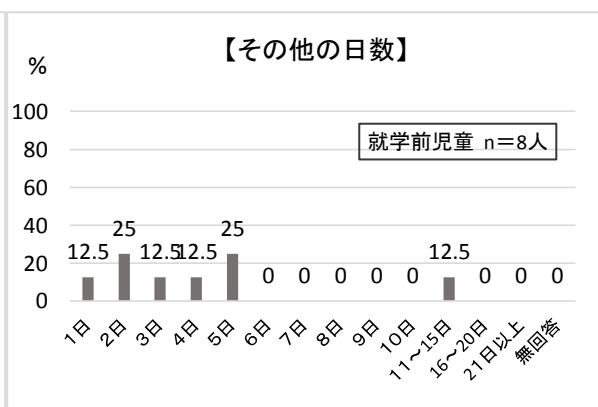
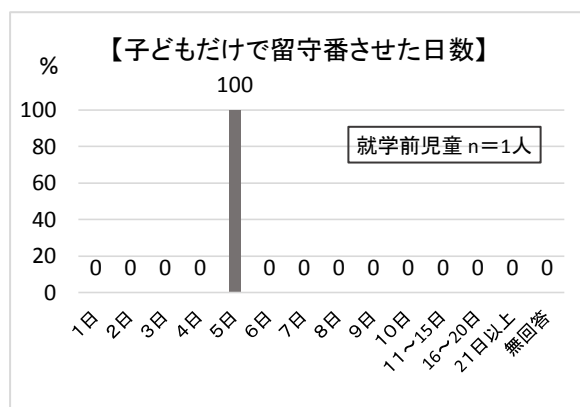
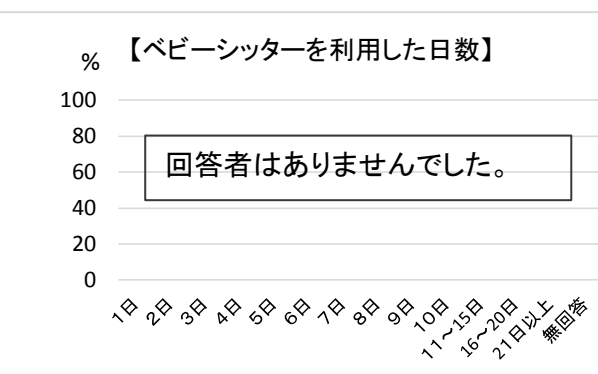
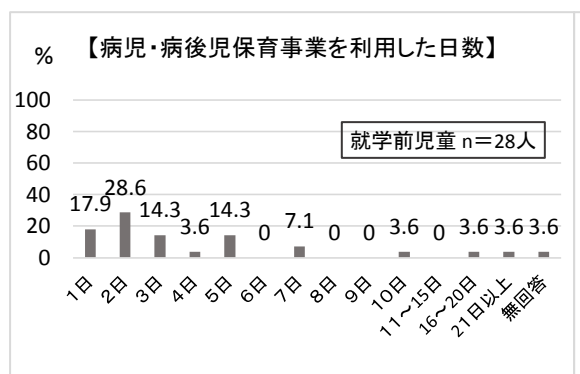
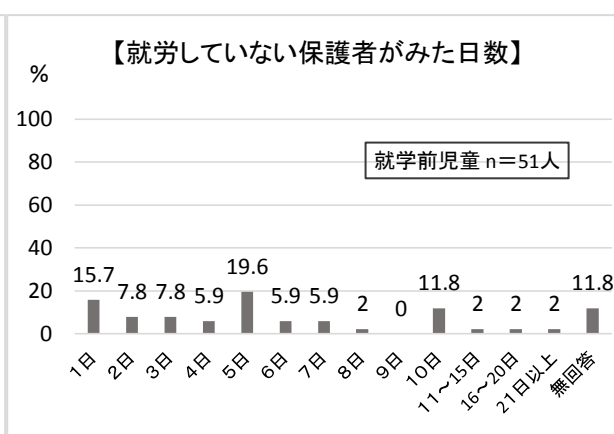
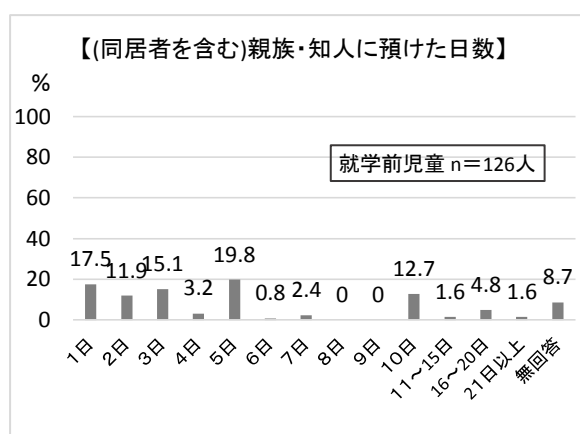
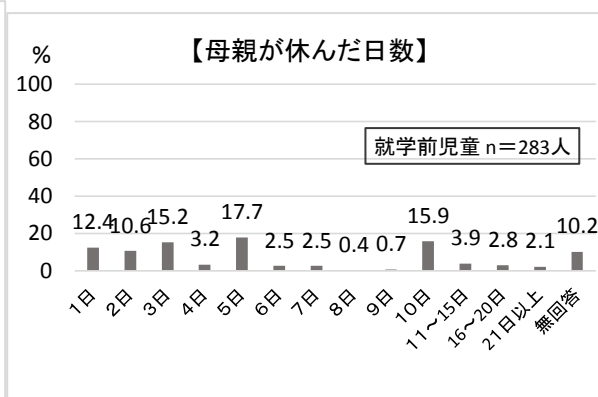
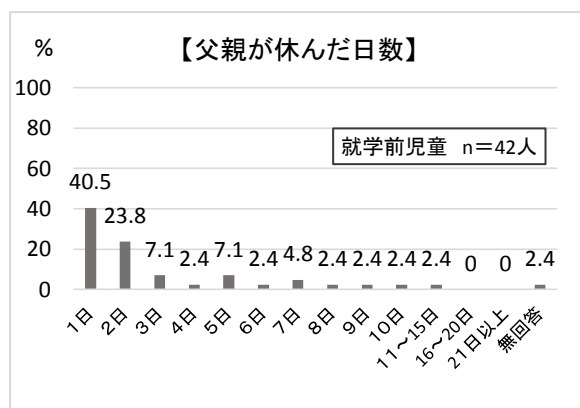


問22-1 就学前のお子さんが病気やけがでいつも利用している教育・保育事業が利用できなかった場合に、この1年間に行なった対処方法はどれになりますか。(すべてに○)

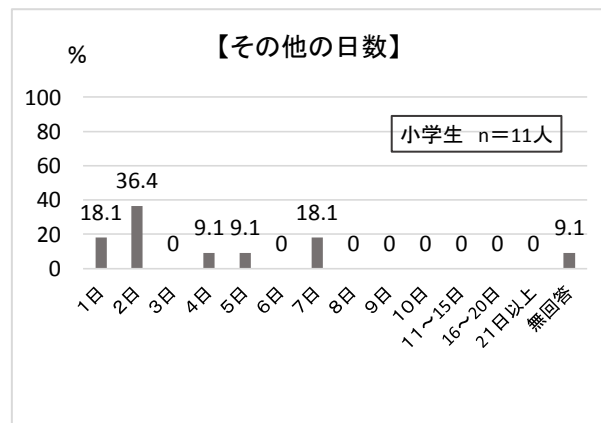
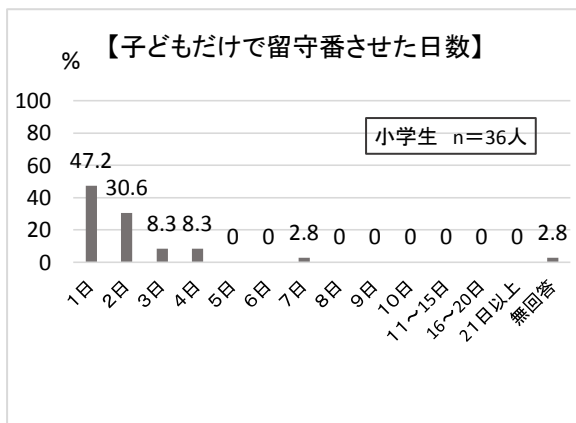
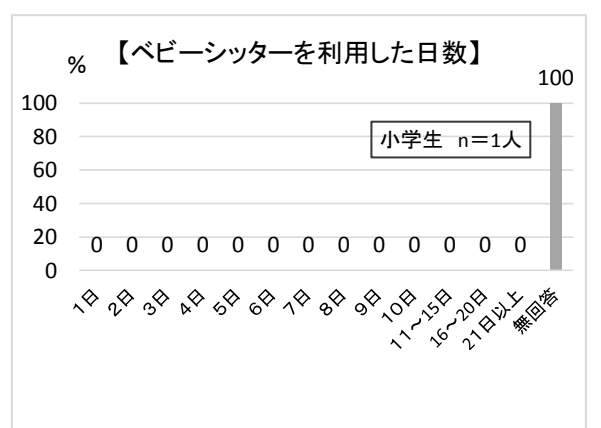
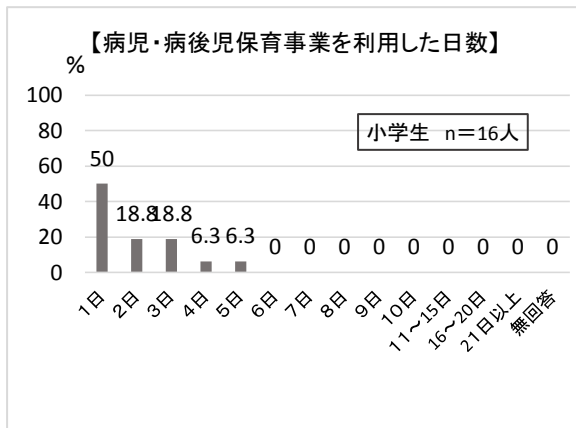
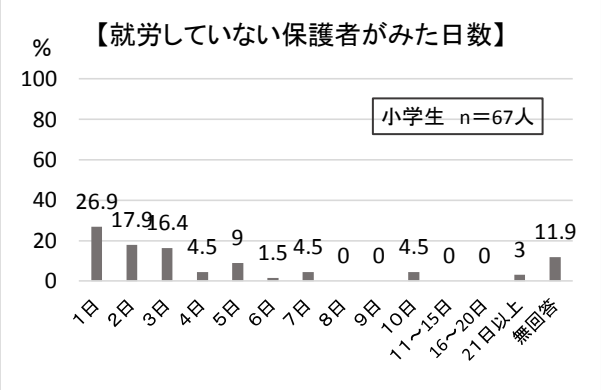
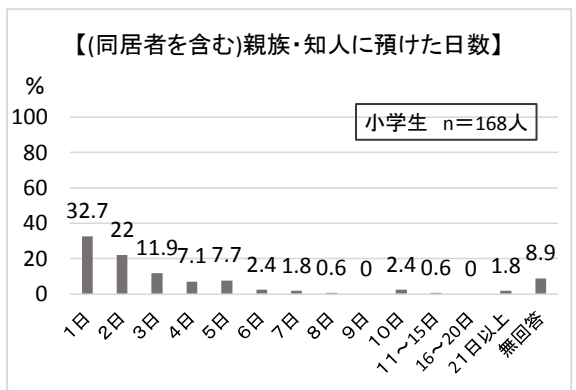
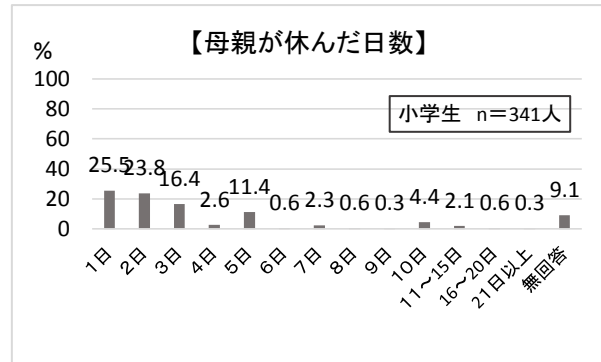
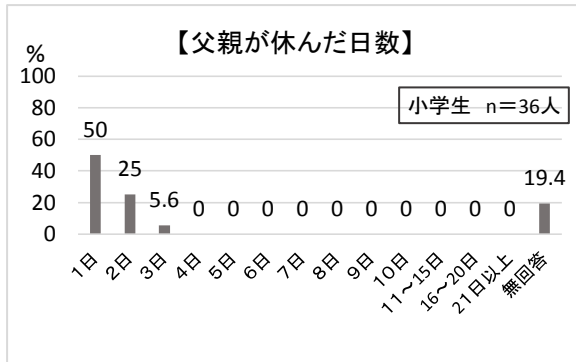
(問14-1) 小学生のお子さんが病気やけがにより、平日、学校へ行けなかった場合に、この1年間に行なった対処方法はどれになりますか。(すべてに○)



問 22-1 1 年間の対処方法の各日数(就学前児童)



(問 14-1) 1年間の対処方法の各日数(小学生)



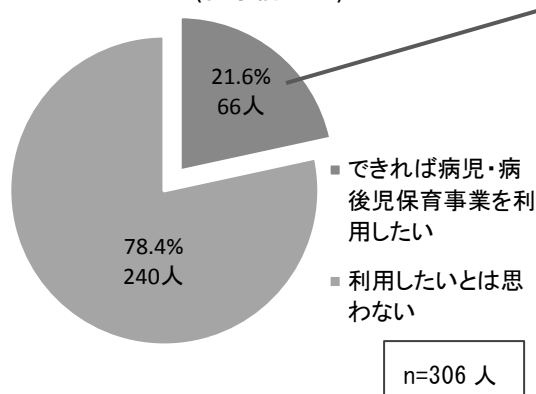
病児・病後児保育施設等を「利用したいとは思わない」人は、7割以上。

病児・病後児保育施設等をできれば利用したい人は、就学前児童 21.6%、小学生 14.5% となっています。割合としては少ないですが需要はあり、小児科併設の施設希望が多くなっています。利用したいと思わない理由は「親が仕事を休んで対応する」就学前児童 54.6%、小学生 62.4%となっています。

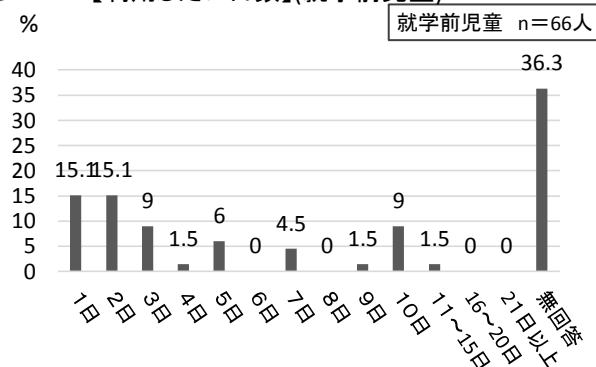
問 22-1(問 14-1)で「父親が休んだ」「母親が休んだ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問22-2(問14-2) その際「できれば病児・病後児保育事業を利用したい」と思われましたか。(1つに○)

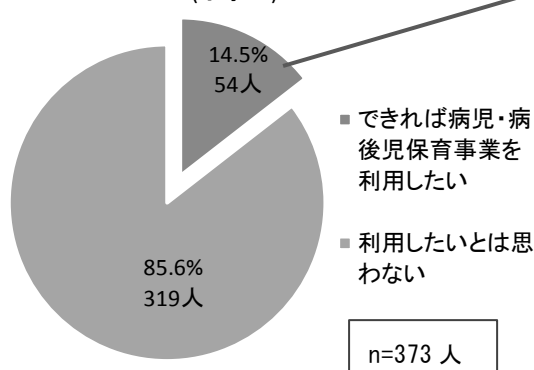
【病児・病後児保育事業の利用希望】
(就学前児童)



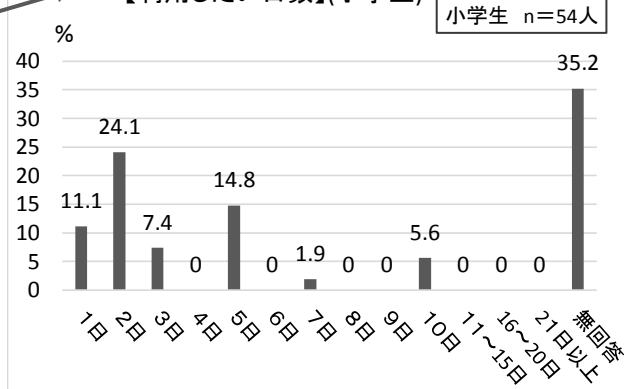
【利用したい日数】(就学前児童)



【病児・病後児保育事業の利用希望】
(小学生)



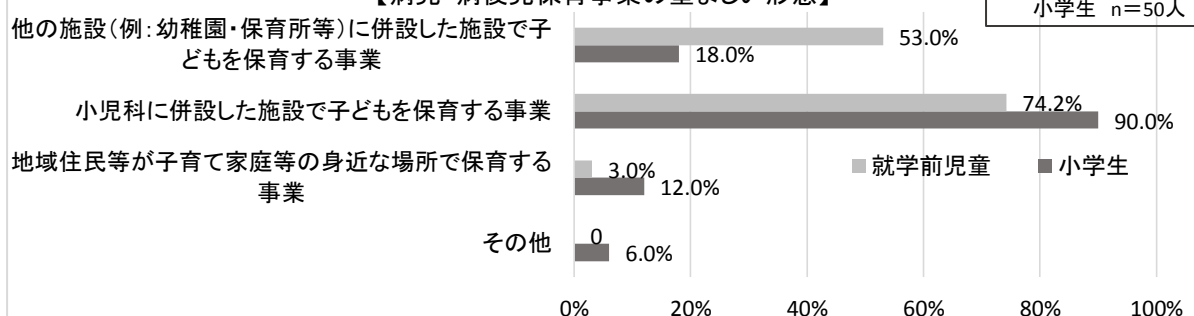
【利用したい日数】(小学生)



問 22-2(問 14-2)で「1. できれば病児・病後児保育事業を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

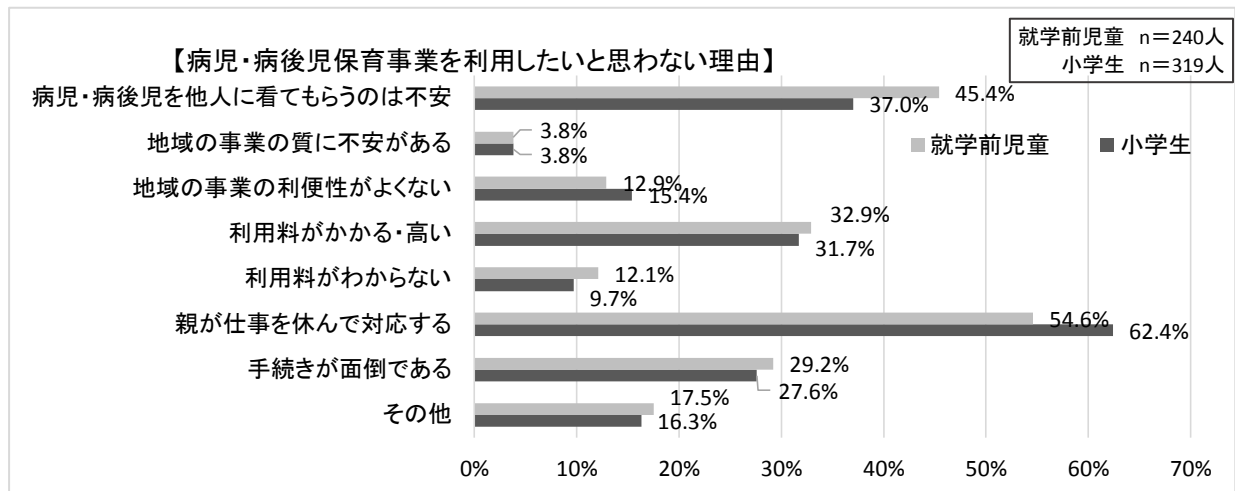
問22-3(問14-3) 子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。(すべてに○)

【病児・病後児保育事業の望ましい形態】



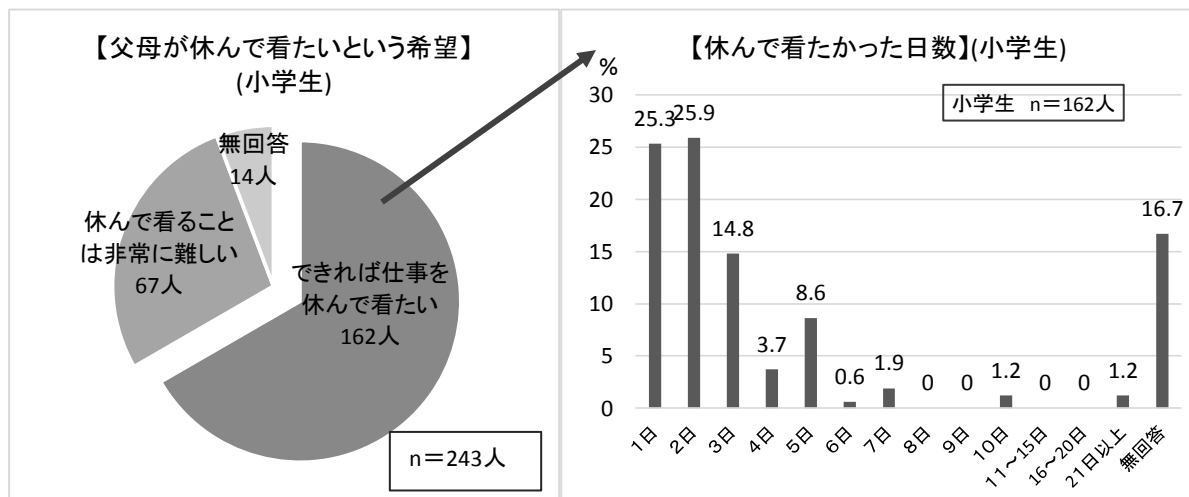
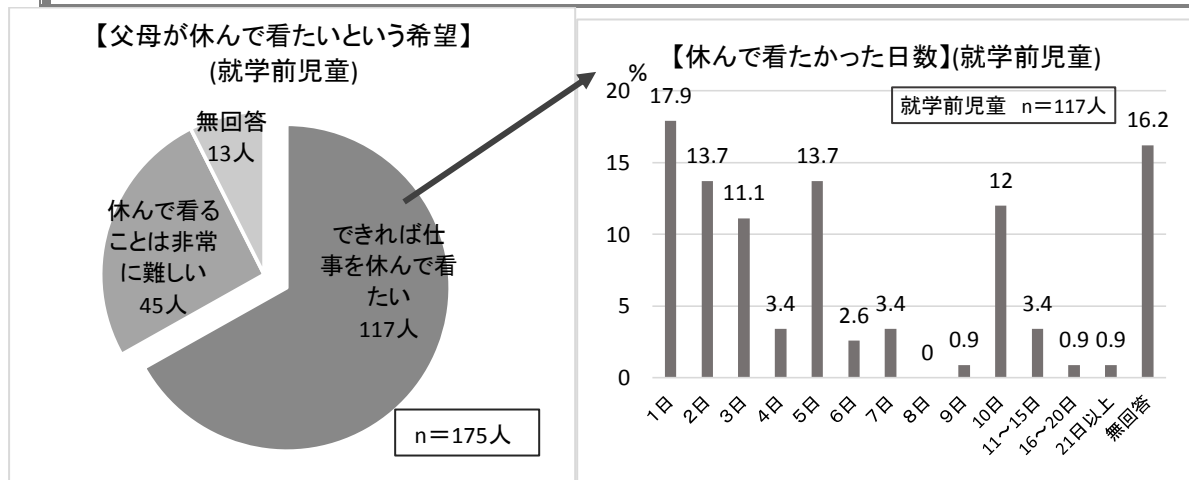
問 22-2(問 14-2)で「2. 利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。

問22-4(問14-4) そう思われる理由について教えてください。(すべてに○)



問 22-1 で「3. 親族や知人に子どもを看てもらった 4. 父親または母親のうち就労していない方が子どもを見た 5. 病児・病後児保育事業を利用した 6. ベビーシッターを利用した 7. 仕方なく子どもだけで留守番させた 8. その他」のいずれかに回答した方にうかがいます。

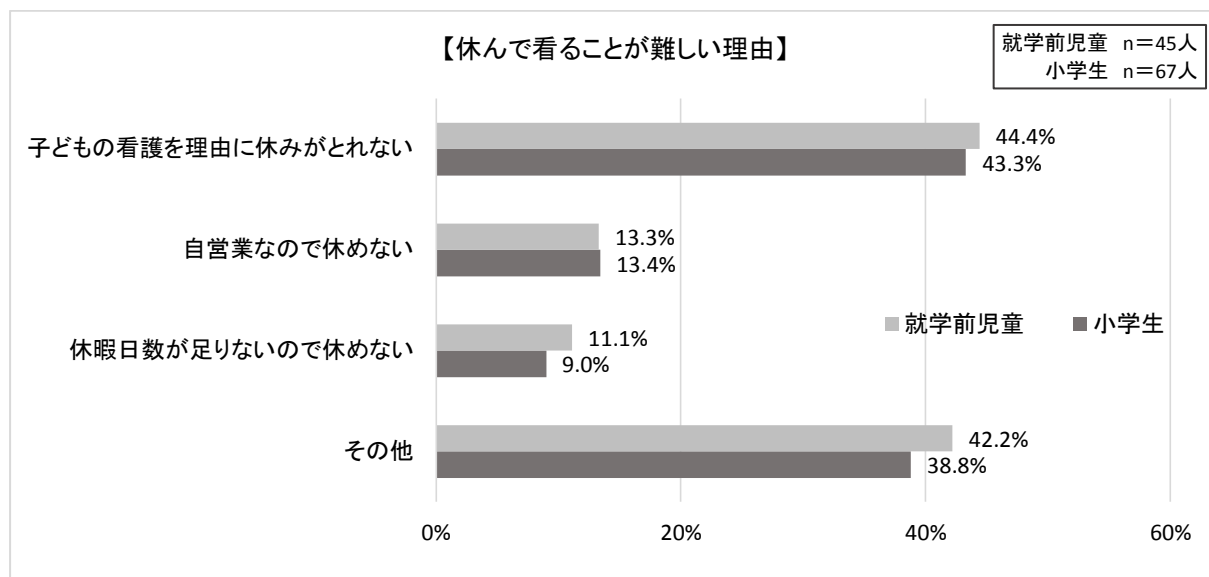
問22-5(問14-5) その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。(1つに○)



休んで見ることは難しい人も 25%程度おり、その理由は「子どもの看護を理由に休みがとれない」就学前児童 44.4%、小学生 43.3%を占めています。

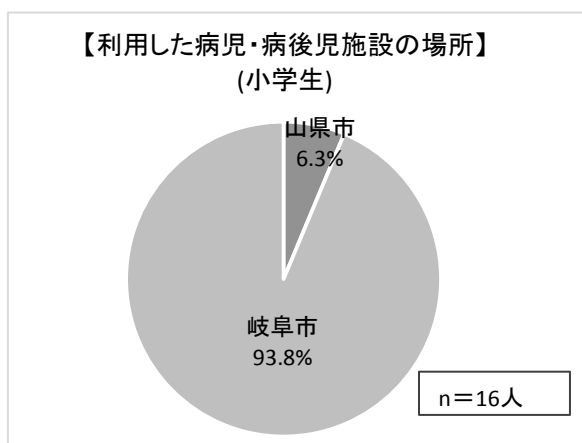
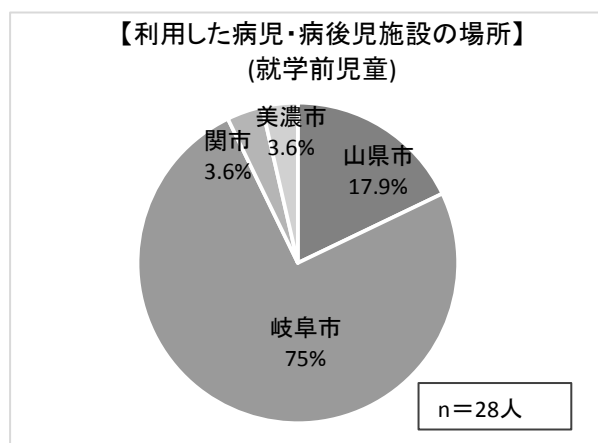
問 22-5(問 14-5)で「2. 休んで見ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。

問22-6(問14-6) そう思われる理由について教えてください。(すべてに○)



問 22-1 で「5. 病児・病後児保育事業を利用した」に○をつけた方にうかがいます。

問22-7 どこにある施設で病児・病後児保育事業を利用しましたか。(すべてに○)

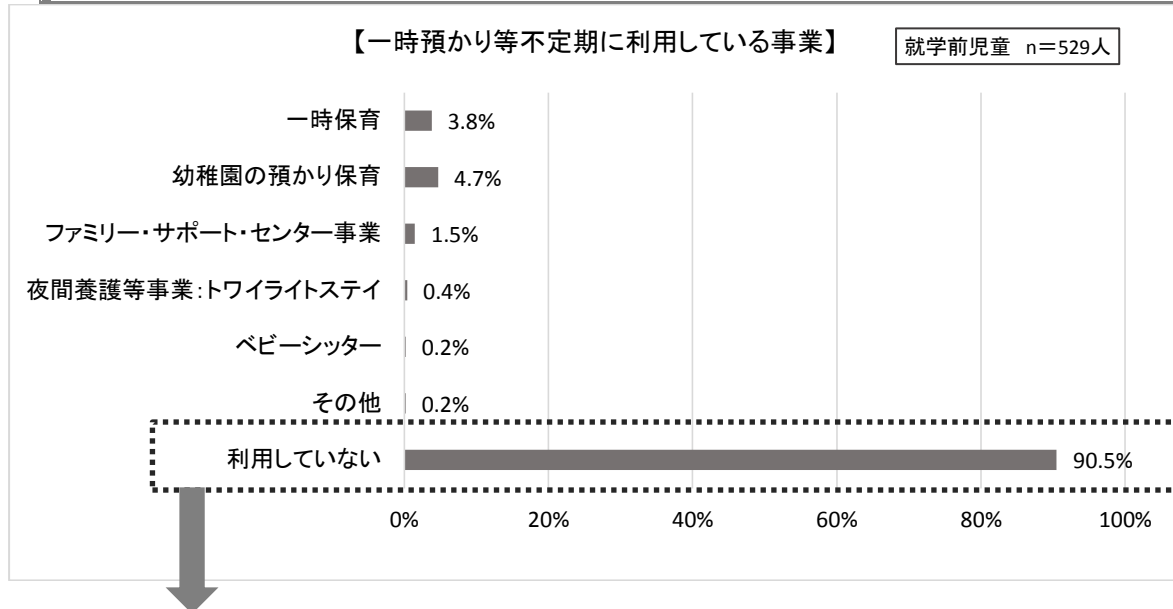


(5) 一時預かり事業の潜在ニーズ

平日の定期的な保育や病気のため以外で利用している方

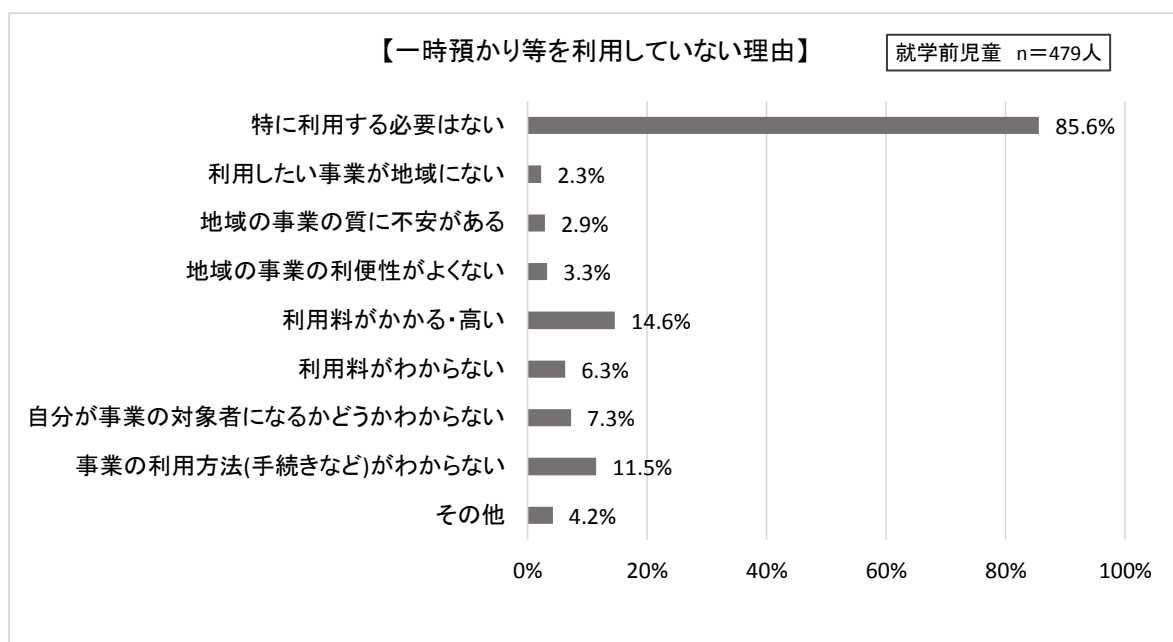
平日の定期的な保育や病気のため以外に不定期に利用している人は少なく、「利用していない」が90.5%となっています。利用していない理由は「特に利用する必要はない」85.6%となっています。

問23 就学前のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。(すべてに○)

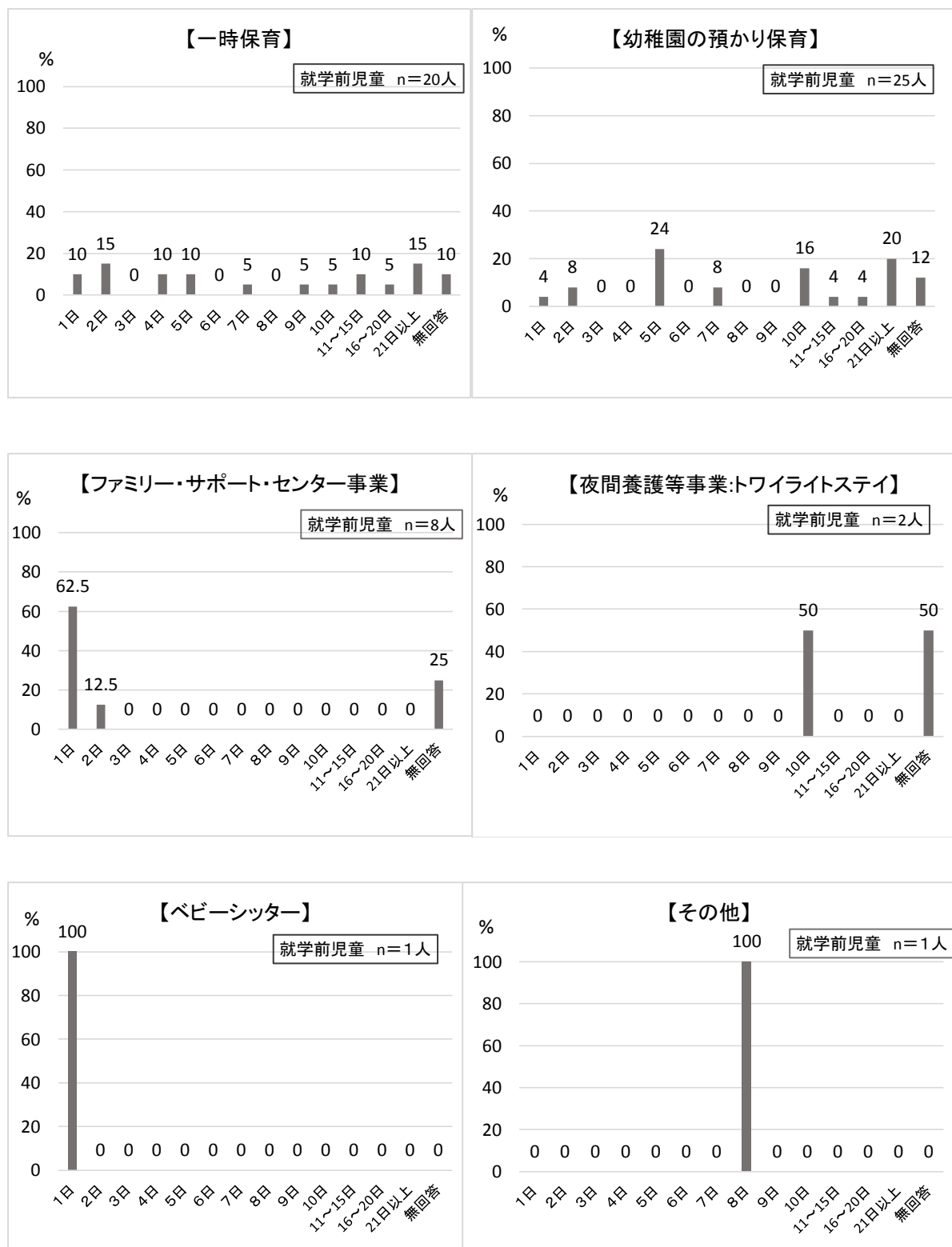


問23で「7. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

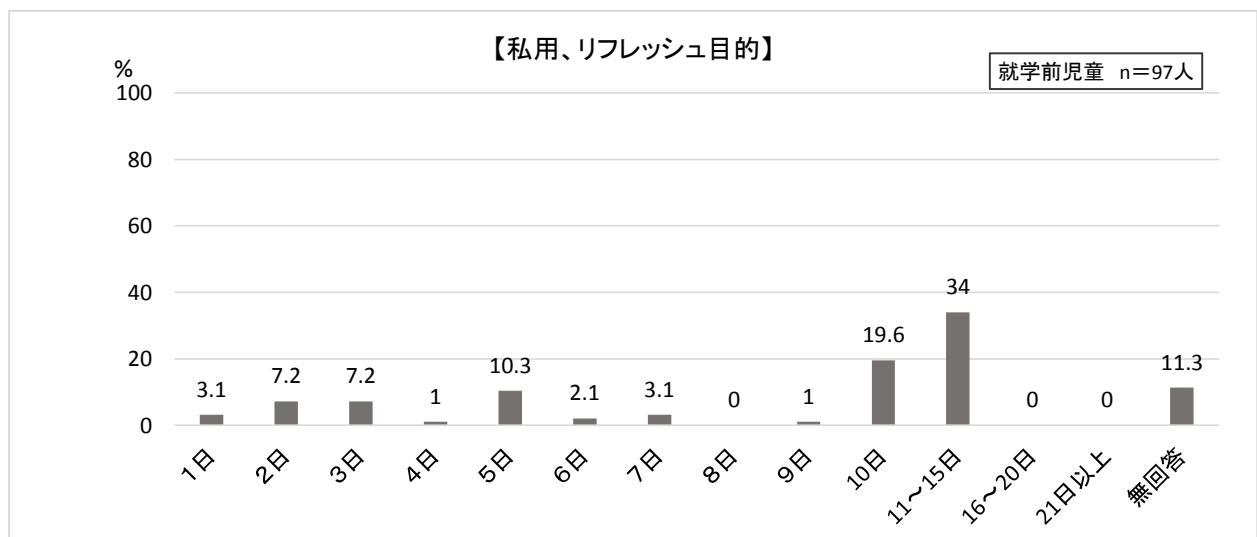
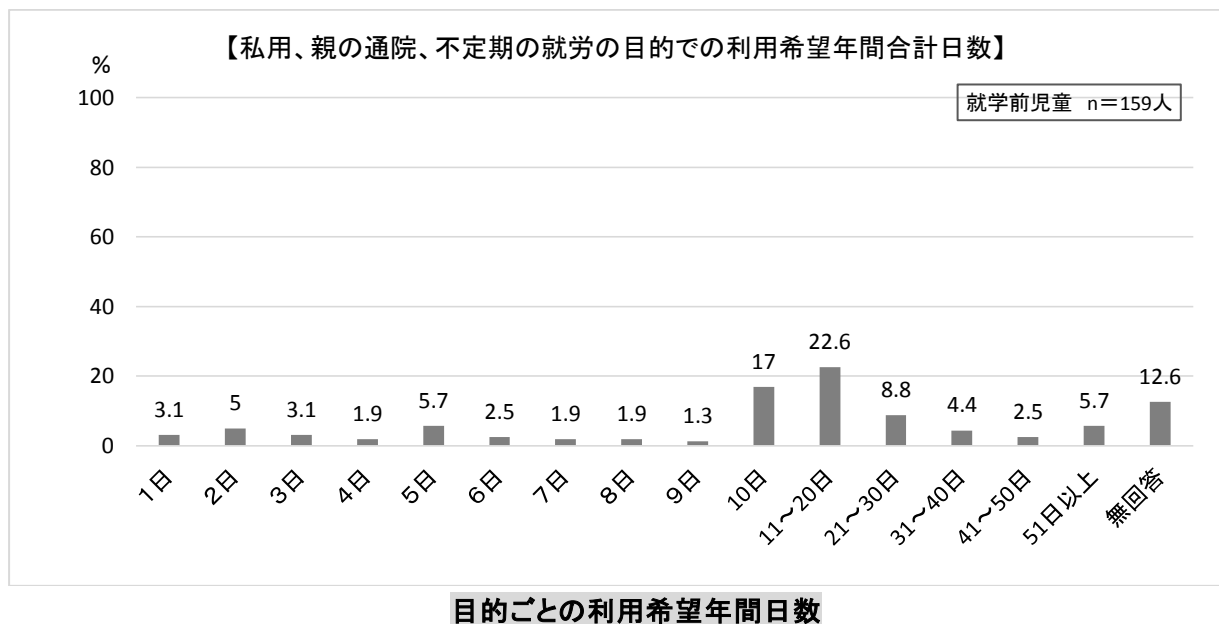
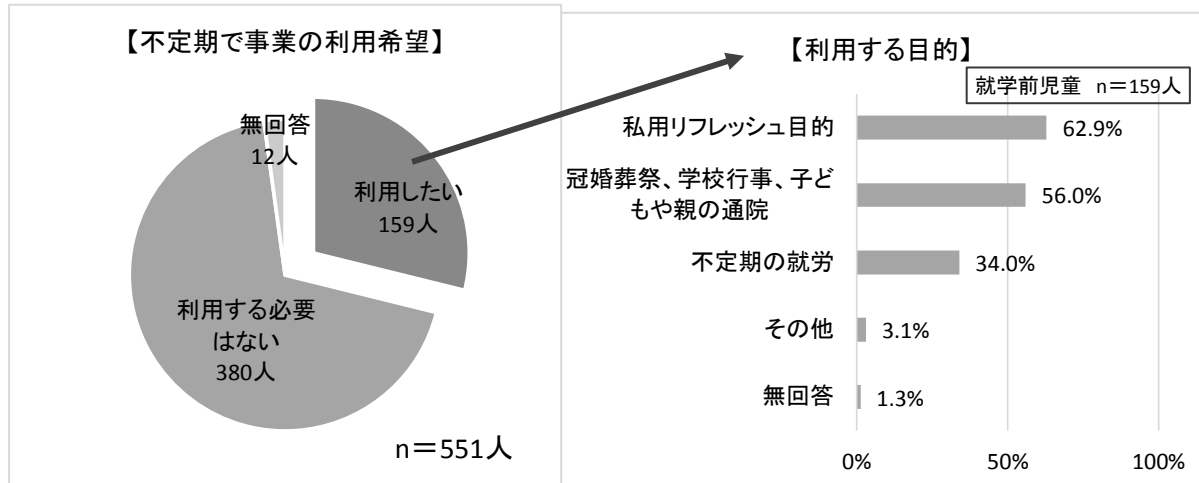
問23-1 利用していない理由は何ですか。(すべて○)

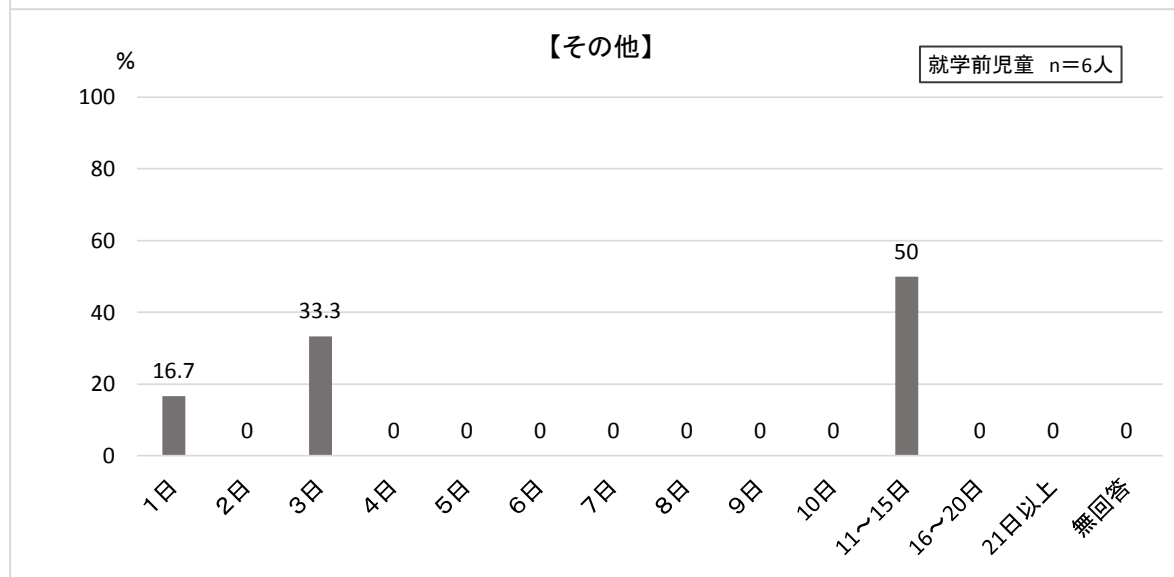
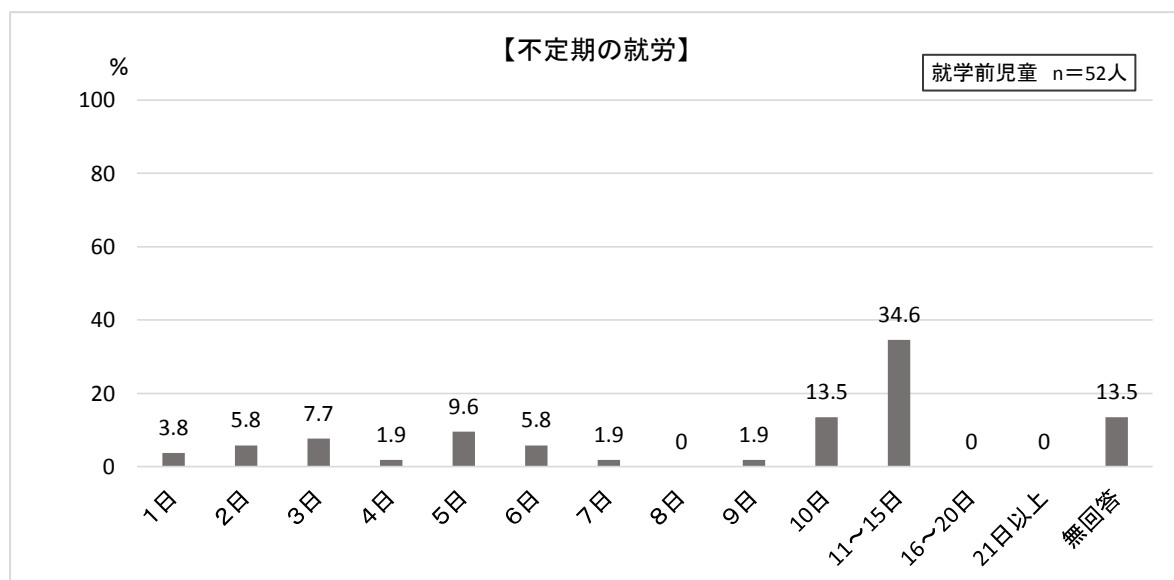
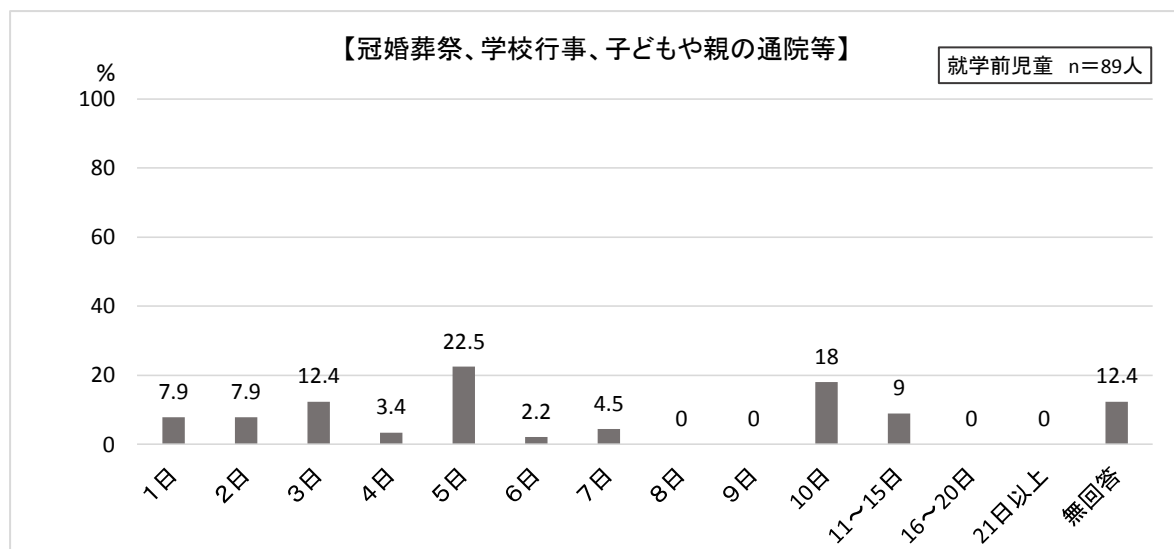


問23の利用している事業の日数(年間)



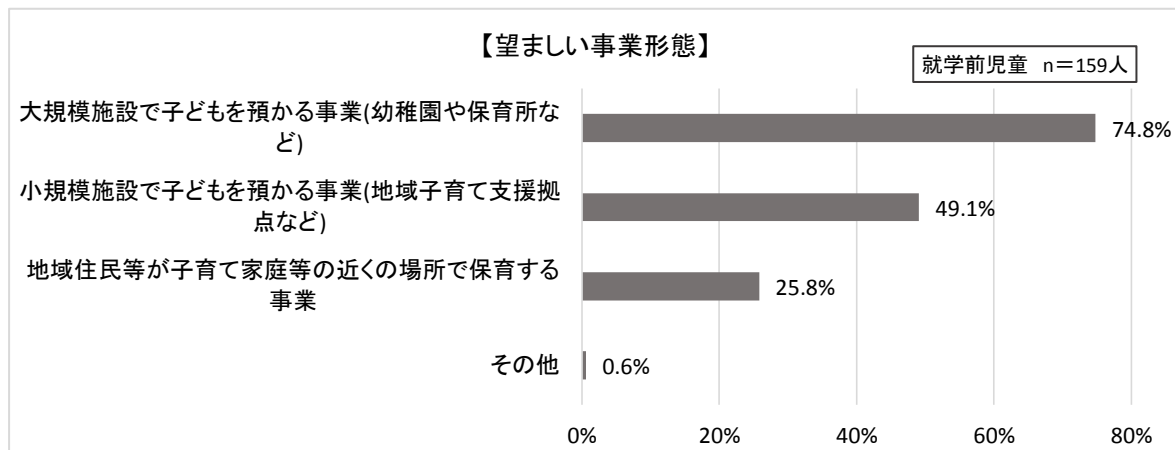
問24 就学前のお子さんについて、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望のものを選んでください。(すべてに○)
また、必要な日数をご記入ください。



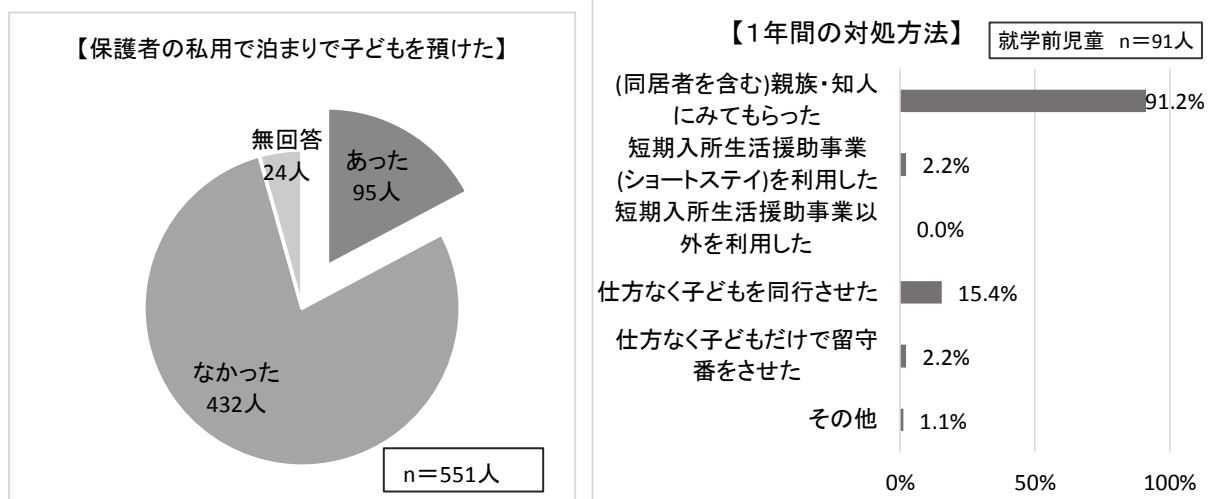


問24で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問24-1 お子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。(すべてに○)

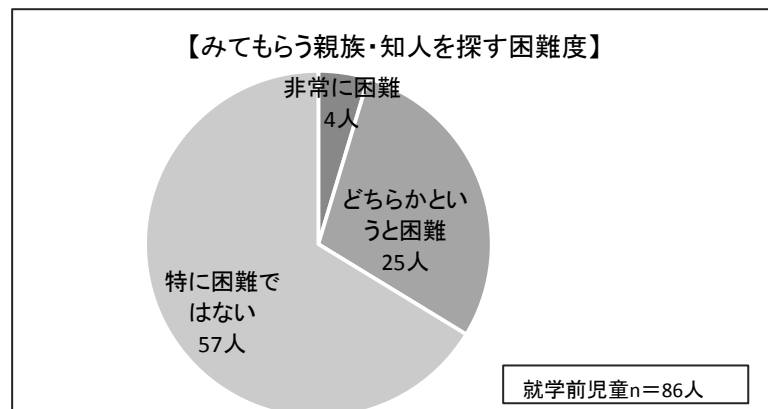


問25 この1年間に保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、就学前のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含みます)。(すべてに○)

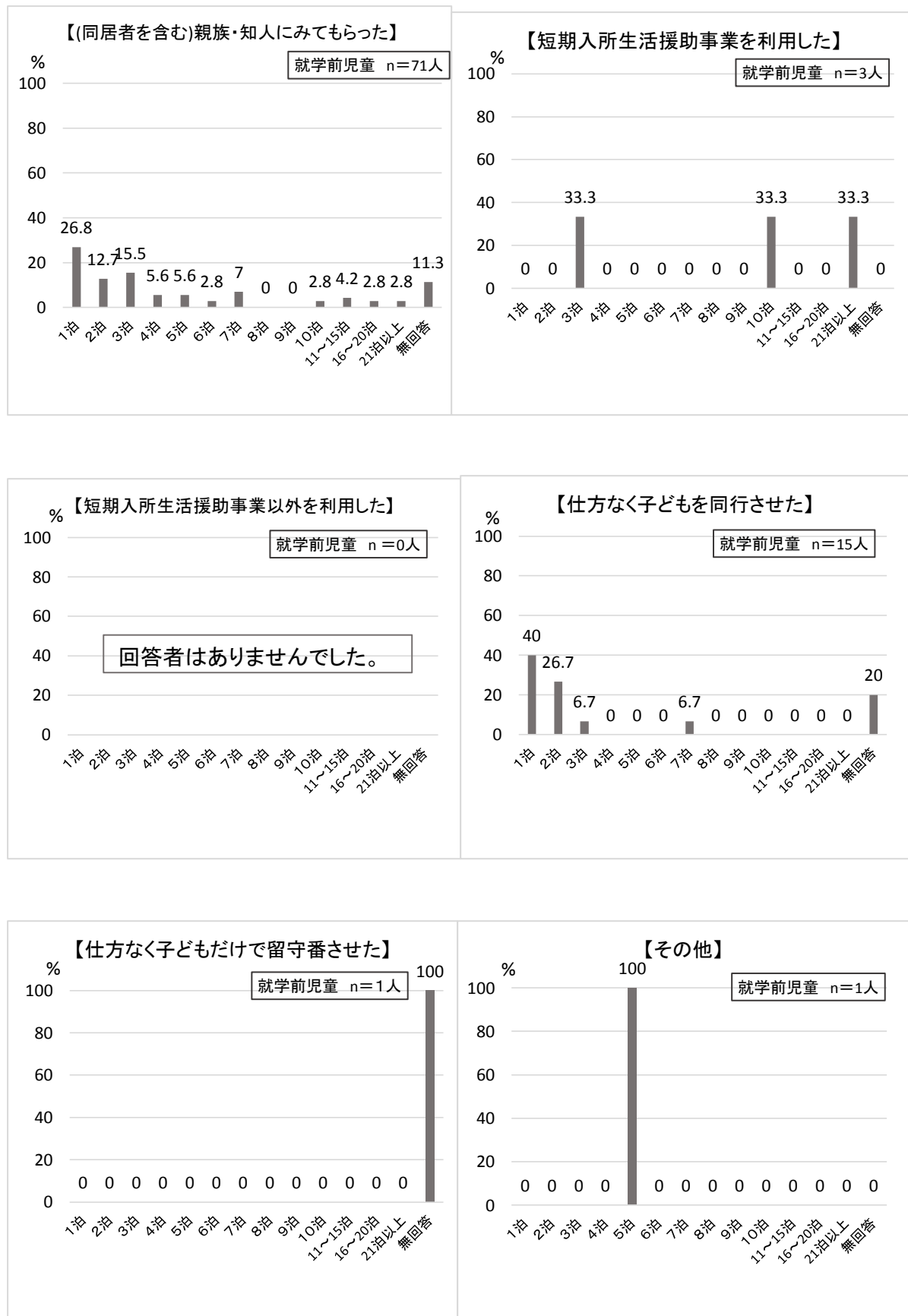


問25で「1. あった 1. (同居者を含む)親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。

問25-1 その場合の就学前のお子さんを見てもらう親族・知人をさがす困難度はどの程度でしたか。(1つに○)



問25の宿泊数



(6) 放課後の過ごし方について

就学前児童の希望は、「自宅」が3割程度で最も多く、低学年において「放課後児童クラブ」の希望が2割ある。小学生の4割は、放課後を「自宅」で過ごしている。現状と希望はほぼ一致している。「放課後児童クラブ」は長期休暇において、低学年の希望が高い。

小学1～3年生と小学4～6年生の放課後の過ごし方はどちらも「自宅」が最も多く、次いで「習い事」となっています。

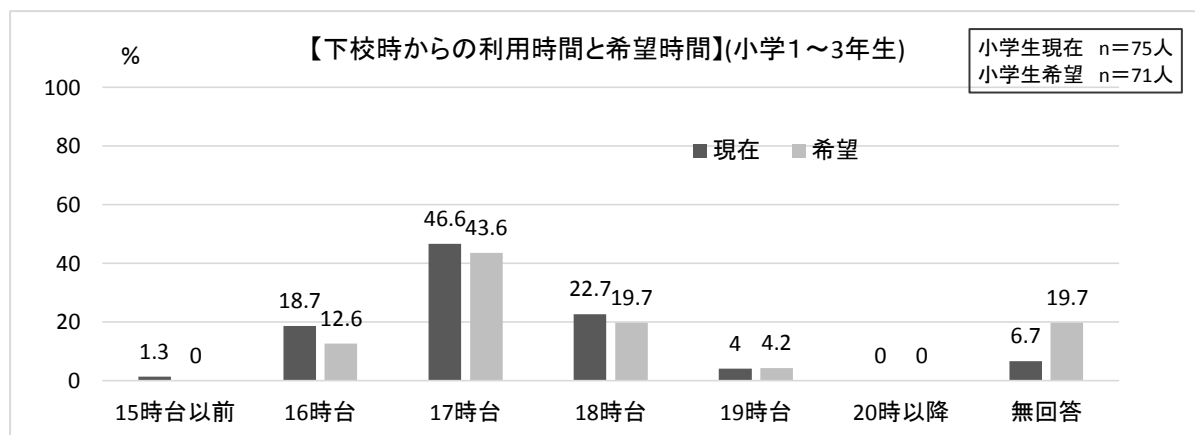
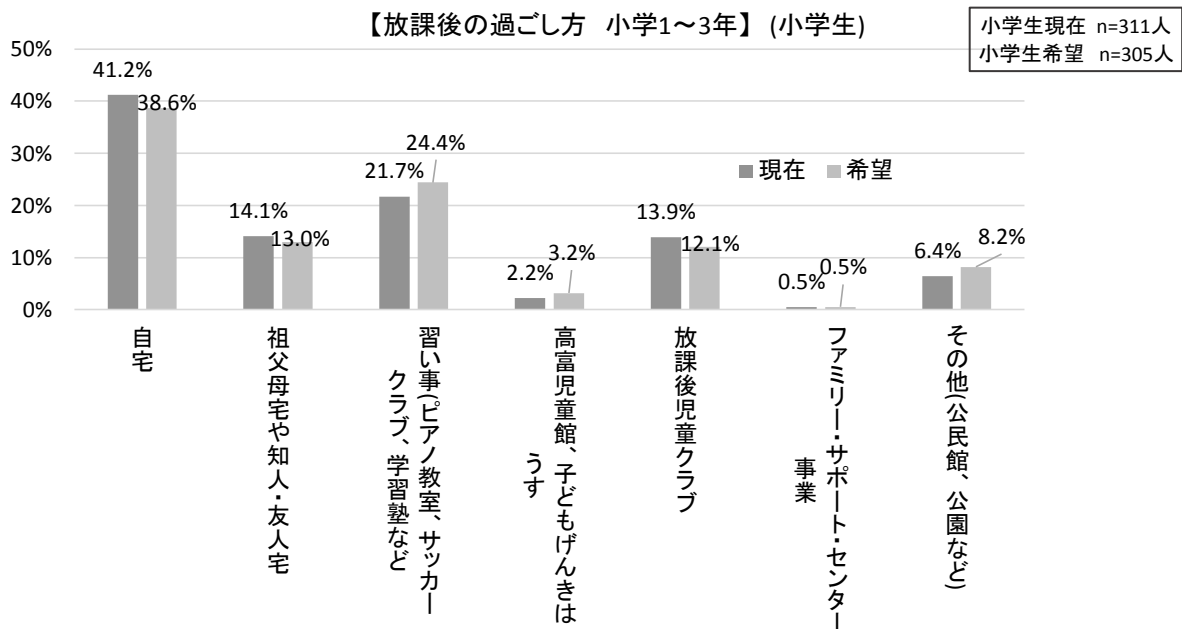
「放課後児童クラブ」の利用は、小学4～6年生になると、ほとんど利用がなくなります。現状も希望も自宅で過ごすのが最も多くなっています。

①利用状況と希望(小学生)

小学生のお子さんが小学校1～3年生の方にうかがいます。

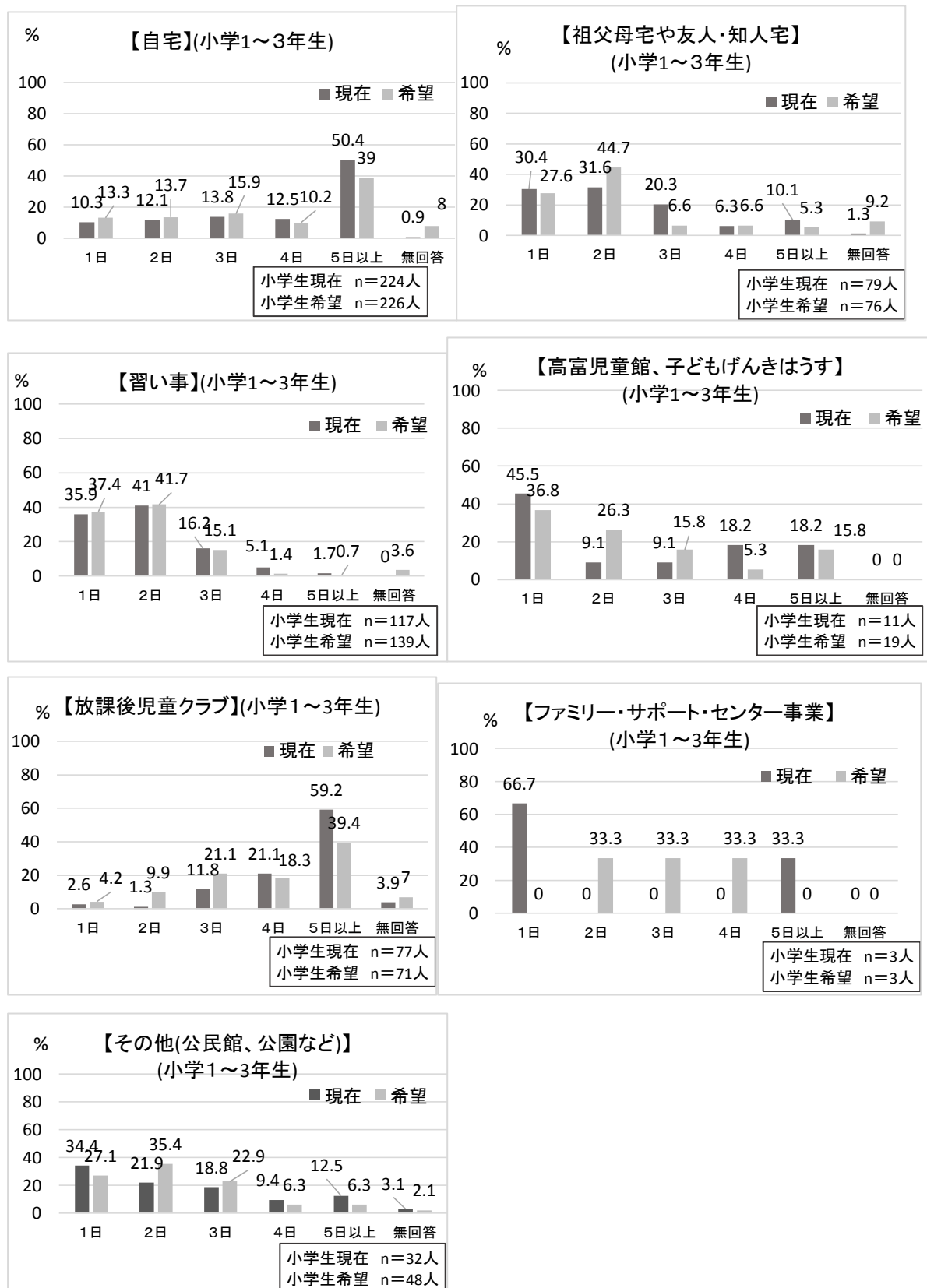
(問10) 放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごしていますか。(すべてに○)

(問10-1) 小学校1～3年生の間は、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(すべてに○)



【問10】それぞれ該当する週当たりの日数を教えてください。

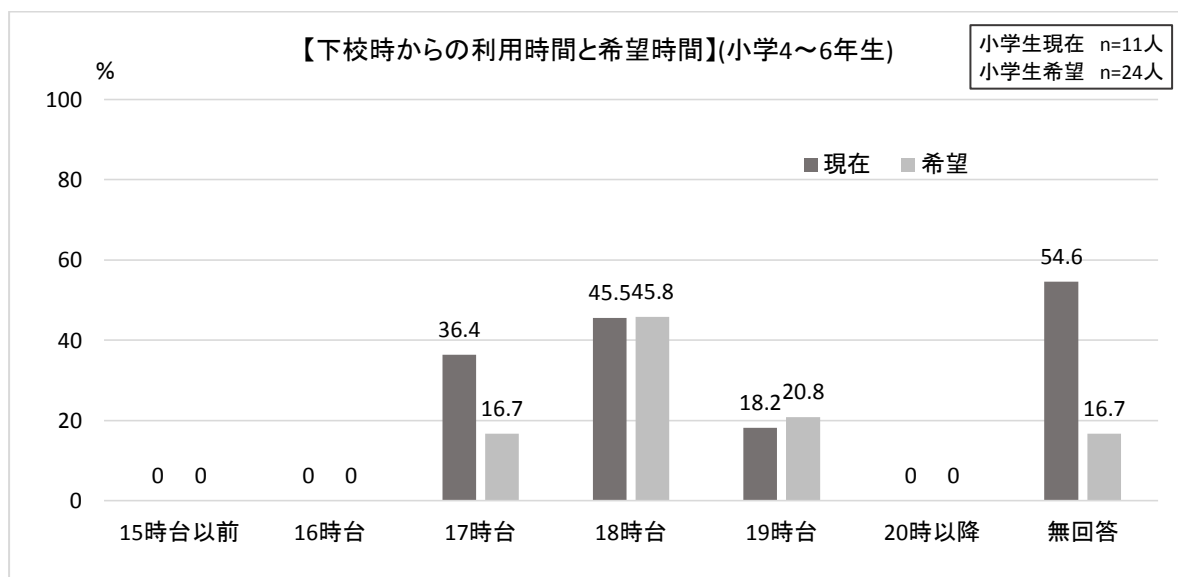
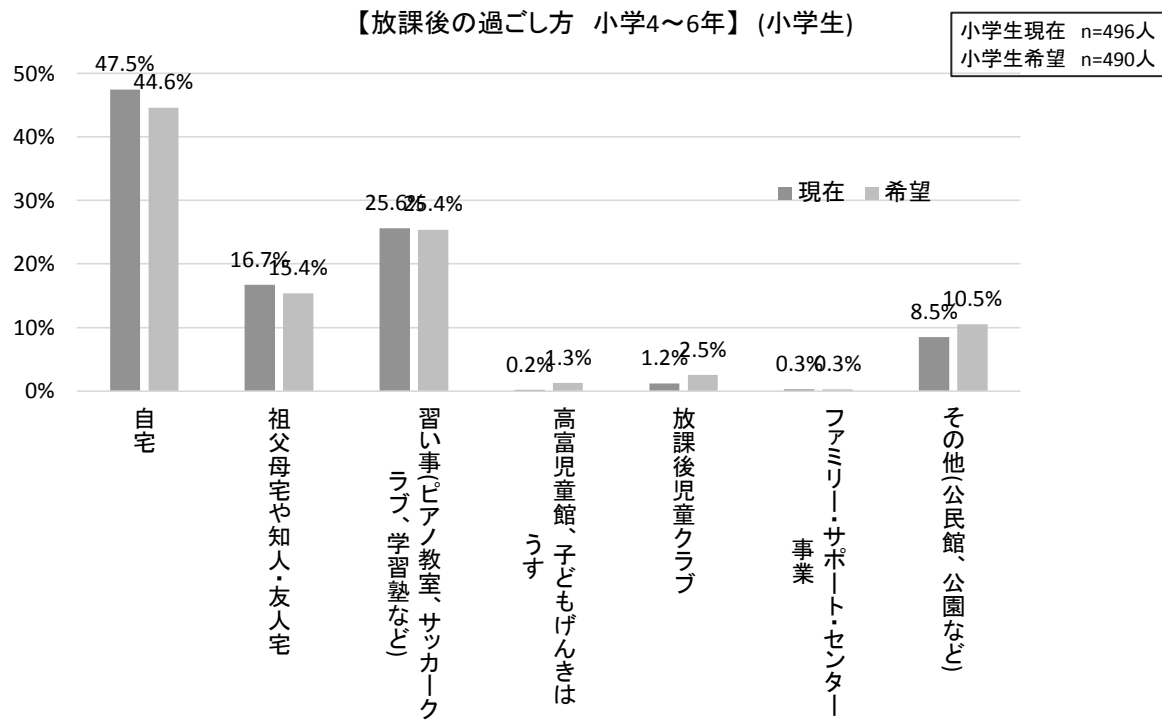
【問10-1】それぞれ希望する週当たりの日数を教えてください。



小学生のお子さんが小学校4～6年生の方にうかがいます。

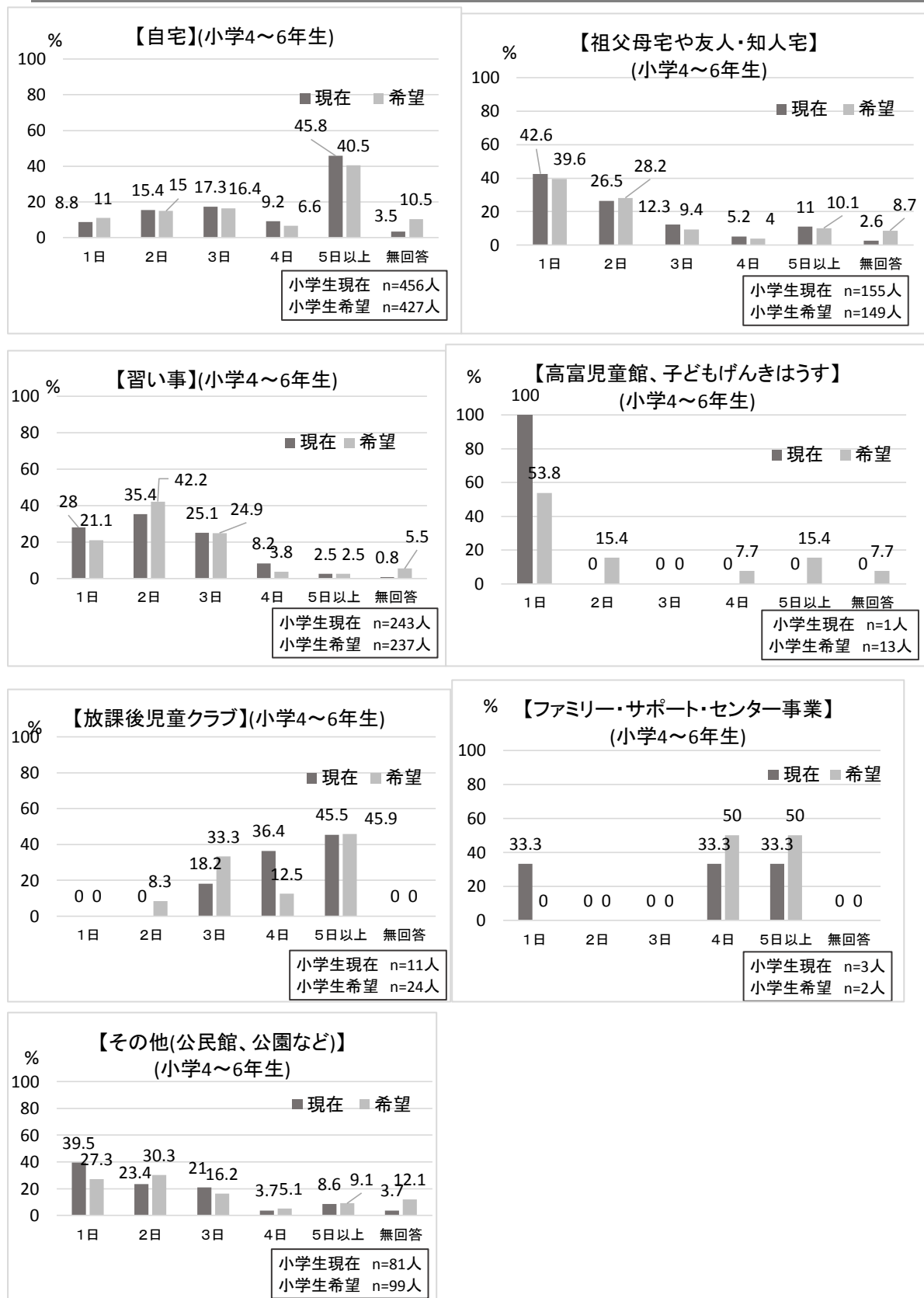
(問11) 放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごしていますか。(すべてに○)

(問11-1) 小学校4～6年生の間は、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(すべてに○)



(問11) それぞれ該当する週当たりの日数を教えてください。

(問11-1) それぞれ希望する週当たりの日数を教えてください。

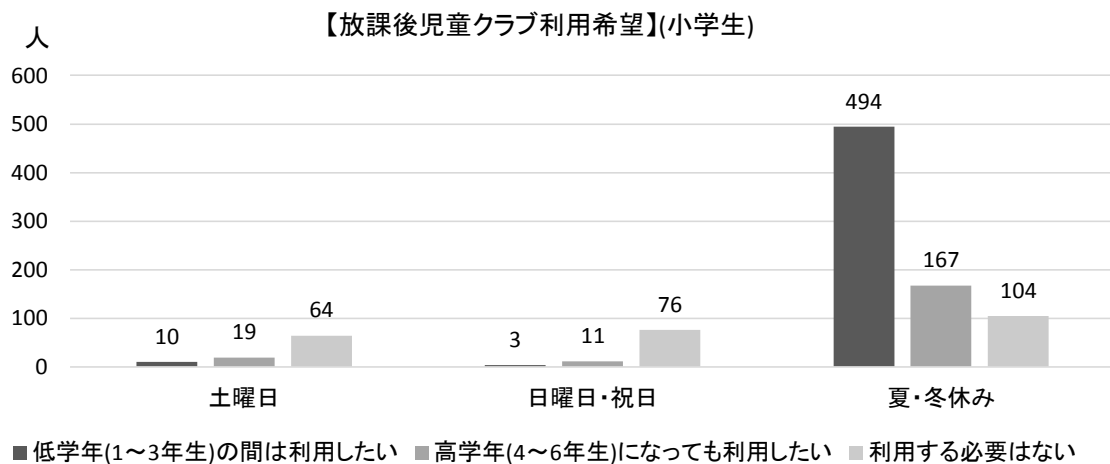


小学校低学年で長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望が多く、利用したい時間帯は、開始時間 8 時台が 51.7%、終了時間は 18 時台が 62.1%と最も多くなっています。

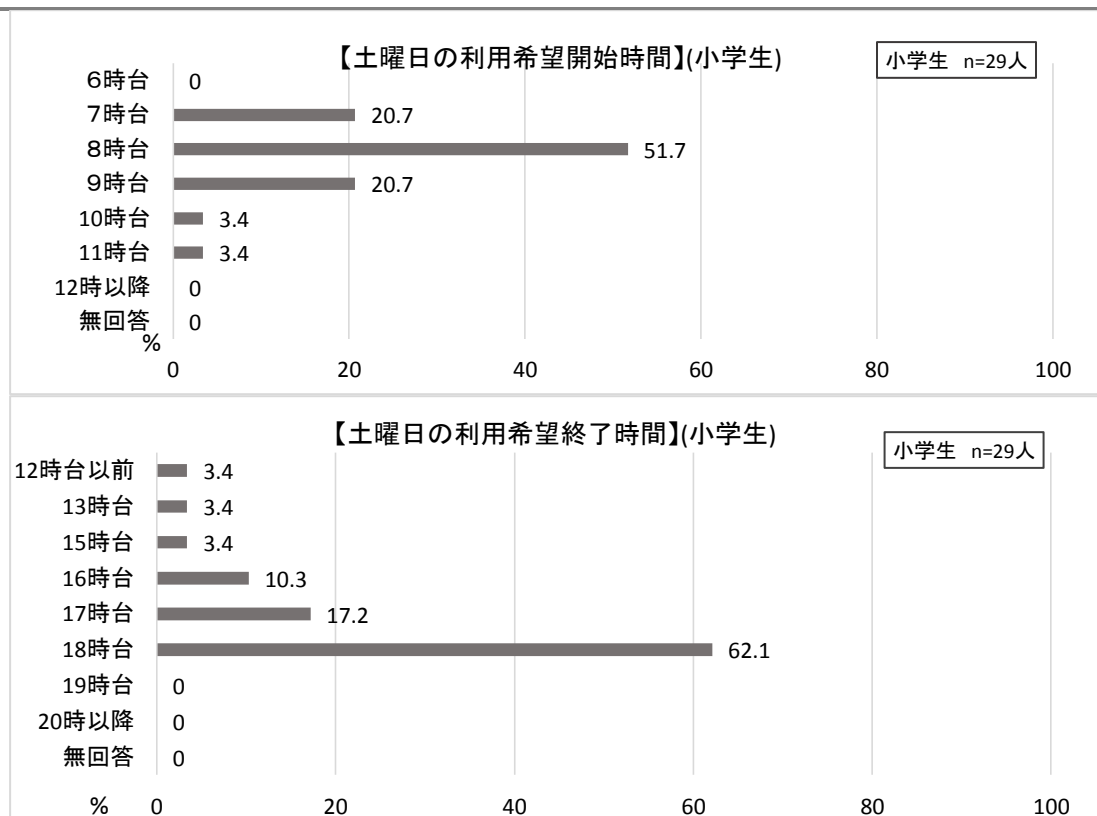
問 10-1 または問 11-1 で「5. 放課後児童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。

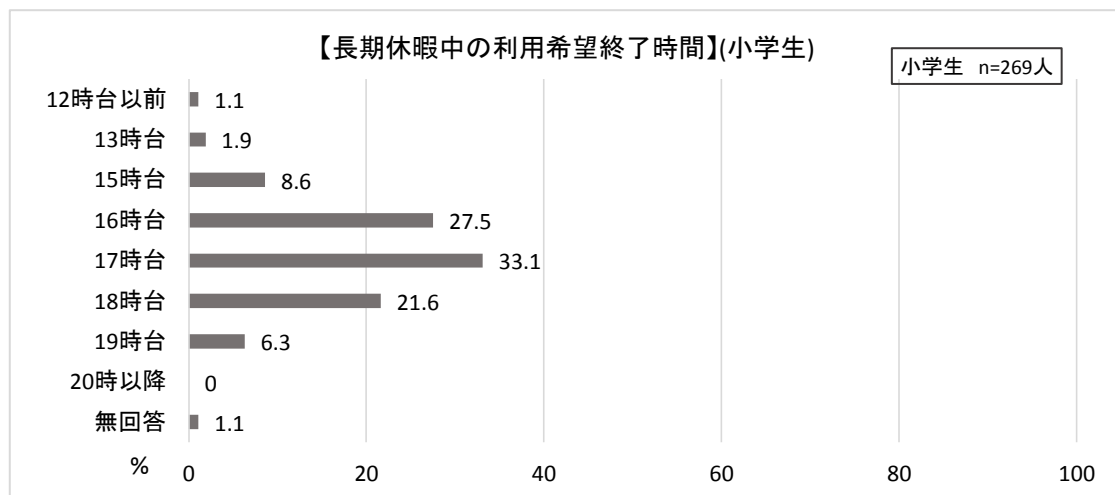
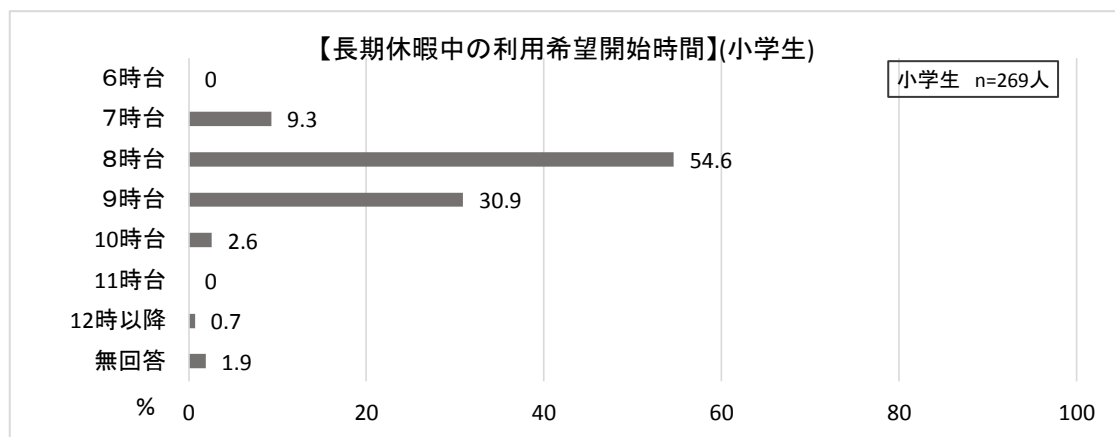
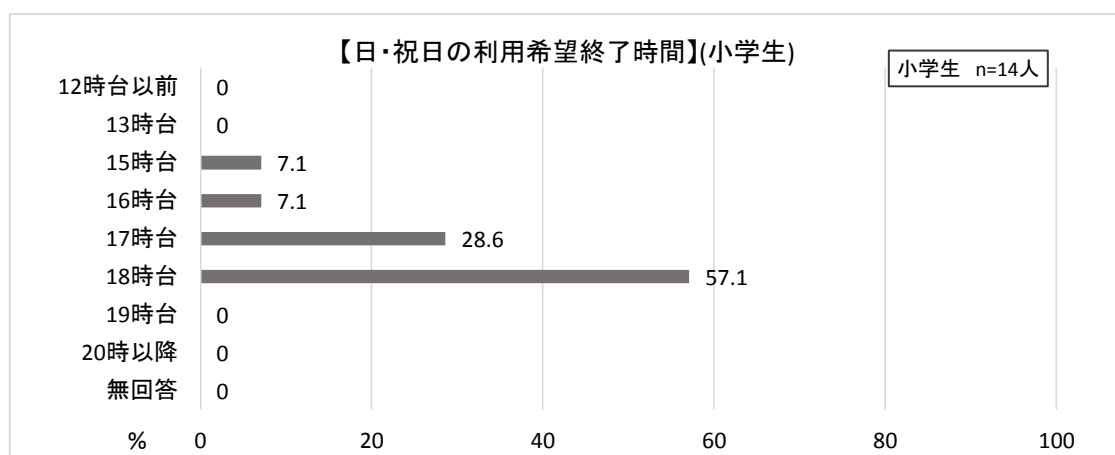
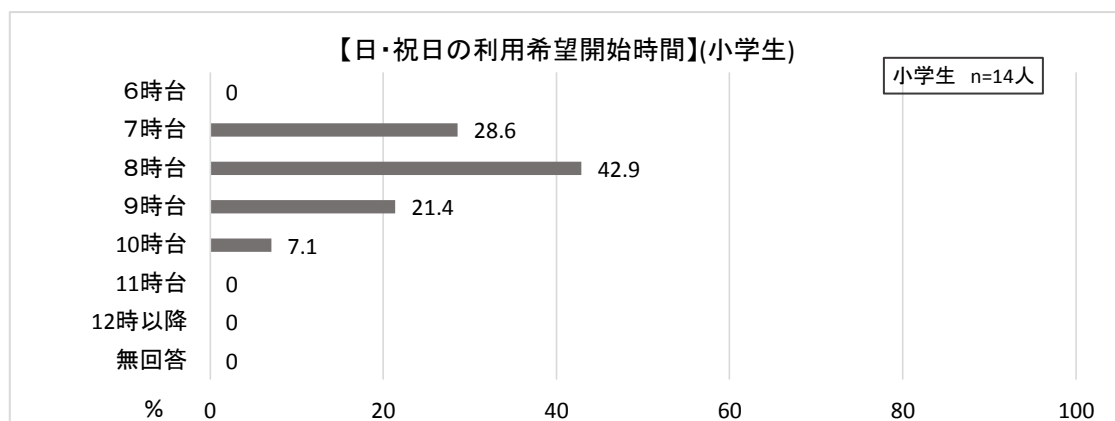
(問12) 小学生のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。(1つに○)

(問13) 小学生のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。(1つに○)



(問12 問13) 利用したい時間帯を、ご記入ください。





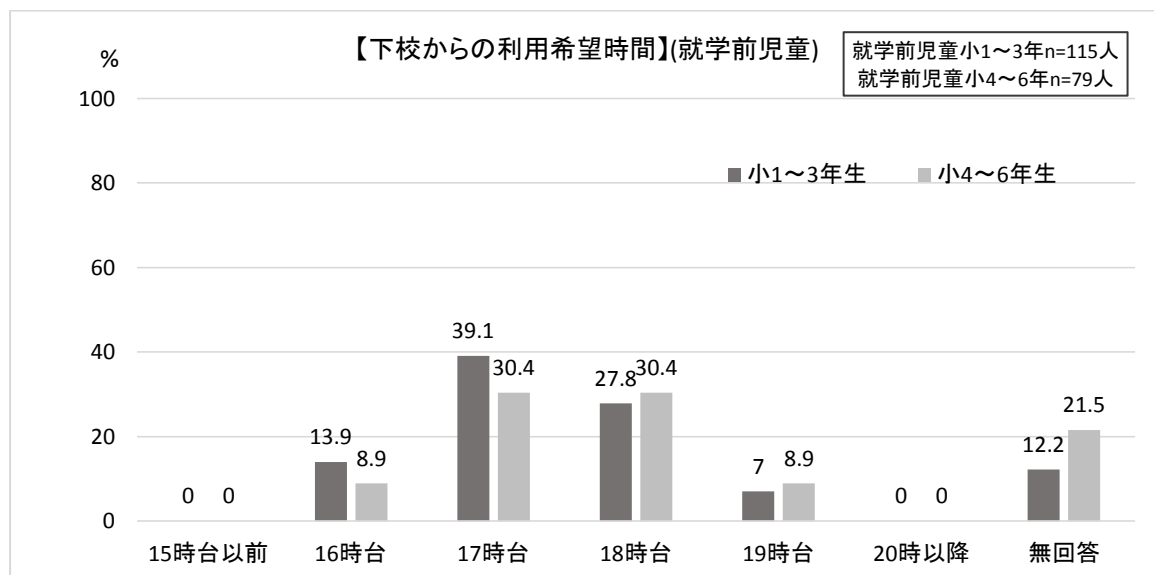
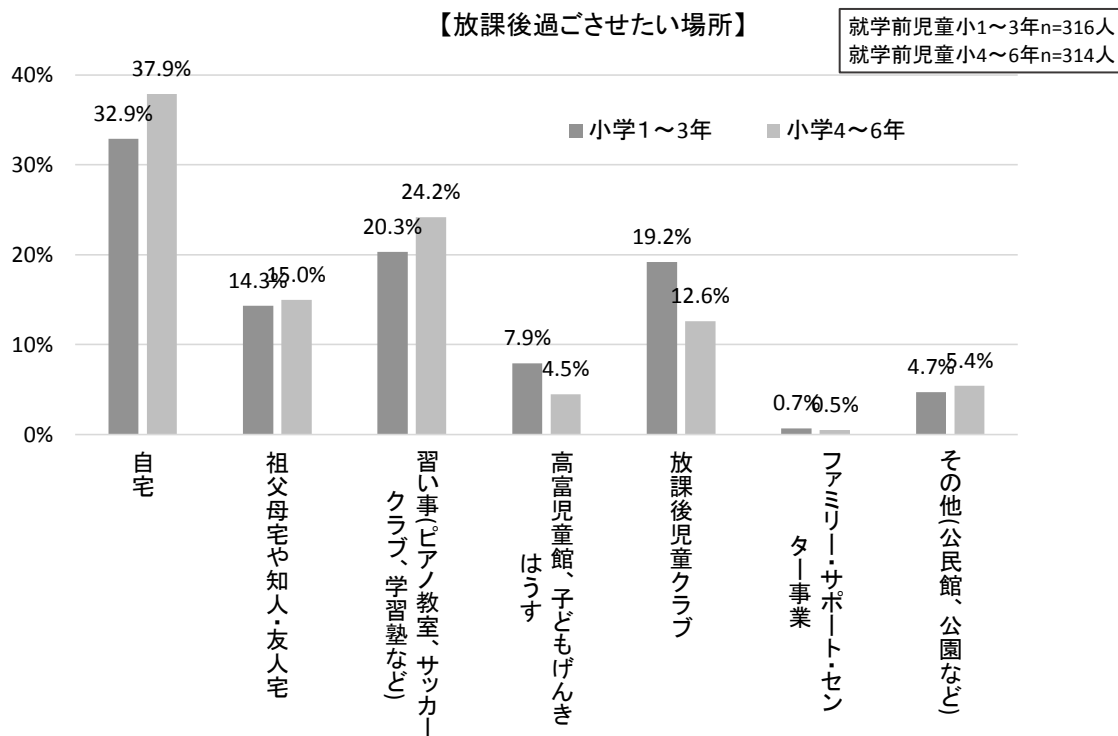
放課後を過ごさせたい場所は「自宅」が最も多い。

放課後を過ごさせたい場所は「自宅」が3割以上「習い事」が2割程度になっています。低学年では「放課後児童クラブ」が2割程度になっています。

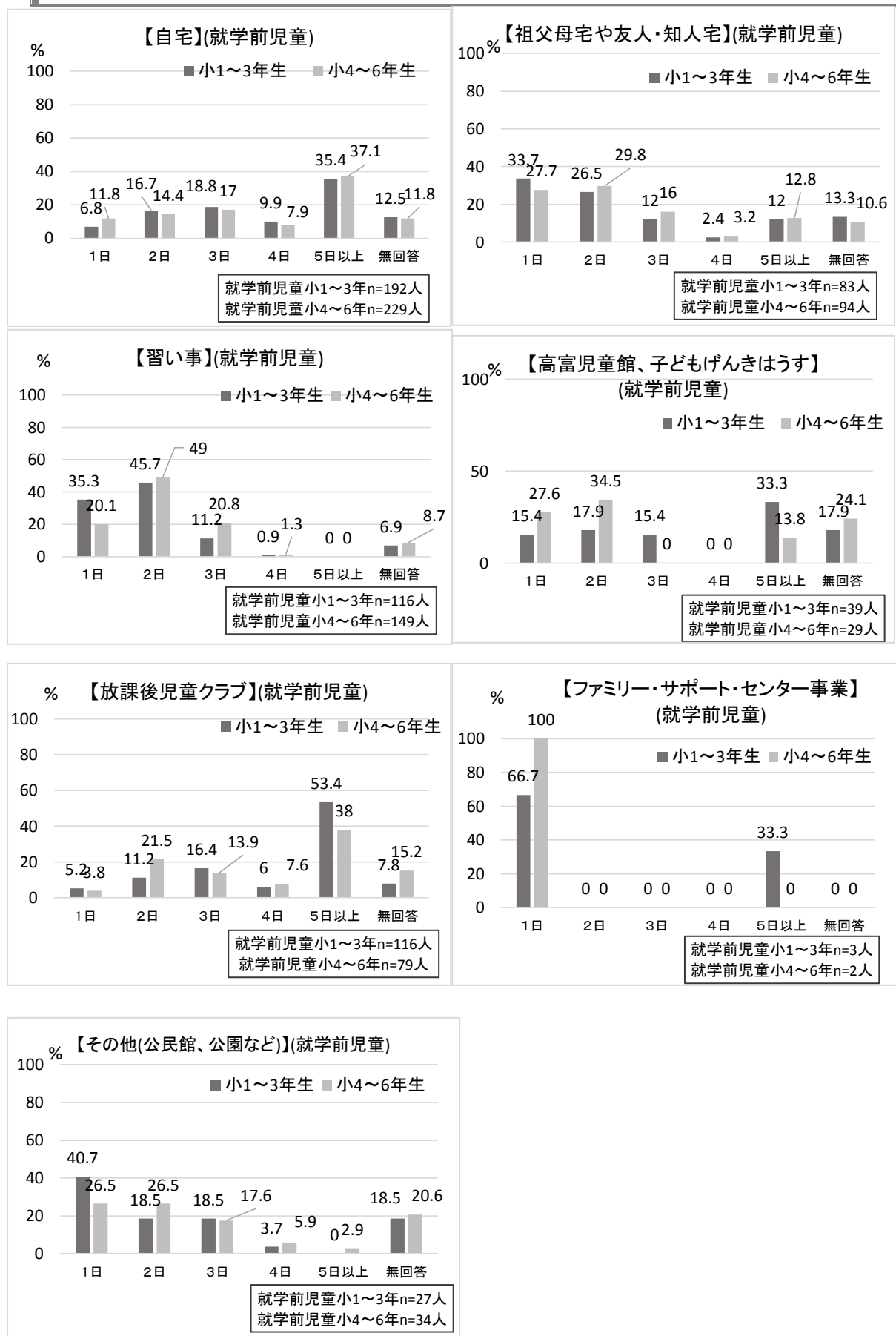
②利用希望(就学前児童)

問26 就学前のお子さんについて、小学校1～3年生のうちは、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(すべてに○)

問27 就学前のお子さんについて、小学校4～6年生になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(すべてに○)



問26 問27 それぞれ希望する週当たりの日数を教えてください。

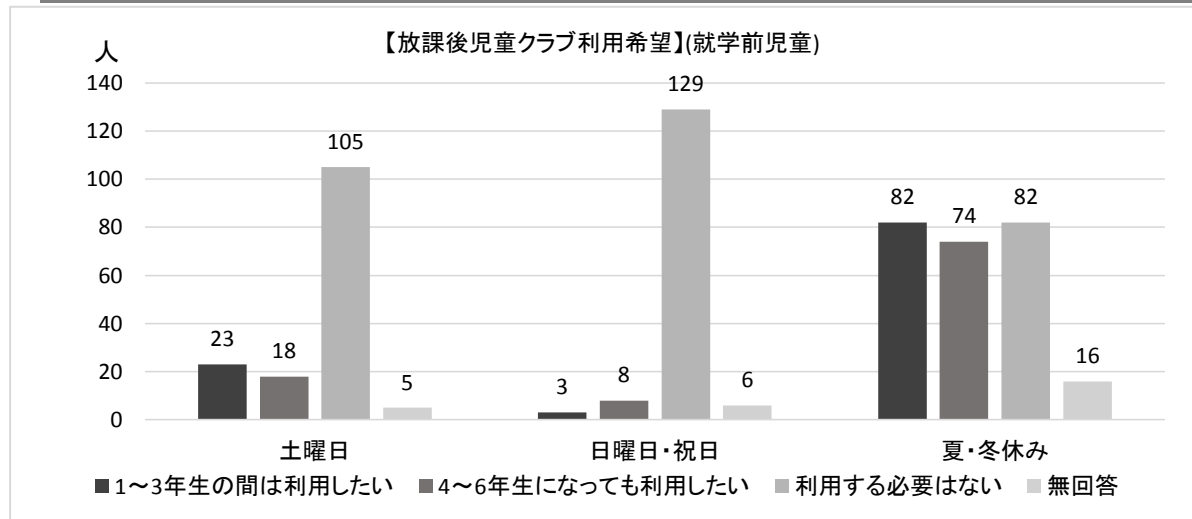


土曜・日曜・祝日の利用希望は低い、長期休暇中の利用希望は高い。

土曜日の利用希望は、低くなっています。長期休暇中の利用希望は、低学年が 82 人、高学年が 74 人となっています。利用開始時間は 8 時台が 48.6%、終了時間は 18 時台が 40.5%と最も多くなっています。

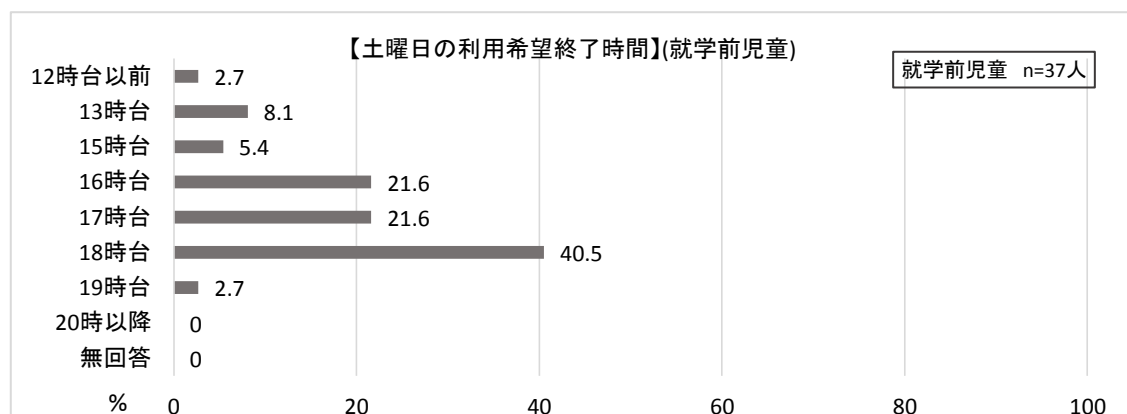
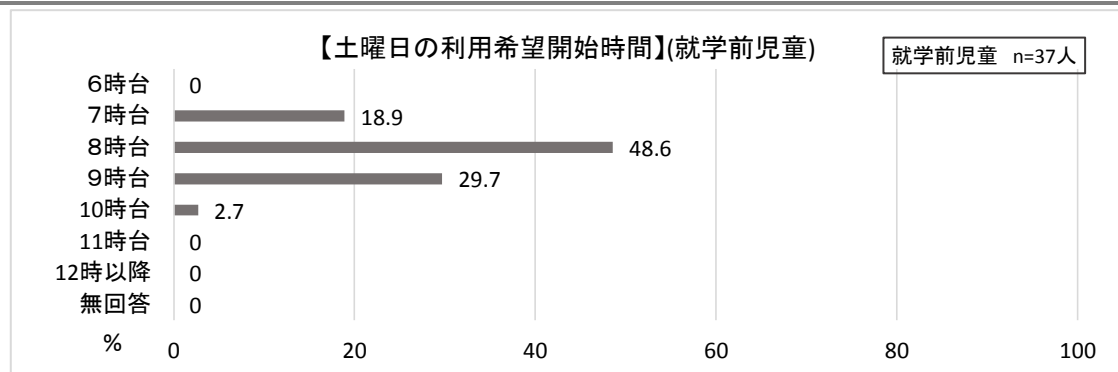
問 26 または問 27 で「5. 放課後児童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。

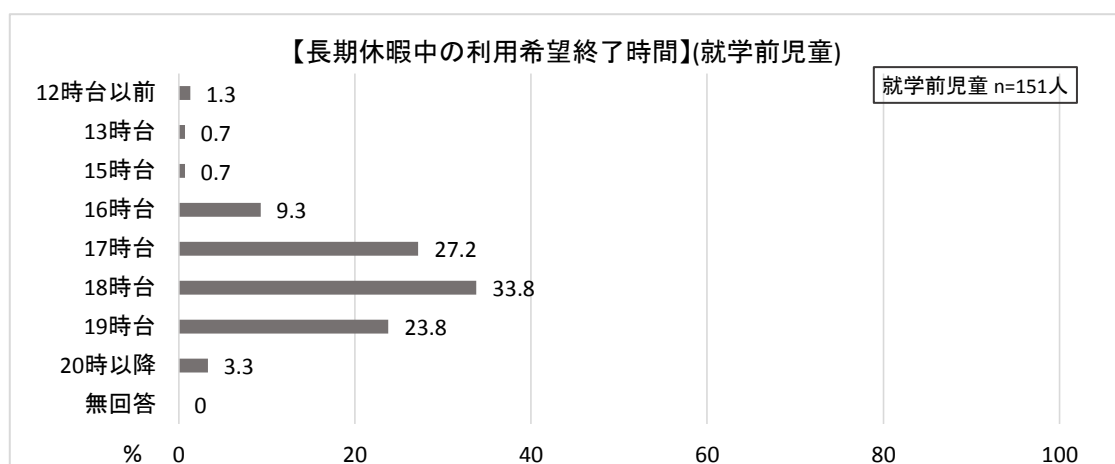
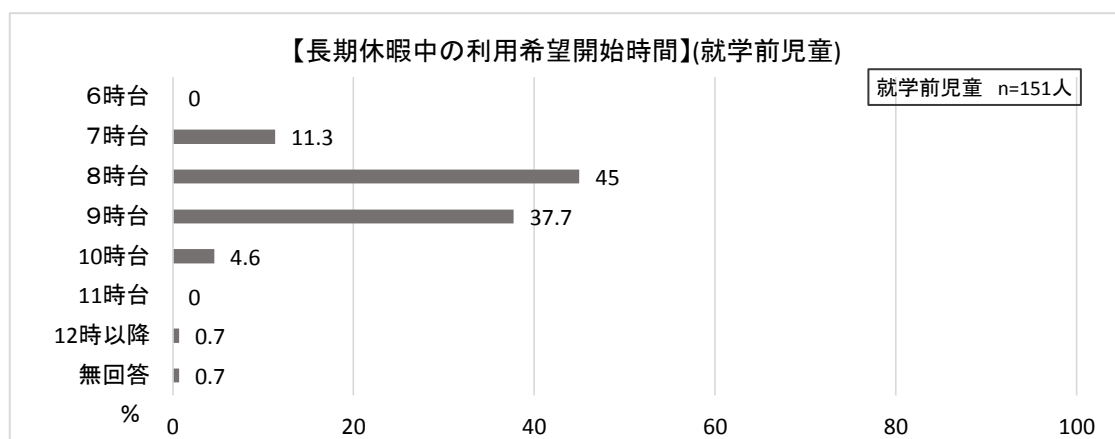
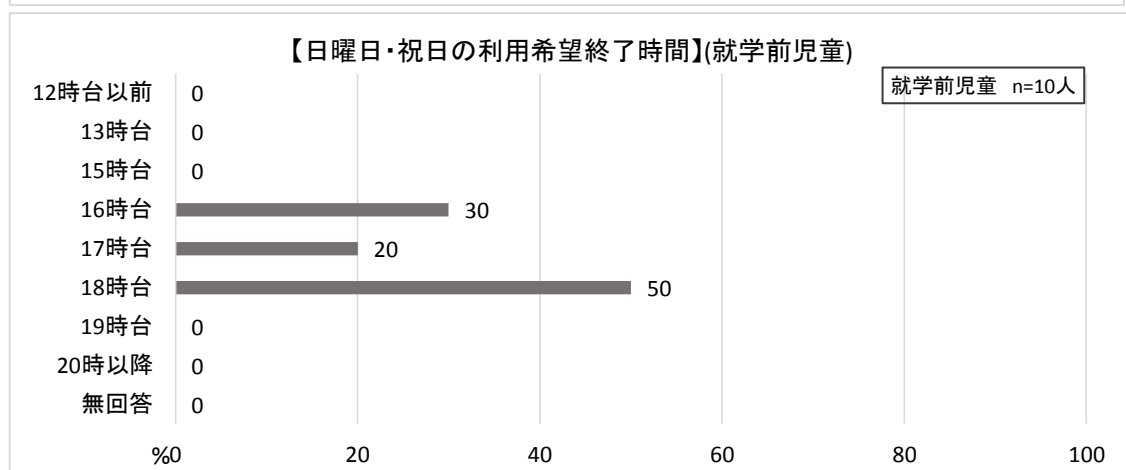
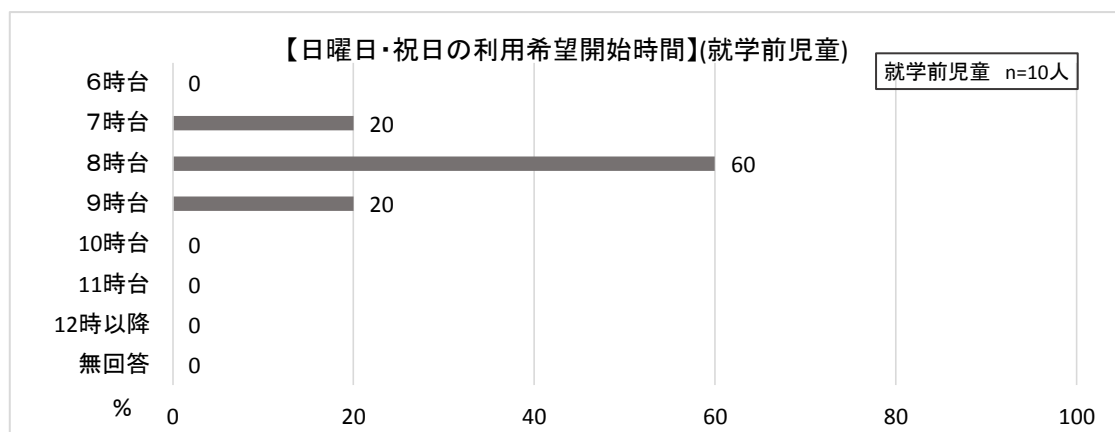
問28 就学前のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。(1つに○)



問29 就学前のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。(1つに○)

問28 問29 利用したい時間帯を、ご記入ください。



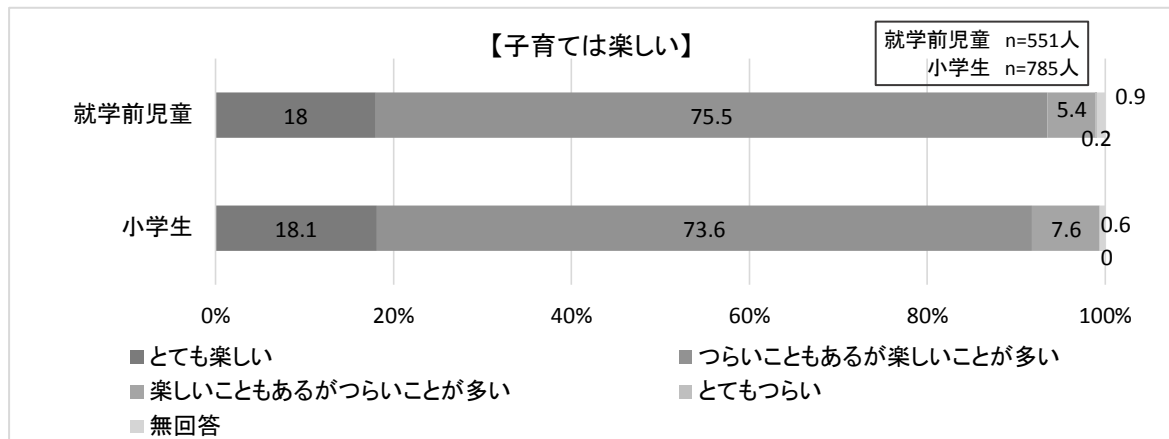


3 子育てについて

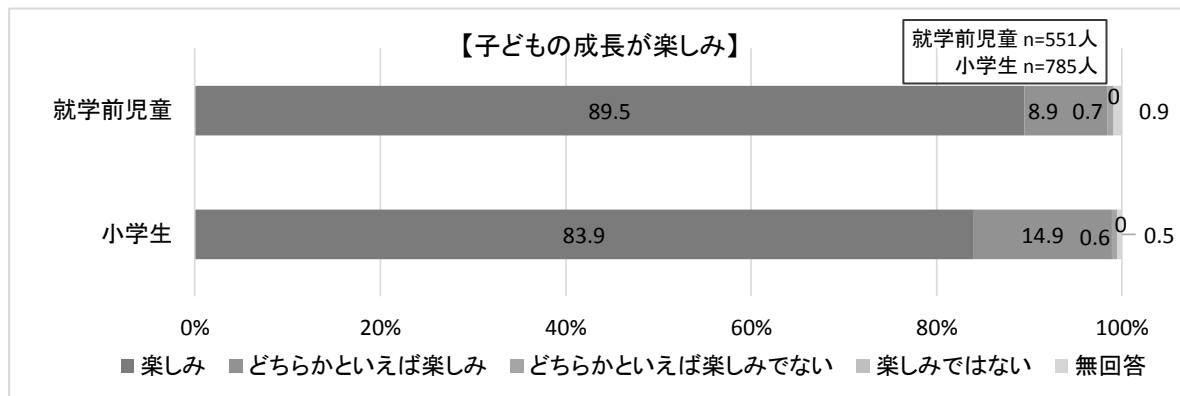
子育てを楽しんでいると感じたり、子どもの成長が楽しみであると感じる人は多い。

子育ては、「つらいこともあるが楽しいことが多い」が、就学前児童・小学生ともに約75%います。「子育てに自信がもてなくなることがある」は、8割を超えています。

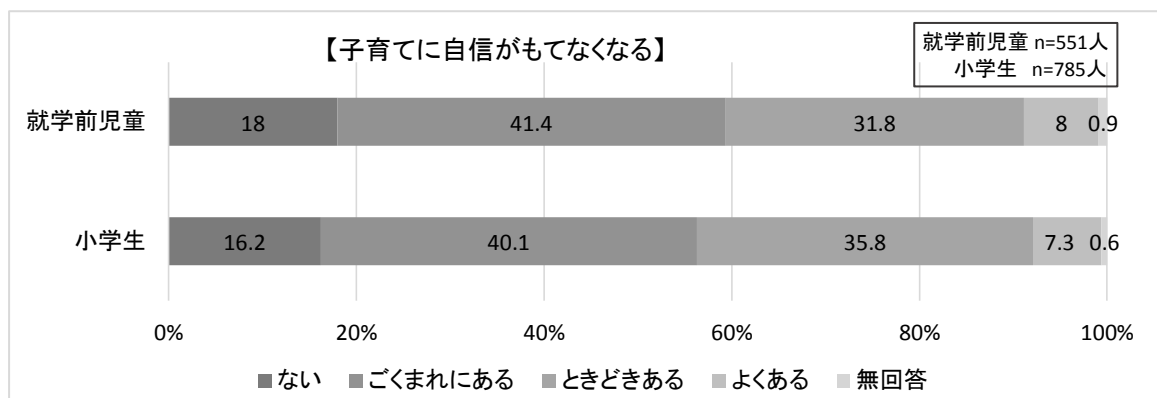
問31-1(問15-1) 子育ては楽しいですか。(1つに○)



問31-2(問15-2) 子どもの成長が楽しみですか。(1つに○)



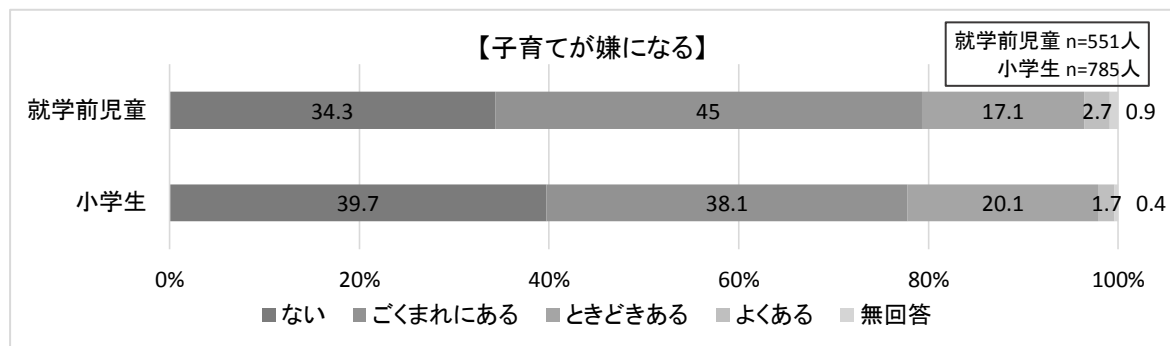
問31-3(問15-3) 子育てに自信がもてなくなることがありますか。(1つに○)



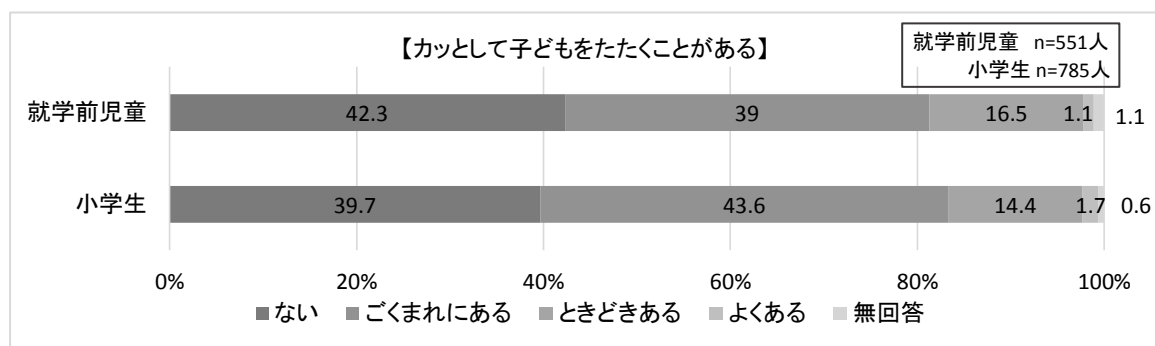
子育てが嫌になったり、カッとして子どもたたくことはないは、3～4割程度。

子育てが嫌になったり、子どもをたたいてしまうことがある人は、程度に差はありますが6割以上存在します。

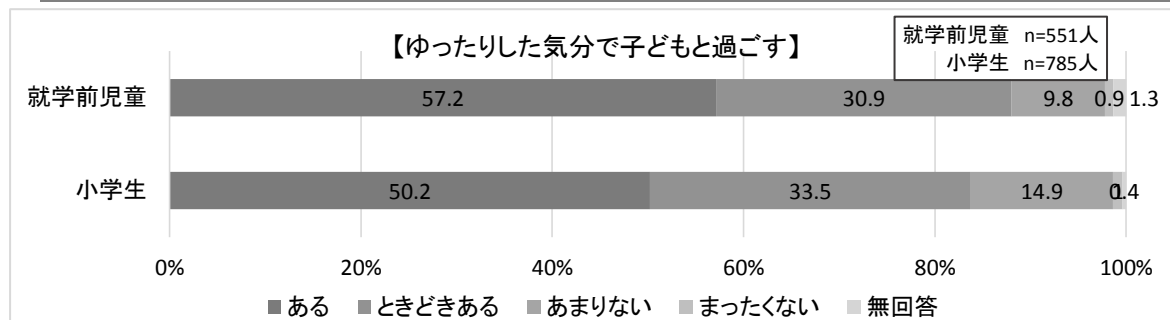
問31-4(問15-4) 子育てが嫌になることがありますか。(1つに○)



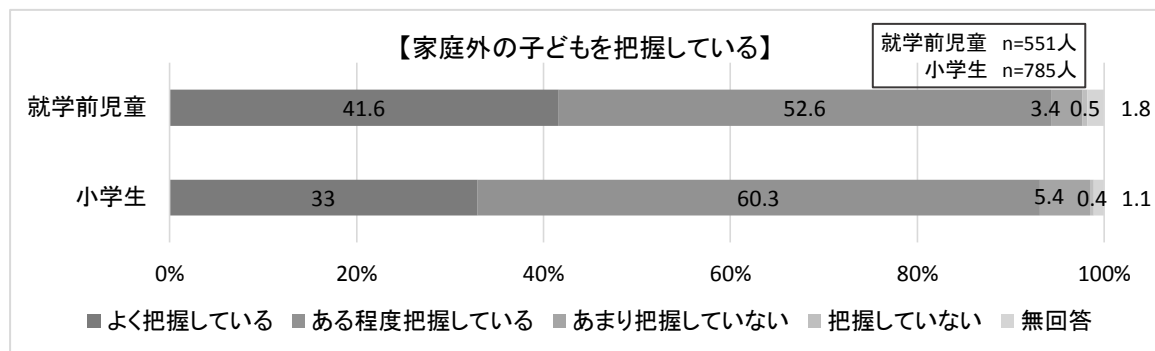
問31-5(問15-5) カッとして子どもをたたいてしまったりすることがありますか。(1つに○)



問31-6(問15-6) ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間はありますか。(1つに○)



問31-7(問15-7) 子どもの家庭外での過ごし方を把握していますか。(1つに○)

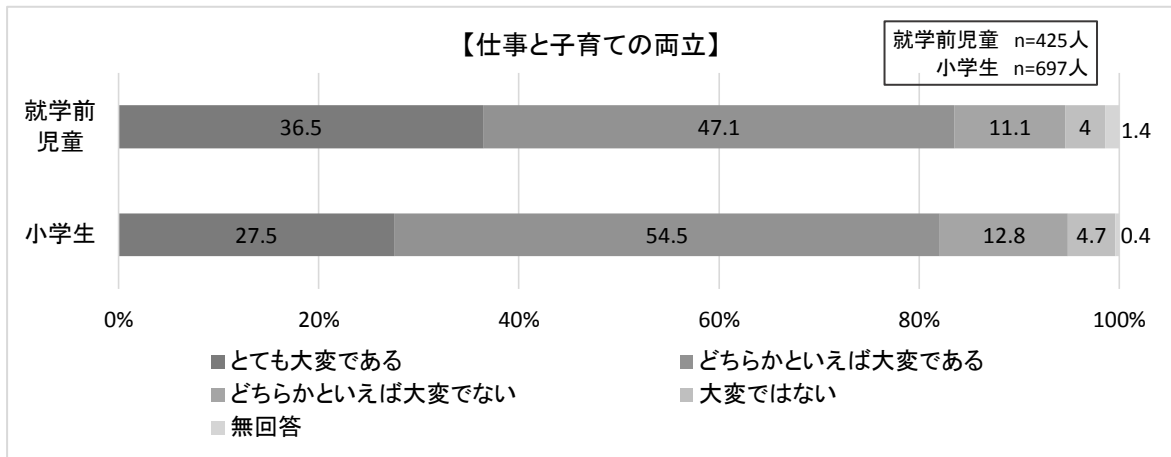


仕事と子育ての両立は大変と感じている人は、8割以上。

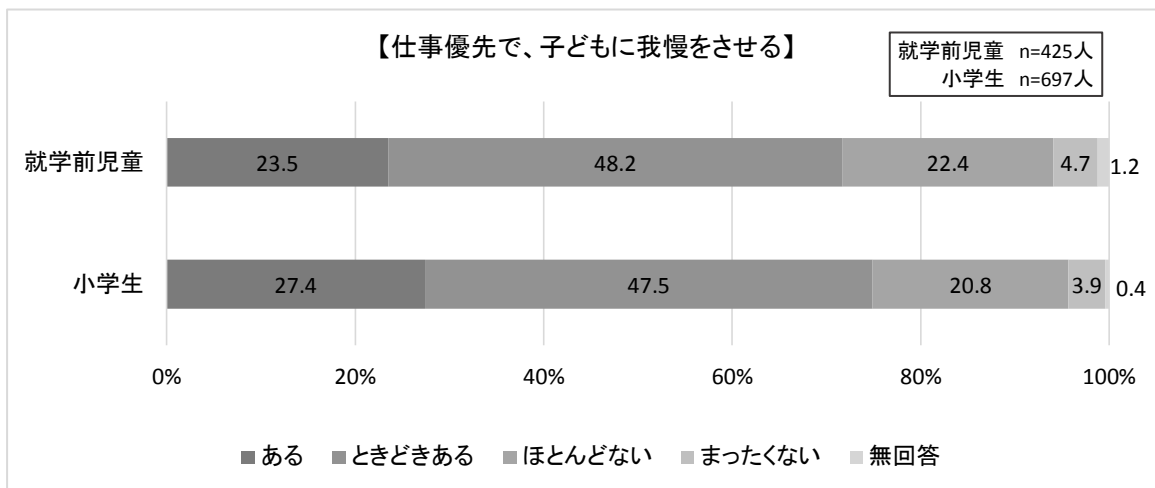
仕事と子育ての両立は「とても大変である」と感じる就学前児童は36.5%あり、小学生27.5%より高くなっています。仕事優先で子どもに我慢をさせると回答した人は、小学生27.4%で就学前児童よりも高くなっています。

仕事をしている方にうかがいます。

問32-1(問16-1) 仕事と子育ての両立は大変ですか。(1つに○)



問32-2(問16-2) 仕事を優先し、子どもに我慢をさせてしまうことがありますか。(1つに○)



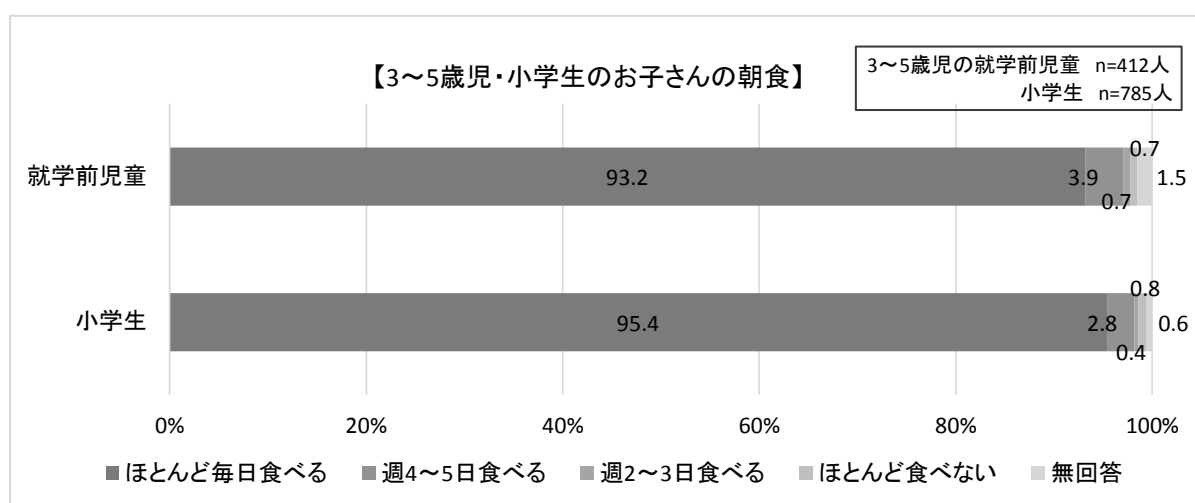
3～5 歳児・小学生の 9 割以上はほぼ毎日朝食を食べているが、毎日家族と食べている子どもは 7 割程度である。

「ほとんど毎日食べる」3～5 歳児は 93.2%、小学生は 95.4%となっています。「主食・主菜・副菜そろえて食べている」子どもは 2 割程度しかいません。毎日家族と朝食を食べている 3～5 歳児は 74.3%、小学生は 72.2%ですが、夕食は 9 割以上が家族と食べています。食事のあいさつを「必ずしている」は、55%程度です。

3 歳児～5 歳児（今年 4 月 1 日時点で 3 歳～5 歳）のお子さんのいる方にうかがいます。

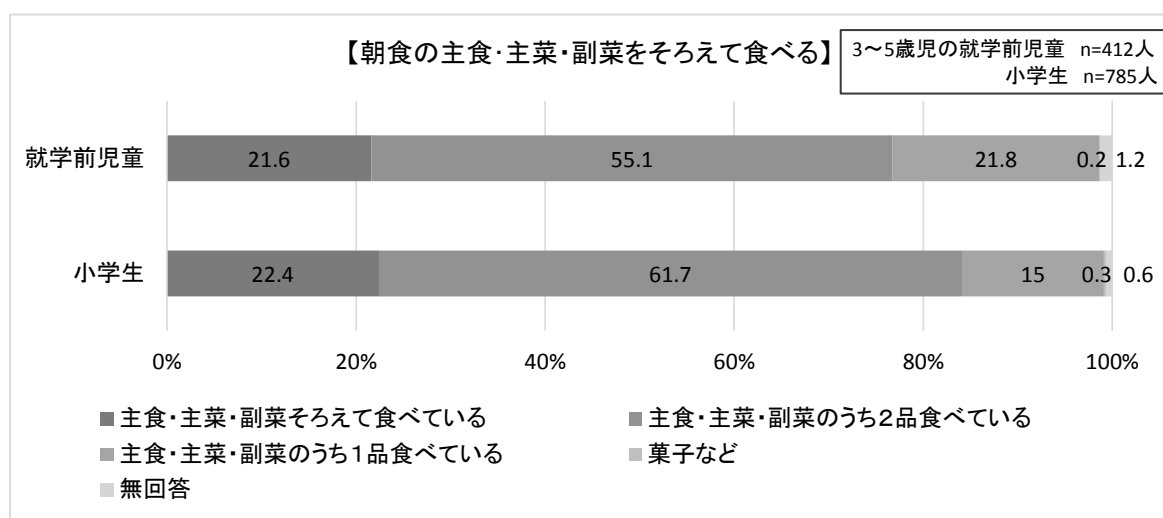
問33-1 3歳児～5歳児のお子さんは朝食を食べますか。（1つに○）

（問17-1）小学生のお子さんは朝食を食べますか。（1つに○）

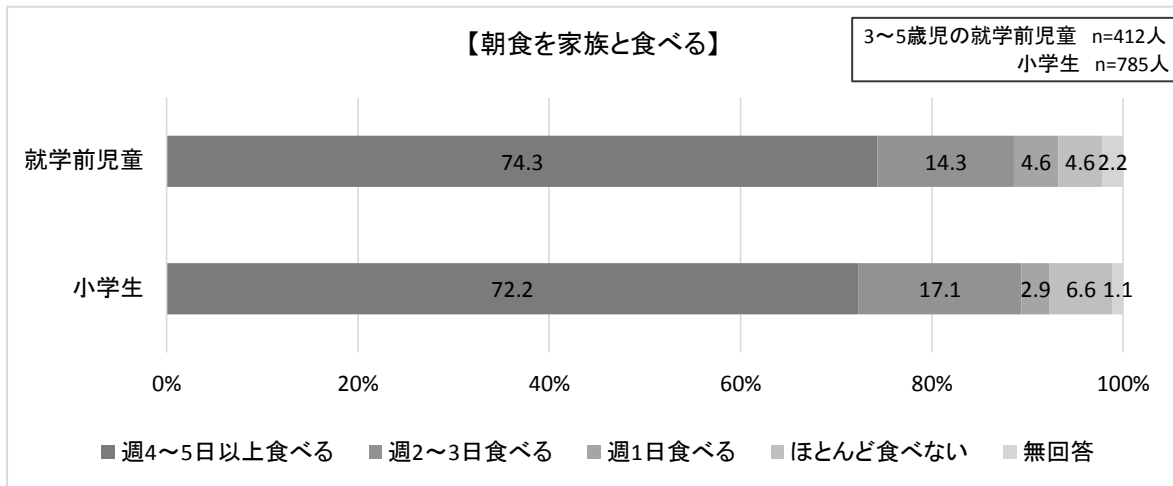


問33-2 3歳児～5歳児のお子さんは朝食に「主食」「主菜」「副菜」をそろえて食べていますか。（1つに○）

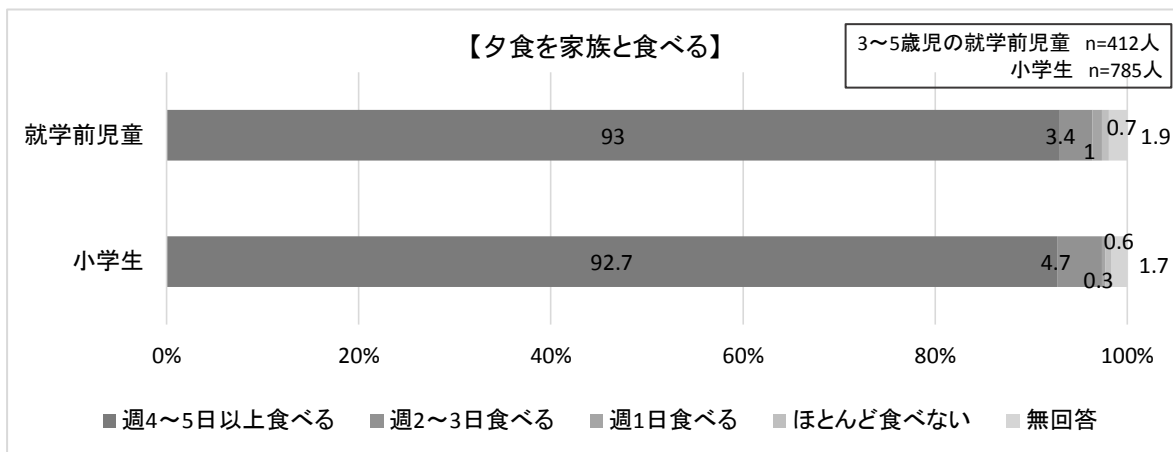
（問17-2）小学生のお子さんは朝食に「主食」「主菜」「副菜」をそろえて食べていますか。（1つに○）



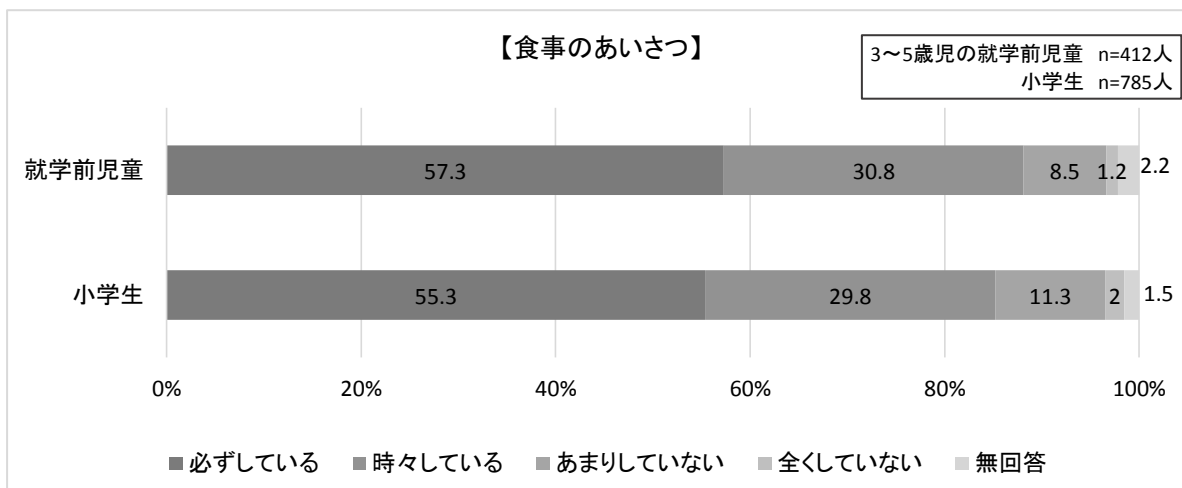
問33-3 3歳児～5歳児のお子さんは朝食を家族と食べていますか。(1つに○)
(問17-3) 小学生のお子さんは朝食を家族と食べていますか。(1つに○)



問33-4 3歳児～5歳児のお子さんは夕食を家族と食べていますか。(1つに○)
(問17-4) 小学生のお子さんは夕食を家族と食べていますか。(1つに○)



問33-5 3歳児～5歳児のお子さんは食事のあいさつ「いただきます」「ごちそうさま」をしていますか。(1つに○)
(問17-5) 小学生のお子さんは食事のあいさつ「いただきます」「ごちそうさま」をしていますか。(1つに○)



子育てで負担に感じることは、「自由な時間がもてない」「子育てで出費がかさむ」。

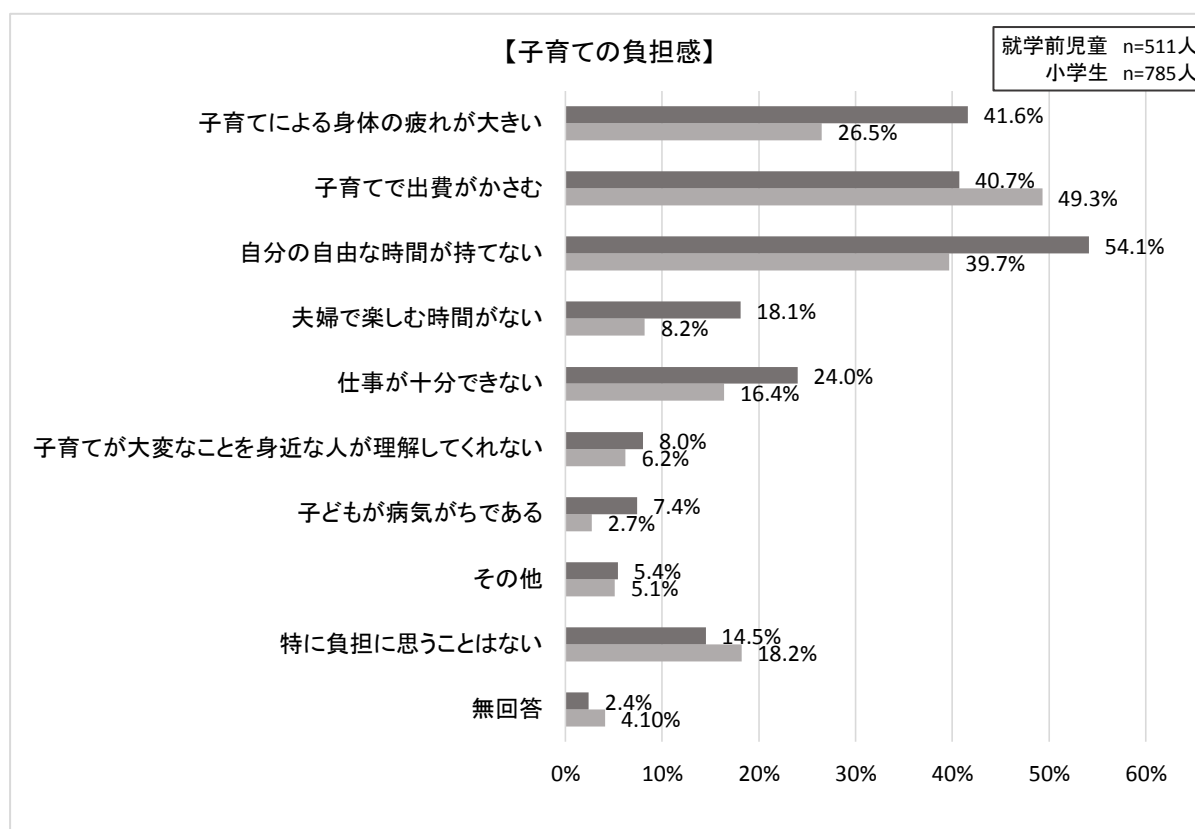
子育てで負担に感じることは、就学前児童では「自分の自由な時間がもてない」が54.1%、小学生では「子育てで出費がかさむ」が49.3%が最も多くなっています。就学前児童では「子育てによる身体の疲れが大きい」が41.6%も2位にあがっています。

就学前児童の悩みや気になることは、「食事や栄養に関すること」が33.4%、「病気や発育・発達に関すること」が29%となっています。小学生は、「子どもの教育、塾、進路に関すること」が34.4%、「友達づきあいなど対人関係に関すること」が28.7%となっています。

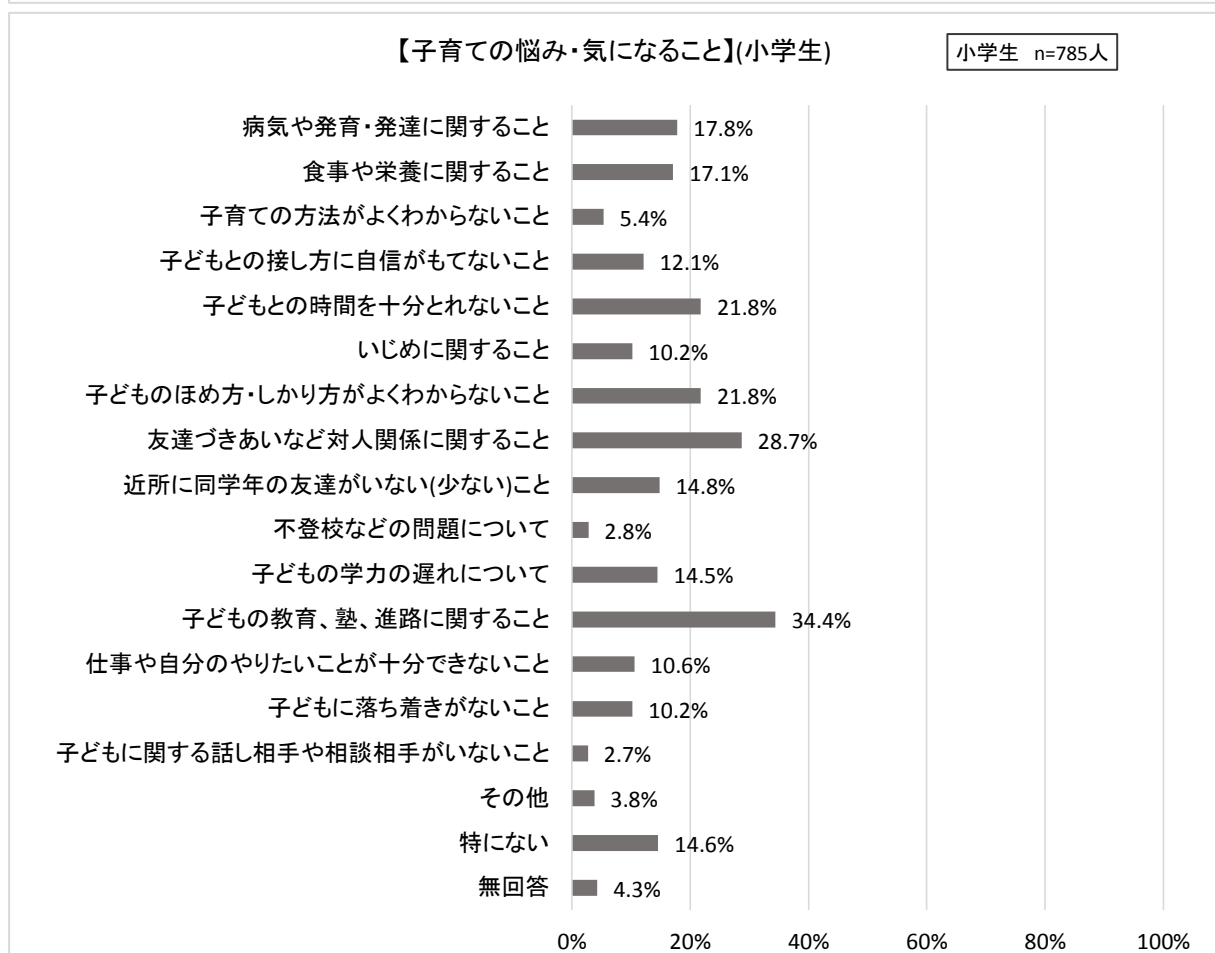
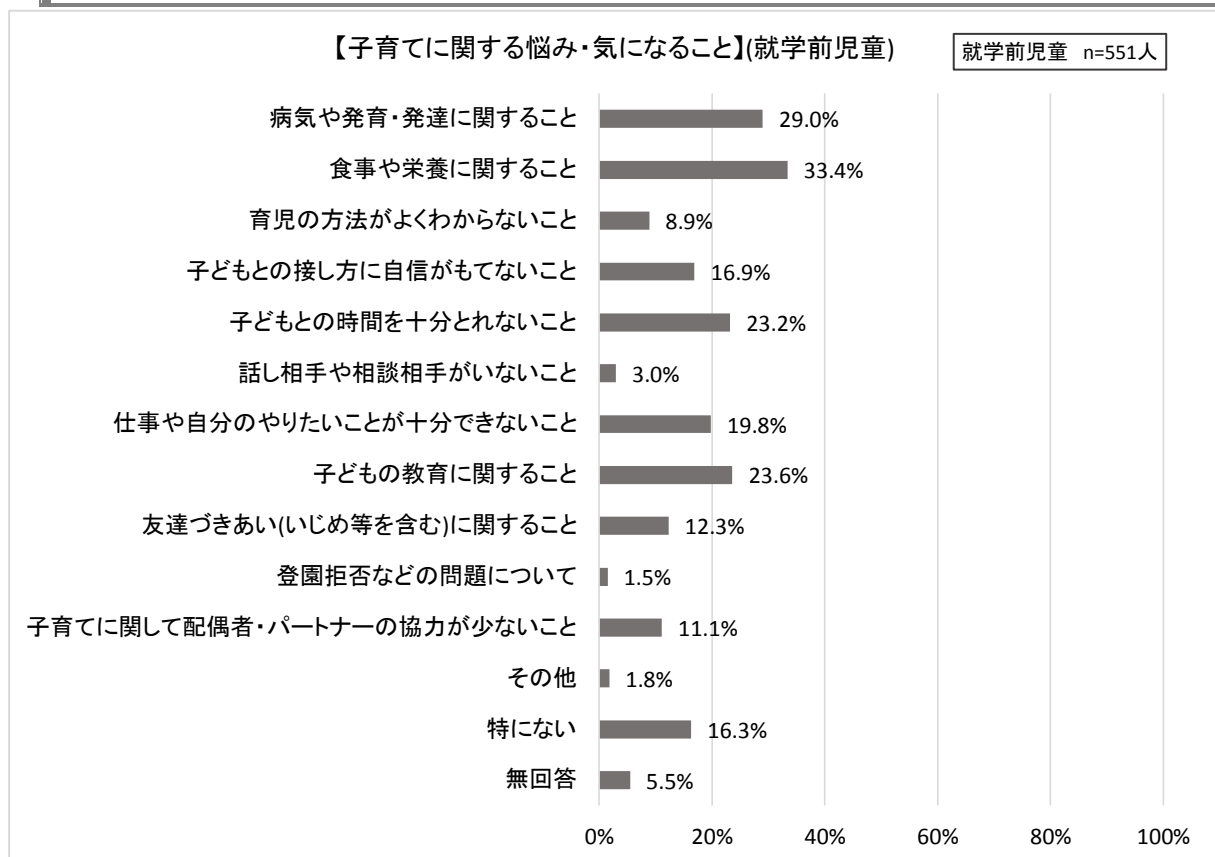
相談相手は、「配偶者・パートナー」が71.7%、「親族」が62.8%、「隣近所の人・地域の知人・友人」が50.6%と近くにいる身近な人が5割を超えています。

子育てをするすべての方にうかがいます。

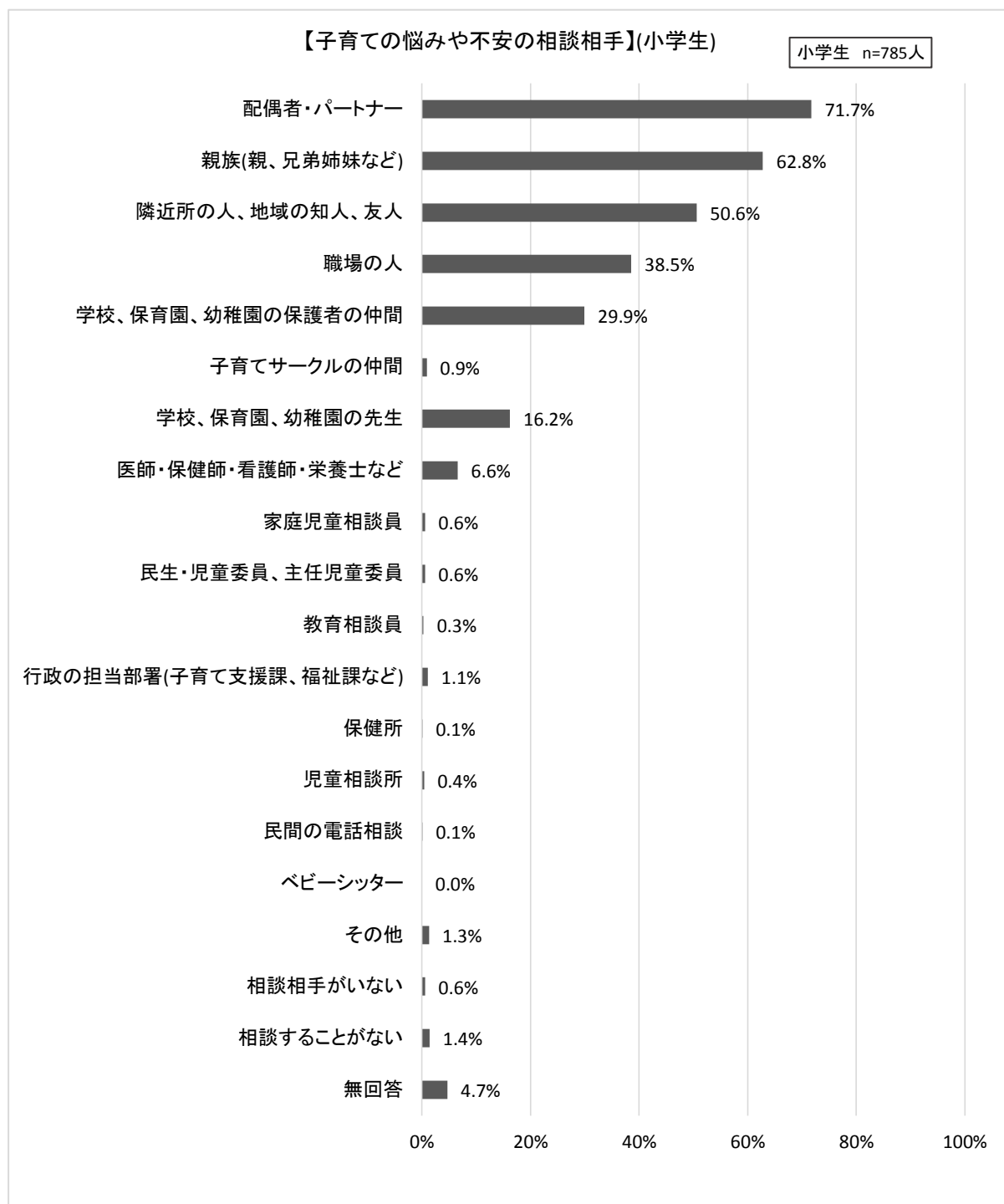
問34 (問18) 子育てをするうえで、負担に感じていることはどのようなことですか。(すべてに○)



問35 (問19)子育てに関して、日常悩んでいること、また、気になることはどのようなことですか。(すべてに○)



(問20) 身近な地域で、子育てに関する悩みや不安を誰に相談していますか。(すべてに○)

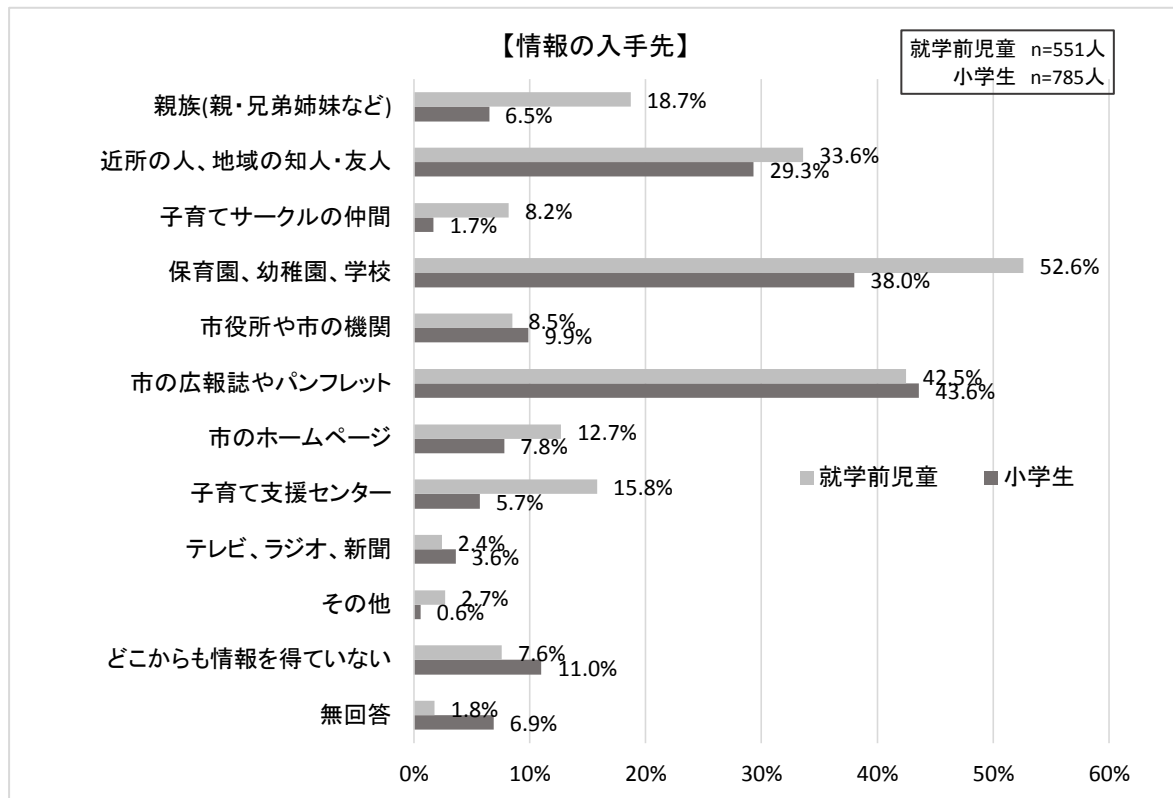


「保育園、幼稚園、学校」「市の広報誌やパンフレット」から情報を得ている人が多い。

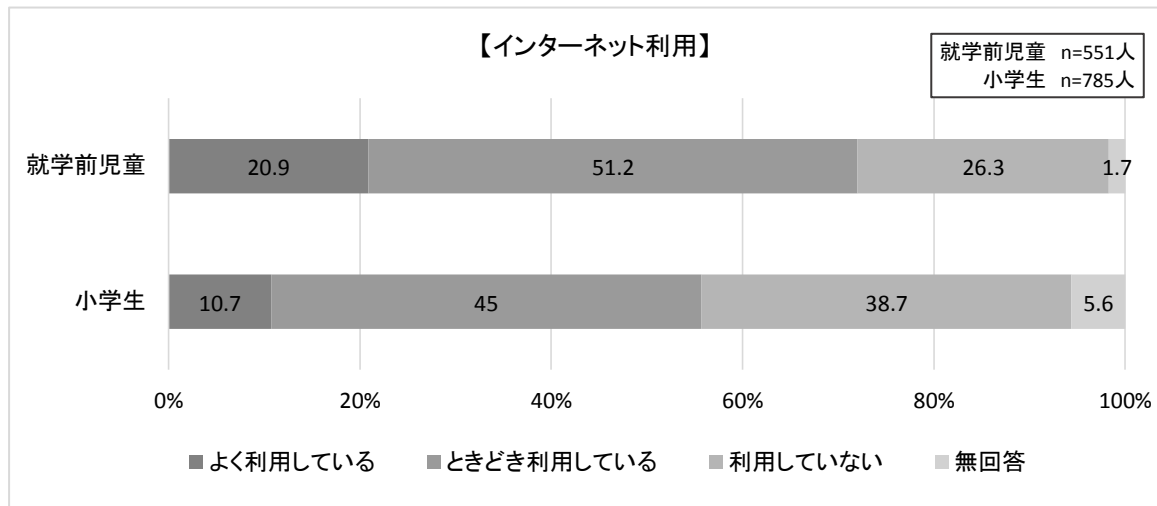
就学前児童では、「保育園、幼稚園、学校」が 52.6%、「市の広報誌やパンフレット」が 42.5%、「近所の人、地域の知人・友人」が 33.6%となっています。小学生では、「市の広報誌やパンフレット」が 43.6%、「保育園、幼稚園、学校」が 38%、「近所の人、地域の知人・友人」が 29.3%となっています。

インターネットは就学前児童の方が多く利用しています。

問36（問21）市の子育て支援サービスに関する情報は、どこから入手していますか。（すべてに○）



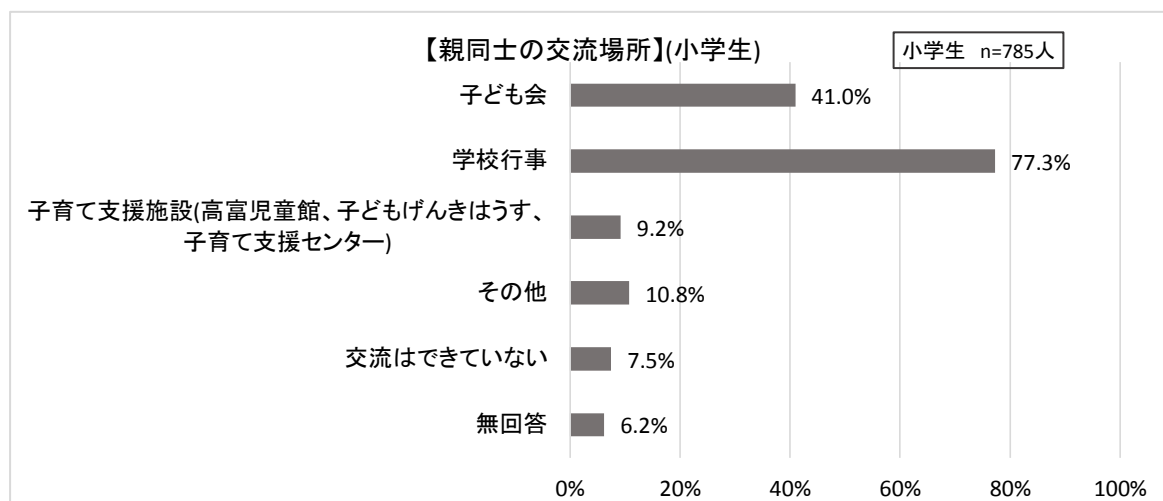
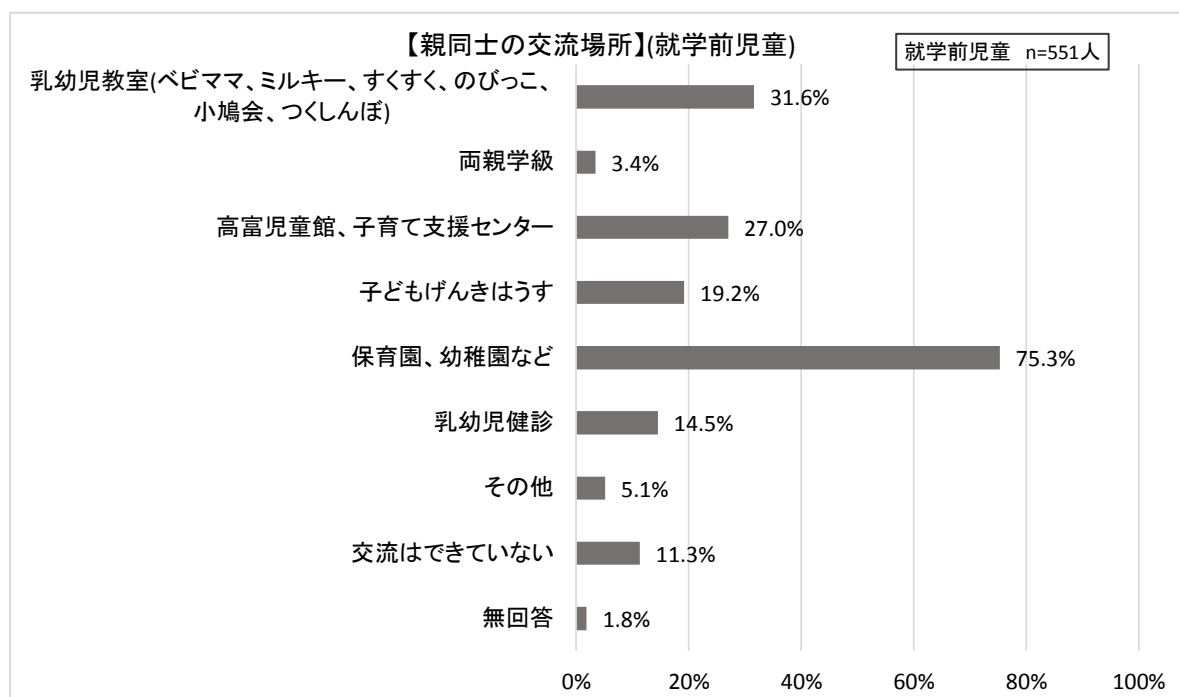
問37（問22）子育てに関する情報について、インターネットを利用していますか。（1つに○）



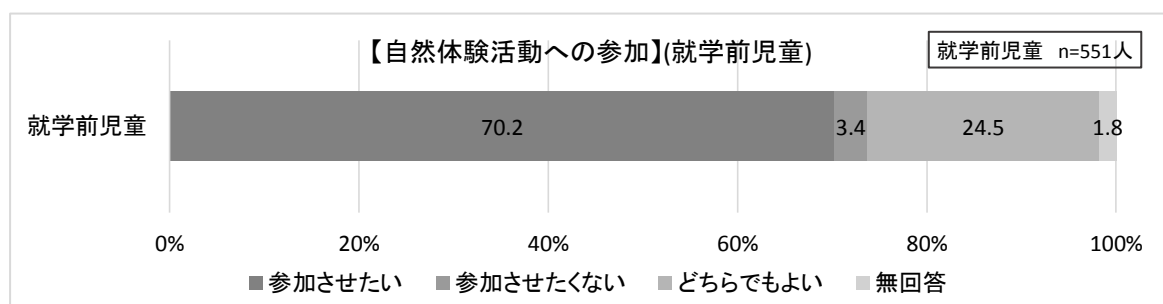
親同士の交流場所は、就学前児童「保育園・幼稚園」、小学生「学校行事」である。

就学前児童は「保育園・幼稚園など」75.3%、小学生は「学校行事」77.3%で最も多くなっています。「交流できていない」は、1割程度となっています。

問38 (問23)親同士の交流は、どのようなところでできていると思われますか。(すべてに○)



問39 就学前のお子さんが森や川であそぶなどの自然体験活動をする機会があれば参加させたいですか。(1つに○)

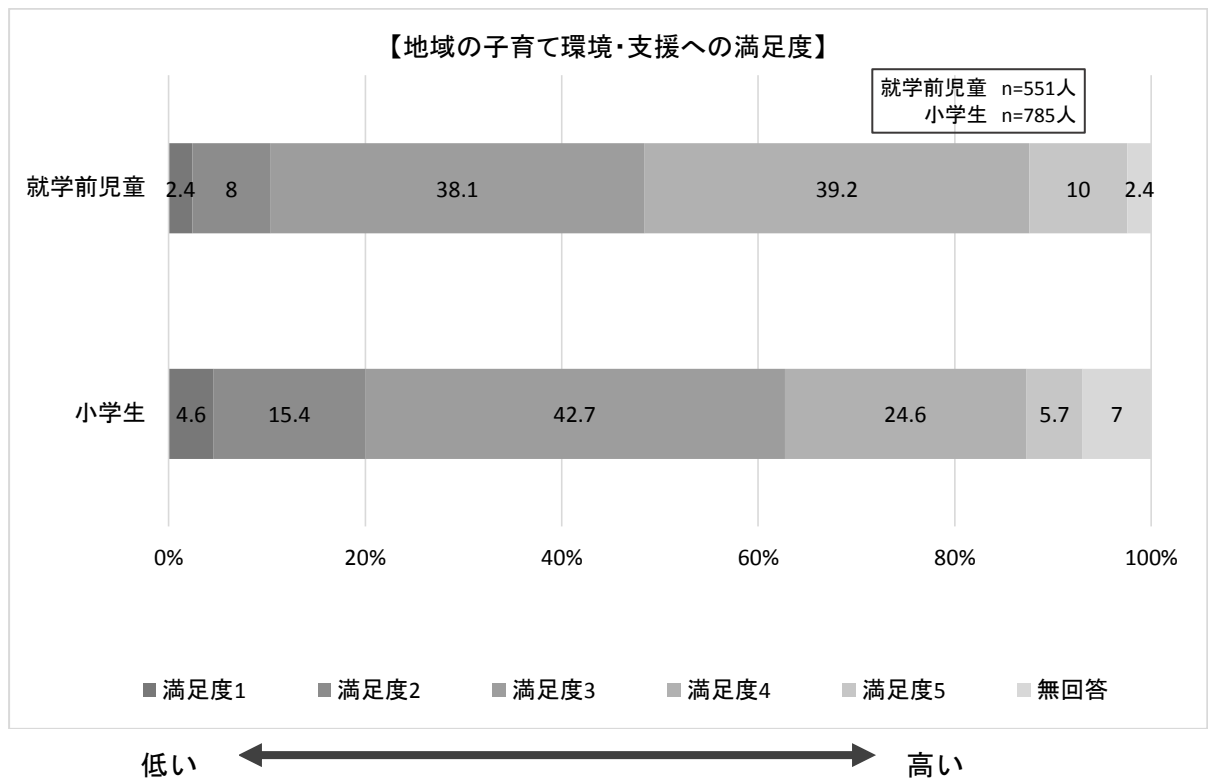


子育て環境や支援への満足度は「満足度3」が多い。

地域の子育て環境・支援への満足度は、就学前児童では「満足度4」が39.2%、小学生では「満足度3」が42.7%と最も多くなっています。就学前児童の方が小学生より満足度が高くなっています。

保育園の運営形態は「どちらでもよい」が33.4%と最も多くなっています。

問40（問24）お住まいの地域における子育て環境や支援への満足度を教えてください。（1つに○）



第4章

育児休業制度の利用状況

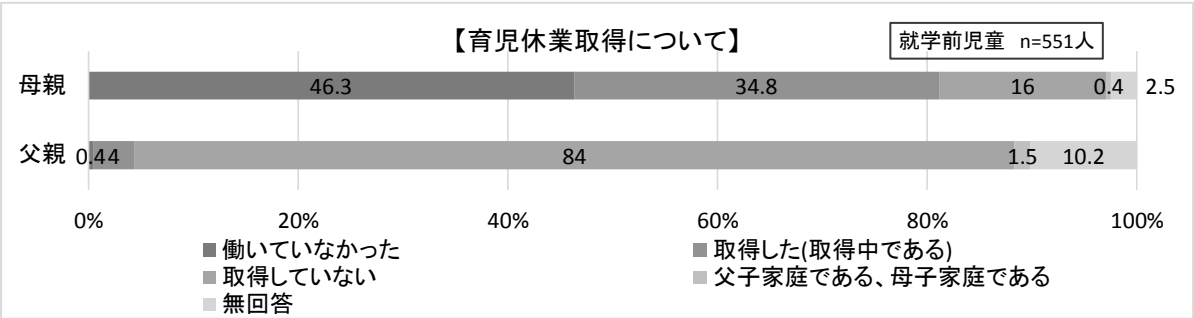
第4章 育児休業制度の利用状況

1 育児休業制度の利用状況

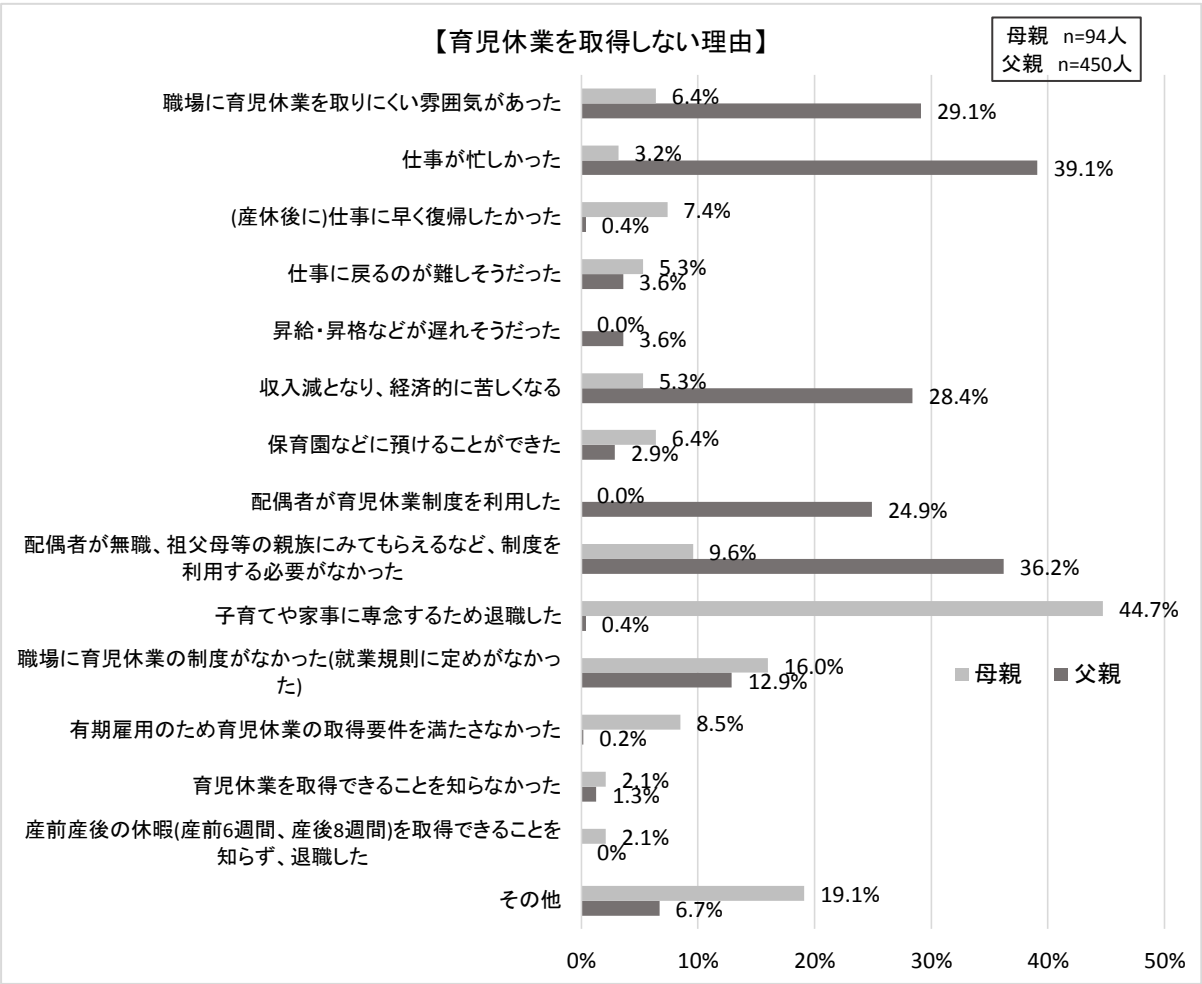
育児休業を取得した(取得中)母親は3割を越え、父親は1割未満。

育児休業を「取得した(取得中である)」母親は34.8%、父親は4%となっています。取得しない理由は、母親では「子育てや家事に専念するため退職した」が44.7%、父親では「仕事が忙しかった」が39.1%「制度を利用する必要がなかった」が36.2%となっています。

問30 就学前のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて回答してください。(それぞれに1つ○)



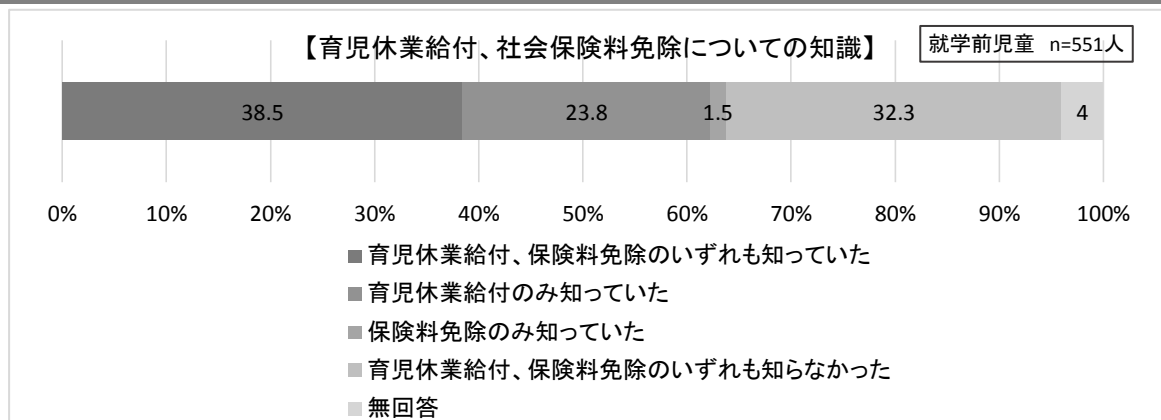
取得していない方は、その理由を教えてください。



「育児休業取得後、職場に復帰した」方は母親、父親ともに7割程度。

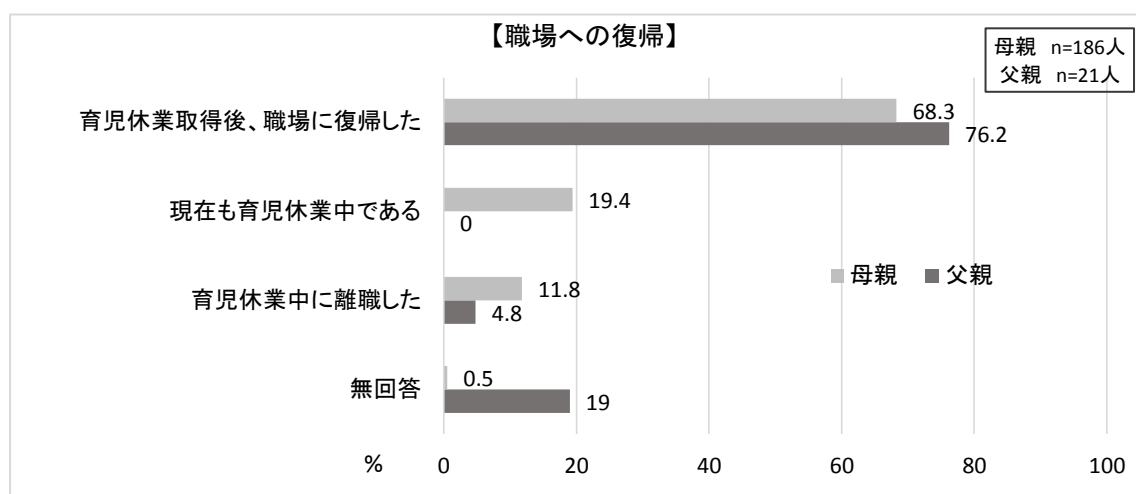
「育児休業給付、社会保険料免除のいずれも知らなかった」32.3%となっています。育児休業取得後職場復帰した人は多く、復帰したタイミングは、保育園入所に合わせたものではない人が、母親66.7%、父親93.8%となっています。

問30-1 育児休業給付、社会保険料免除のしくみについてご存知でしたか。(1つに○)



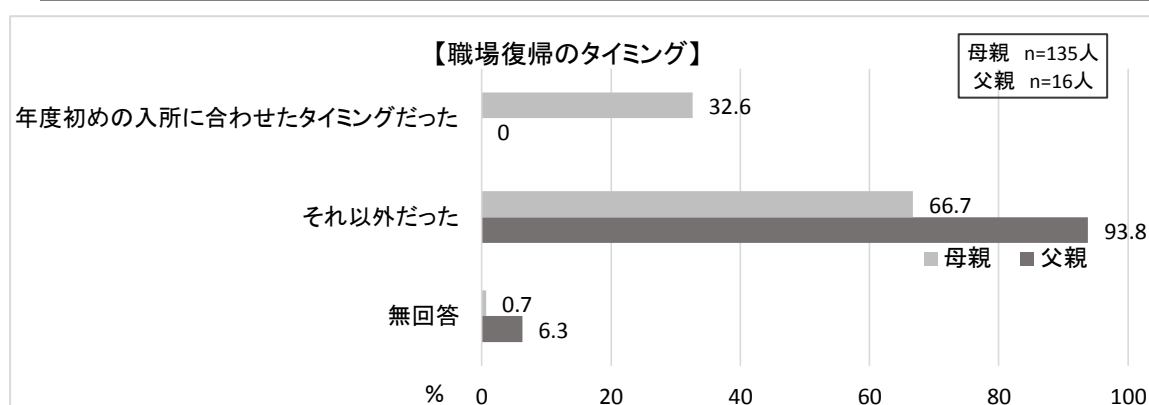
問30で「2. 取得した(取得中である)」に○をつけた方にうかがいます。

問30-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(1つに○)



問30-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

問30-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。(1つに○)



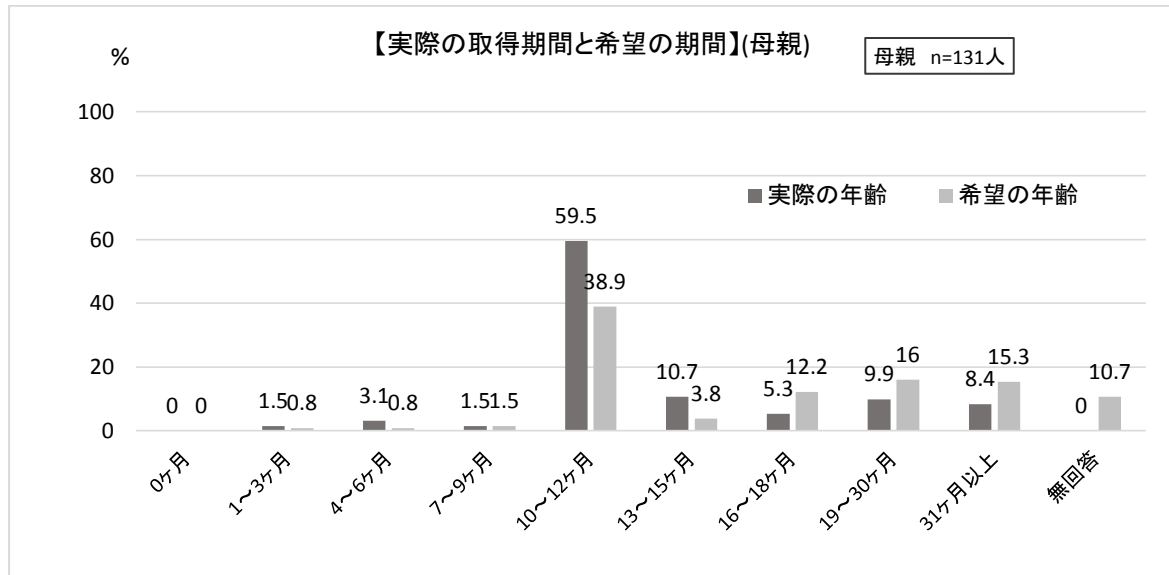
実際の取得期間は、母親「10～12 ヶ月」、父親「0 ヶ月」「10～12 ヶ月」が多い。

母親は「10～12 ヶ月」59.5%が最も多く、希望は実際取得した期間よりも長期となっています。父親は、取得者数が少なく数週間の人と1年近く取得された人に分かれました。

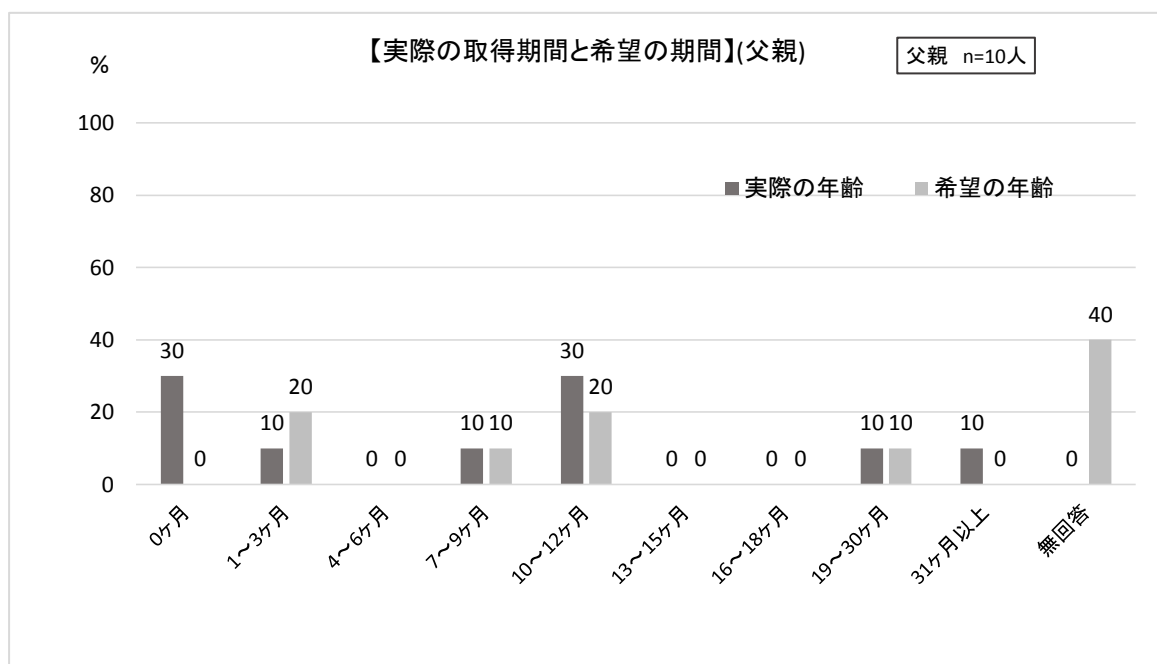
問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

問30-4 お子さんが何歳何か月の時に職場復帰しましたか。また、勤務先の育児休業制度の期間内で何歳何か月のときまで取りたかったですか。

① 母親



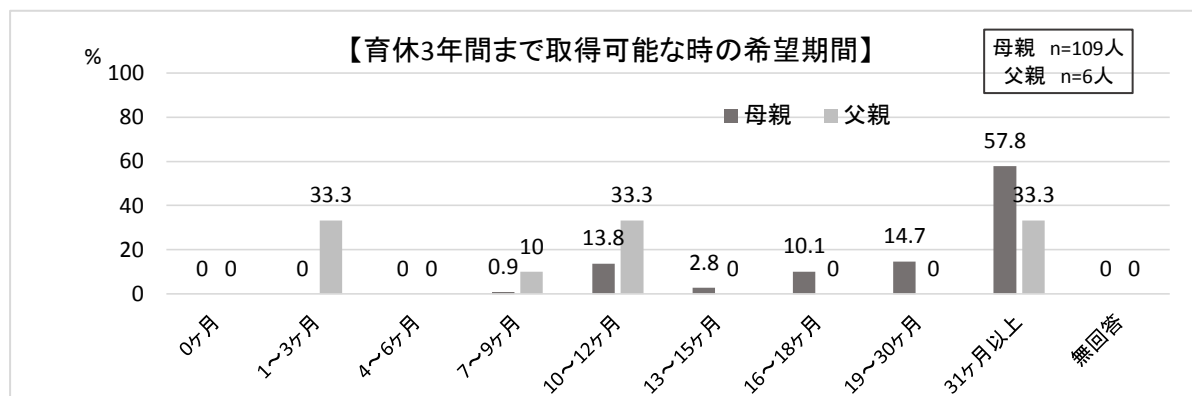
② 父親



育児休業を「31ヶ月以上」取りたかった母親は5割以上。

育児休業期間が3歳までであった場合、「31か月以上」を希望する母親は57.8%となっています。希望より早く復帰した母親の理由は、「経済的な理由」「人事異動や業務の節目の時期に合わせる」31.3%が多くなっています。

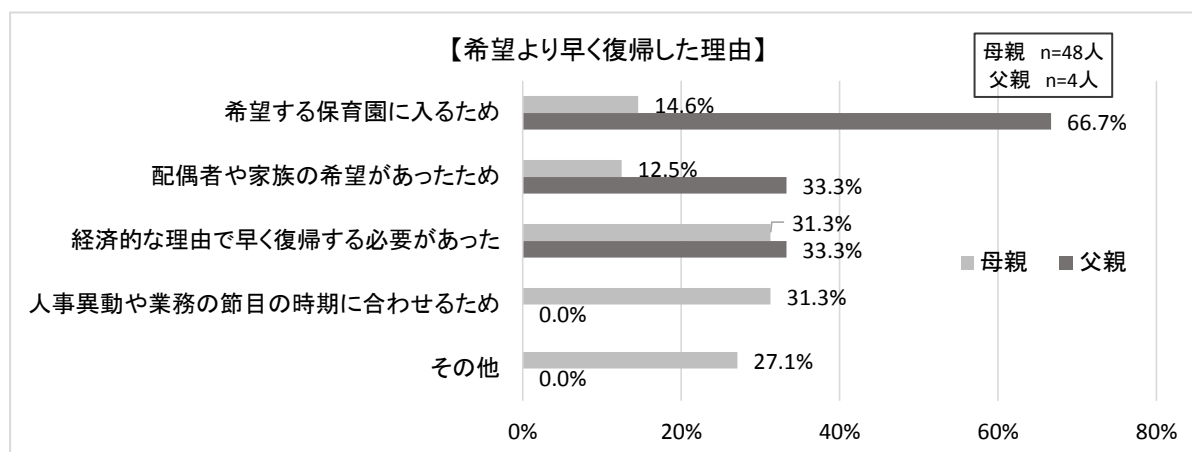
問30-5 勤務先の育児休業期間が3歳までであった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。



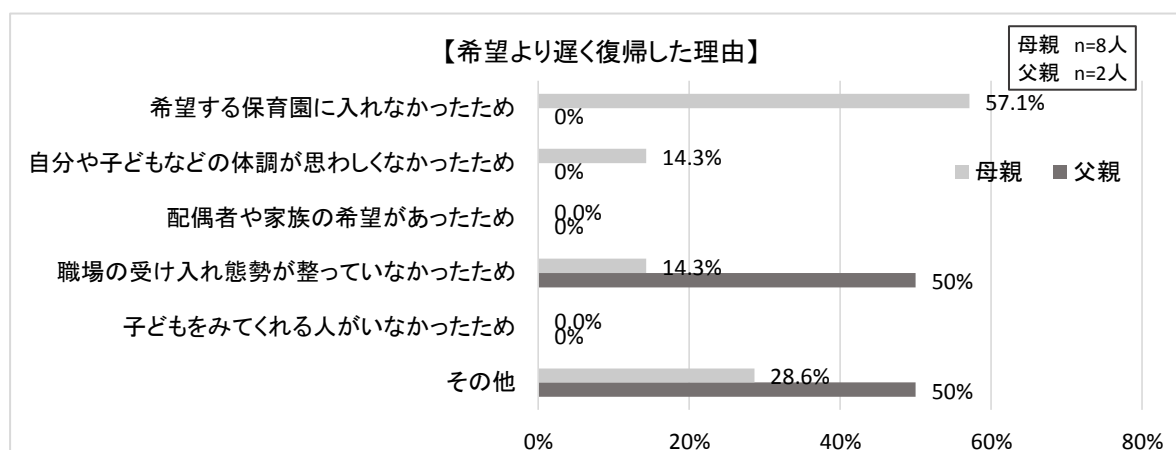
問30-4で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問30-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。

(1)「希望」より早く復帰した方（すべてに〇）



(2)「希望」より遅く復帰した方（すべてに〇）

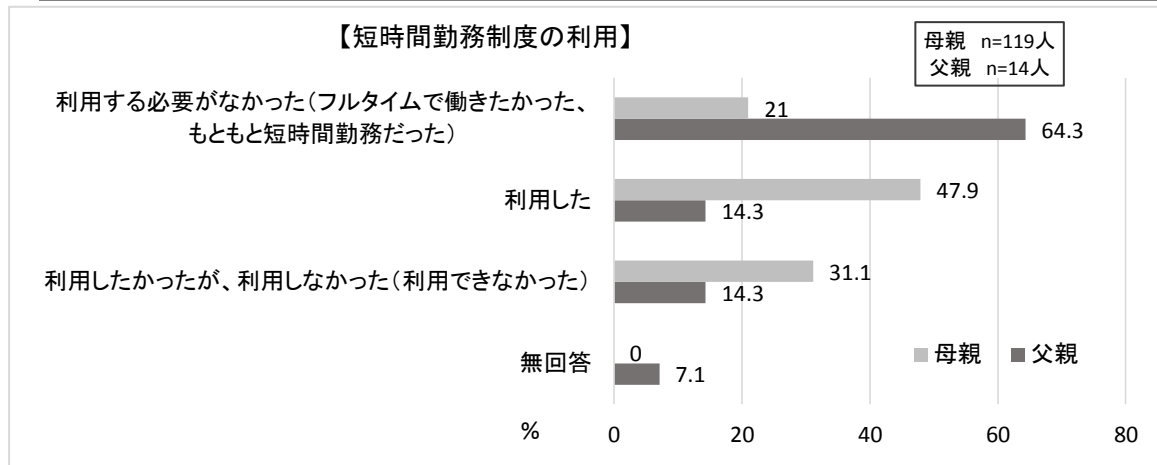


短時間勤務制度を利用した母親は、約5割。

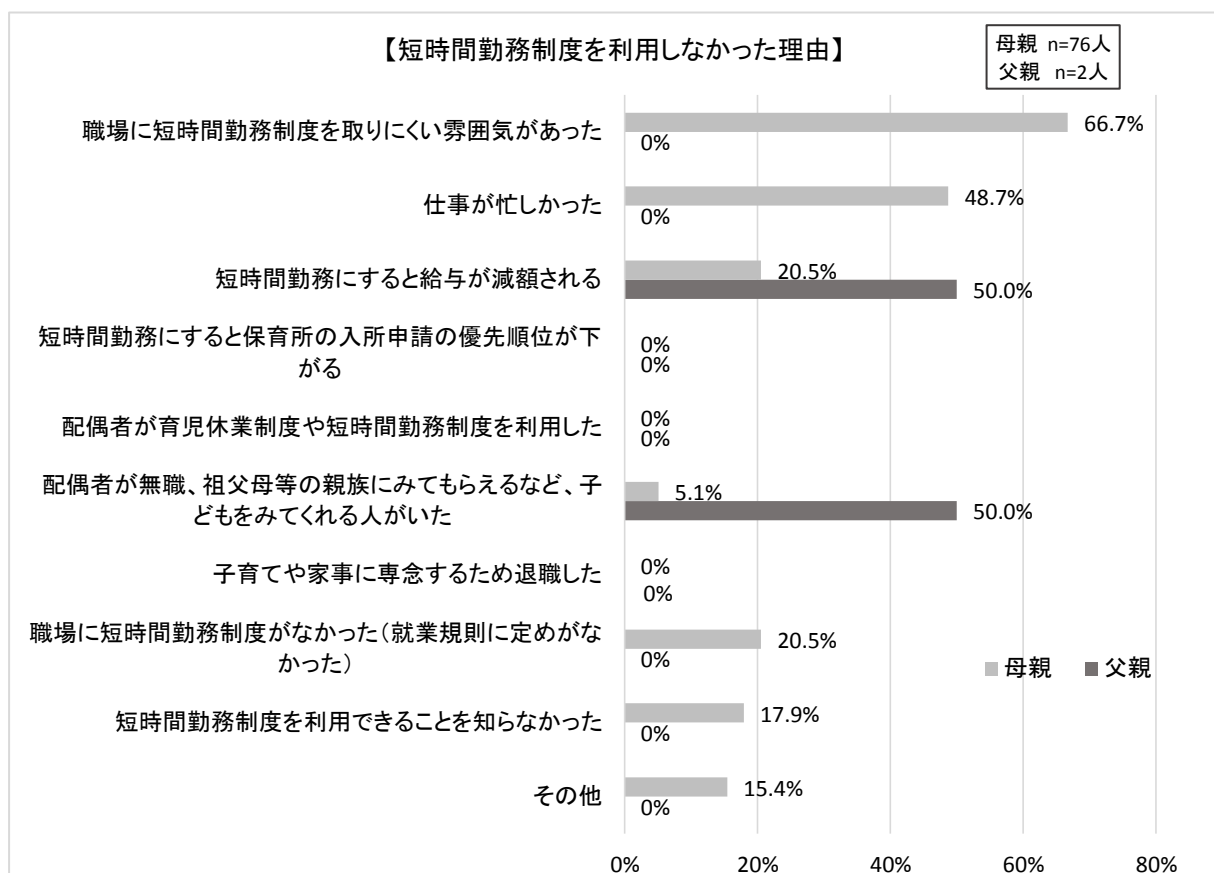
母親では、短時間勤務制度を「利用した」が47.9%、「利用したかったが利用しなかった(利用できなかった)」が31.1%となっています。利用しなかった(できなかった)理由は、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が66.7%と最も多くなっています。

問30-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

問30-7 育児休業から職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。(1つに○)

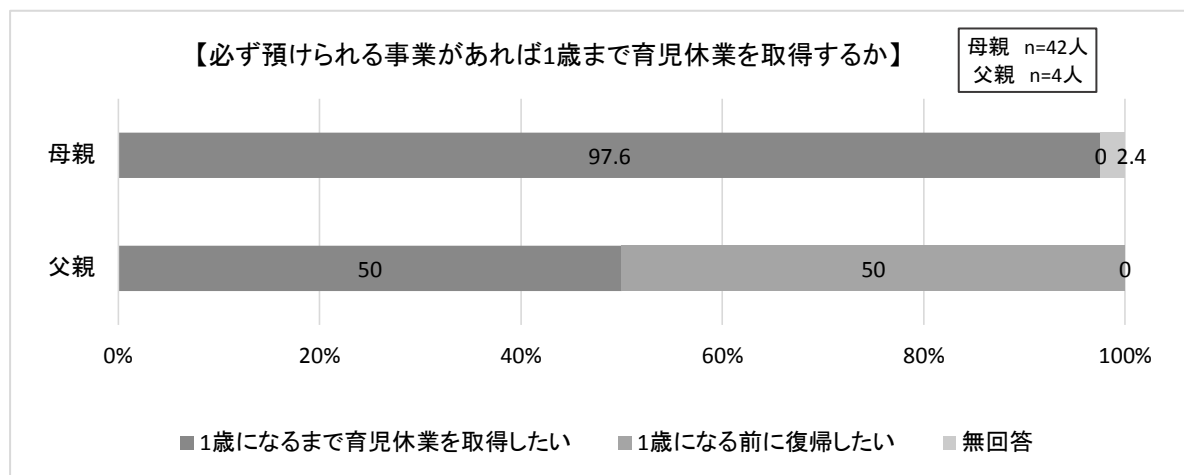
**問30-7で「3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」と回答した方にうかがいます。**

問30-8 短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由は何ですか。(すべて○)



問30-2で「2. 現在も育児休業中である」に○をつけた方にうかがいます。

問30-9 就学前のお子さんが1歳になったときに必ず預けられる利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。(1つに○)



山県市
子ども・子育て支援事業に関する
ニーズ調査報告書

発行日 平成 31 年 3 月
発行者 山県市 子育て支援課
住 所 〒501-2192
岐阜県山県市高木 1000-1
(0581) 22-6839